

平成 30 年度
事業報告書

(自) 平成 30 年 4 月 1 日

(至) 平成 31 年 3 月 31 日

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

目 次

総 括	1
会員の状況	2
法人運営の状況	3
地域福祉の部	14
包括支援の部	41
居宅介護の部	71
自立支援の部	86

【巻末】法人運営理念・サービス精神・職員心得

総 括

平成 30 年 3 月に発覚した日吉事務所での福祉サービス利用援助事業における不適切事案への早期対応、解決に向けて法人組織が一丸となって取り組んだ 1 年であった。市民の皆さま、関係各位には多大なご迷惑とご心配をおかけし深くお詫び申し上げますとともに、社会福祉の本質と、それに携わることの責任について再認識し、組織の強化発展に努めていかなければならないと誓った。

4 月には行政と当会が一体となり、「第 3 期南丹市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を施行した。「住民が主体的に取り組む地域づくり」「総合的な相談・支援体制づくり」の 2 つの基本目標を軸に、住民主体の地域福祉推進に向け、大きな一歩を踏み出したとも言える。行政とのパートナーシップを基盤に、市民や関係団体と共にふくしのまちづくりを進めていく上での重要な計画と位置付けられる。旧町域ごとには、社会福祉協議会のネットワークを最大限に活用し「たすけあい会議」を設置した。身近な地域での住民同士の支え合いの意識醸成や地域での困りごと解決に向けての協議の場としてその機能が期待されている。

市内社会福祉法人間の連携・協働強化では、今年度 2 回の懇談会を開催し、あらためて私たち社会福祉法人が地域の中で連携する意義や、共に協力して取り組むべき地域貢献の必要性について協議することができた。次年度は、こうした取り組み、動きを更に加速・具体化させ、社会福祉法人として社会的使命を果たしていきたい。

今年度は特に全国各地において、自然災害が多く発生した年でもあった。台風や大雨、強風の被害は南丹市各地でも確認されており、当会も行政や関係機関と連携し被害地区への支援活動にあたった。また地域の防災、減災への取り組みにもさらに力を注いだ 1 年でもあった。市民防災講座や地域での防災マップづくりのサポート、地域別懇談会での市民どうしの協議のサポートなど、様々な取り組みを実施した。

介護保険、障害福祉サービスの経営事業については引き続き厳しい経営状況であった。特に収支の面では厳しい結果となり、決して健全な経営状態とは言えず、経営改善への取り組みが急がれる。また人材確保においても非常に困難な状況が続き、将来を見据えた人材確保育成も大きな経営課題である。しかし、厳しい状況の中でも職員一人ひとりの努力、工夫により今年度を終えることができ、職員の経営に対する意識の高まりがこれまで以上に感じられた年でもあった。各事業ではあらためて社会福祉協議会として事業を実施する意義や法人の強みを生かした事業経営が求められる。

法人においては、新しい人事管理制度の試行運用を開始した。職員一人ひとりが業務・目標管理の手法を活用し、職員との面談を丁寧に実施することができた。これまで以上に職員どうしの対話に重点を置き、コミュニケーションの緊密化を図ることが今後も求められる。今後、制度のさらなる検証を重ねながら、新制度が職員の働きがいをもって、長く働ける職場づくりに生かせるよう正式導入につなげていきたい。

平成 30 年度

会員の状況

※世帯数：南丹市公表(但し、施設等を除く【平成30年 4月 3日現在】)

エ リ ア	世帯数	普通会員		特別会員		世帯加入率
		件数	金 額	件数	金 額	普通・特別計
本 所	—	11	11,000	8	21,000	—
園部事務所	6,658	2,984	2,980,900	13	30,000	45.0 %
八木事務所	3,045	1,753	1,752,500	8	20,000	57.8 %
日吉事務所	2,105	1,186	1,186,000	16	34,000	57.1 %
美山事務所	1,790	1,130	1,126,000	17	38,000	64.1 %
合 計	13,598	7,064	7,056,400	62	143,000	51.9 %

エ リ ア	賛助会員		ふるさと会員		本年度合計金額
	件数	金 額	件数	金 額	
本 所	10	105,000	1	5,000	142,000
園部事務所	59	295,000	0	0	3,305,900
八木事務所	6	55,000	1	10,000	1,837,500
日吉事務所	14	85,000	0	0	1,305,000
美山事務所	10	60,000	0	0	1,224,000
合 計	99	600,000	2	15,000	7,814,400

支 所	普通・特別会費 前年度対比		会費合計 前年度対比	
	前年度金額	増 減	前年度金額	増 減
本 所	16,000	16,000	126,000	16,000
園部事務所	2,965,500	45,400	3,305,500	400
八木事務所	1,846,000	△ 73,500	1,903,000	△ 65,500
日吉事務所	1,270,000	△ 50,000	1,355,000	△ 50,000
美山事務所	1,185,500	△ 21,500	1,262,500	△ 38,500
合 計	7,283,000	△ 83,600	7,952,000	△ 137,600

平成 30 年度 法人運営の状況

＜理事会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5 月 30 日 (水)	本 所	理事 13 監事 1 その他 9	① 平成29年度 事業報告(案) ② 平成29年度 決算(案) ③ 規程改正(案) ④ 委員交代同意 ⑤ 評議員の解任及び選任候補者推薦 ⑥ 評議員選任・解任委員会の招集／評議員会の招集
第 2 回	12 月 11 日 (火)	本 所	理事 15 監事 1 その他 9	① 福祉サービス利用援助事業不適切事案 ② 規則・規程の改正(案) ③ 評議員会の招集
第 3 回	3 月 29 日 (金)	本 所	理事 14 監事 1 その他 9	① 規則・規程の改正(案) ② 委員選任の同意 ③ 平成31年度 事業計画(案)・収支予算(案) ④ 職員重要人事 ⑤ 定款変更(案) ⑥ 評議員会の招集

＜評議員会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	6 月 19 日 (火) ※平成29年度会計に関する 定時評議員会	本 所	評議員 18 理事 4 監事 2	① 平成29年度 事業報告(案) ② 平成29年度 決算(案)
第 2 回	12 月 11 日 (火)	本 所	評議員 18 理事 4 監事 2	① 福祉サービス利用援助事業不適切事案
第 3 回	3 月 29 日 (金)	本 所	評議員 17 理事 4 監事 1	① 平成31年度 事業計画(案) ② 平成31年度 収支予算(案) ③ 定款変更(案)

＜監事監査の実施状況＞

回	開催日	場所	出席	監査事項・指摘事項
第 1 回	5 月 23 日 (水)	本 所	監事 2	① 平成29年度 事業(法人運営・実施事業等) ② 平成29年度 決算(会計・経理等) ※福祉サービス利用援助事業における不適切事案の 早期解決・再発防止に努めること。
			理事 1	
第 2 回	12 月 3 日 (月)	本 所	監事 2	① 平成30年度 上半期 事業(法人運営・実施事業等) ② 平成30年度 上半期 決算(会計・経理等) ※適正と認める
			理事 1	

＜理事会総務部会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5 月 18 日 (金)	本 所	委員 4	① 理事会・評議員会審議事項について ② 平成29年度 事業報告(案)について ※法人運営状況 ③ 平成29年度 決算(案)について ④ 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画について
			その他 4	
第 2 回	8 月 29 日 (金)	本 所	委員 4	① 福祉サービス利用援助事業不適切事案について ② 理事会の招集について ③ 事業継続計画(BCP)の策定について ④ 障害者法定雇用率について
			その他 3	
第 3 回	1 月 10 日 (木)	本 所	委員 4	① 福祉サービス利用援助事業不適切事案について ② 社会福祉法人指導監査について ③ 事業継続計画(BCP)の策定について ④ 園部公民館耐震工事にかかる園部事務所移転先地について
			その他 4	
第 4 回	3 月 13 日 (水)	本 所	委員 4	① 社会福祉法人指導監査について ② 理事会・評議員会審議事項について ③ 平成31年度 事業計画(案)・収支予算(案)について ④ 業務組織・機構改革について
			その他 5	

＜理事会地域福祉部会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5 月 15 日 (火)	本 所	委員 5	① 理事会・評議員会審議事項について ② 平成29年度 事業報告(案)について ※地域福祉の部・包括支援の部 ③ 平成29年度 決算(案)について
			その他 9	
第 2 回	8 月 30 日 (木)	本 所	委員 4	① 福祉サービス利用援助事業不適切事案について ② 理事会の招集について ③ 災害時における対応の課題について ④ 地域ケア推進会議開催報告
			その他 9	
第 3 回	1 月 11 日 (金)	本 所	委員 4	① 福祉サービス利用援助事業不適切事案について ② 社会福祉法人指導監査について ③ 平成30年度事業進捗状況について ④ 園部公民館耐震工事にかかる園部事務所移転先地について
			その他 10	
第 4 回	3 月 14 日 (木)	本 所	委員 5	① 理事会・評議員会審議事項について ② 平成31年度 事業計画(案)・収支予算(案)について ③ 業務組織・機構改革について ④ 福祉サービス利用援助事業特別監査の結果について
			その他 11	

<理事会事業部会の開催状況>

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5 月 15 日 (火)	本 所	委員 5 その他 8	① 理事会・評議員会審議事項について ② 平成29年度 事業報告(案)について ※居宅介護の部・自立支援の部 ③ 平成29年度 決算(案)について
第 2 回	8 月 30 日 (木)	本 所	委員 5 その他 6	① 福祉サービス利用援助事業不適切事案について ② 理事会の招集について ③ 平成30年度事業進捗状況について ④ 福祉避難所について
第 3 回	1 月 11 日 (金)	本 所	委員 4 その他 7	① 福祉サービス利用援助事業不適切事案について ② 社会福祉法人指導監査について ③ 園部公民館耐震工事にかかる園部事務所移転先地について ④ 平成30年度事業進捗状況について
第 4 回	3 月 14 日 (木)	本 所	委員 5 その他 6	① 理事会・評議員会審議事項について ② 平成31年度 事業計画(案)・収支予算(案)について

<役員(理事・監事)研修会の実施状況>

回	開催日	場所	出席	内容
第 1 回	1 月 10 日 (木)	京都テルサ	理事 4 監事 0	① 平成30年度役職員セミナー 「成年後見制度の利用促進と権利擁護支援の地域 ネットワークの構築」 武庫川女子大学 准教授 堀 善昭氏

〈正・副会長会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	4 月 26 日 (木)	日吉事務所	理事会・評議員会審議事項について [報告]福祉サービス利用援助事業不適切事案(経過) [報告]職員全体研修について
第 2 回	5 月 11 日 (金)	本 所	平成29年度 事業報告(案)・決算(案) 平成30年度 賞与基準支給率について 評議員・委員の交代について
第 3 回	6 月 28 日 (木)	本 所	地域貢献事業に関する社会福祉法人との懇談会について 平成31年度新規採用職員について(新卒者) [報告]福祉サービス利用援助事業不適切事案(経過)
第 4 回	7 月 26 日 (木)	本 所	第67回京都府社会福祉大会について 理事会部会での共通審議事項について 災害情報・豪雨災害に伴う災害支援について
第 5 回	8 月 28 日 (火)	本 所	理事会部会での共通審議事項について 事業継続計画(BCP)の策定について [報告]福祉サービス利用援助事業第三者委員会の報告
第 6 回	9 月 27 日 (木)	本 所	福祉サービス利用援助事業について 今後の進め方 園部公民館休止に伴う園部事務所移転について 八木デイサービスセンター指定管理について
第 7 回	10 月 23 日 (火)	本 所	福祉サービス利用援助事業について 今後の進め方 八木デイサービスセンターについて 平成31年度南丹市福祉予算要望状況について
第 8 回	11 月 29 日 (木)	日吉事務所	平成31年度職員採用応募状況について 第2層協議体発足について [報告]福祉サービス利用援助事業第三者委員会最終報告
第 9 回	12 月 25 日 (火)	本 所	理事会部会での共通審議事項について 賞罰委員会開催について [報告]福祉サービス利用援助事業 利用者示談交渉
第 10 回	1 月 24 日 (木)	本 所	働き方改革への対応について 権利擁護事業特別監査について 第7回きょうと地域福祉活動実践交流会について
第 11 回	2 月 28 日 (木)	本 所	平成31年度 職員人事配置(内示)について 平成31年度 事業計画(案)について [報告]社会福祉法人一般指導監査の実施結果・改善について
第 12 回	3 月 26 日 (火)	本 所	理事会・評議員会審議事項について 平成31年度ふれあい委員研修会について [報告]福祉サービス利用援助事業特別監査実施結果・改善について

〈企画委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	1 月 23 日（水）	本 所	第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗報告について 各事務所の取組報告（地域別懇談会、たすけあい会議等）

〈企画小委員会 合同会議の開催状況〉

回分	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	5 月 9 日（水）	市役所 日吉支所	平成30年度 事業計画／事務局体制 第3期地域福祉計画・活動計画策定について 地域別懇談会の開催について

〈園部町企画小委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	5 月 31 日（木）	園部事務所	地域別懇談会、アンケート調査について
第 2 回	12 月 6 日（木）	園部公民館	地域懇談会や今年度事業のふりかえり、たすけあい会議について

〈八木町企画小委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6 月 11 日（月）	八木事務所	地域福祉活動の重点課題について 地域別懇談会について
第 2 回	8 月 22 日（水）	八木事務所	地域別懇談会について
第 3 回	11 月 6 日（火）	八木事務所	地域別懇談会について 地域たすけあい会議について
第 4 回	3 月 19 日（火）	八木事務所	八木事務所平成30年度ふりかえり、たすけあい会議の報告、平成31年度事業計画について

＜日吉町企画小委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6 月 5 日（火）	日吉事務所	地域別懇談会について
第 2 回	12 月 19 日（水）	日吉事務所	地域別懇談会の振り返りと、今後の日吉事務所事業について

＜美山町企画小委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6 月 8 日（金）	美山事務所	地域別懇談会について
第 2 回	12 月 11 日（火）	美山事務所	今年度地域福祉事業や各地区福祉活動の報告、地域別懇談会について

＜広報委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6 月 13 日（水）	本 所	『なんたん社協だより』（第38号）の発行（7/13）について
第 2 回	10 月 19 日（金）	本 所	『なんたん社協だより』（第39号）の発行（11/22）について
第 3 回	2 月 8 日（金）	本 所	『なんたん社協だより』（第40号）の発行（3/22）について

〈ボランティアバンク運営委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	5 月 29 日 (火)	本 所	V 基金の運用／H29決算／H30予算 ボランティア交流会、視察研修について ボランティアバンク助成(グループ・ボラ連)について
第 2 回	7 月 10 日 (火)	本 所	視察研修について ボランティアバンク助成申請に対する委員会意見(審査)
第 3 回	8 月 10 日 (金)	本 所	第12回 南丹市ボランティア交流会について ※ボランティア連絡協議会(ボラ連)との合同会議
第 4 回	9 月 6 日 (木)	本 所	第12回 南丹市ボランティア交流会について ※ボランティア連絡協議会(ボラ連)との合同会議
第 5 回	10 月 4 日 (木)	本 所	第12回 南丹市ボランティア交流会について (ボラ連と合同) ボランティアバンク助成申請に対する委員会意見(審査)
第 6 回	1 月 18 日 (金)	本 所	ボランティア交流会の振り返り ボランティア視察研修の計画案について

〈福祉資金調査委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	7 月 20 日 (金)	本 所	平成30年度 夏期 くらしの資金 貸付について くらしの資金償還状況について 生活福祉資金借受者の状況について
第 2 回	12 月 4 日 (火)	本 所	平成30年度 冬期 くらしの資金 貸付について くらしの資金償還状況について 督促強化取り組み実績報告 生活福祉資金借受者の状況について

〈苦情解決第三者委員会・個人情報保護委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	11 月 29 日 (木)	本 所	副委員長の互選 福祉サービス利用援助事業不適切事案について 経過報告(報告・説明)

<善意銀行運営委員会の開催状況>

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	3 月 6 日 (水)	日吉事務所	福祉サービス利用援助事業不適切事案について

◇ 平成30年度 ボランティア基金 運用実績

(金額単位：円)

基金原資 ①	利 息 ②	売買による損益 ③	運用益合計 ④=②+③	年間運用率 ⑤=④÷①×100
93,000,000	2,179,000	0	2,179,000	2.343%

※運用率は少数点第4位切り捨て

◇ 平成30年度 福祉基金(善意銀行積立金)残額

(金額単位：円)

区分	内 容	積立額	取崩額	
繰越	前年度末積立金残高	53,977,533	0	
取崩	見舞金(0件)	0	0	
積立	預金利息	3,911	0	積立金残額
合 計		53,981,444	0	53,981,444

〈職員全体研修〉

【日 時】 4月22日(日) 9:00～16:15

【場 所】 南丹市日吉生涯学習センター 遊youひよし

【テーマ】 人こそすべて ～ 互いに高め合い育ち合おう、謙虚さをもって ～

【目 的】 今年度事業計画の基本方針に掲げた「人こそすべて」について、私たち社協職員の立ち位置や目指すべき方向を確認し合い、各職員が「今なすべきこと、今後なすべきこと」を見出す機会とする。また、平成30年3月に発覚した福祉サービス利用援助事業における不適切事案の現在までの経過を知り、謙虚な反省の上に立って、市民の信頼回復にどう向き合うかを考える。

1. 本年度事業計画・収支予算を理解・共有し、他部門との連携強化を図る。
2. 第3期地域福祉計画について理解を深め、業務との結びつきを考える。
3. 人事評価制度への理解を深め、相互に高め合い育ち合う職員集団を目指す。
4. 福祉サービス利用援助事業における不適切事案の検証と再発防止策を考える。

【内 容】

1. 開 会（「サービス精神」唱和、会長あいさつ、新任職員紹介、オリエンテーション）
2. 本年度事業計画・収支予算について
3. 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画について
（講師）南丹市市民福祉部 福祉事務所 社会福祉課 課長 矢田 浩一氏 課長補佐 橋本千代氏
4. 新任職員の疑問・質問に答えよう ～先輩職員からのアドバイス～
5. 人事評価制度について
7. 演習（グループワーク）福祉サービス利用援助事業不適切事案から考える
8. 閉 会（講評）

【参 加】

常勤正規・嘱託職員：83名（参加率89.2%）〔参加対象職員数計：93名（産休・育休2名除く）〕

〈福祉サービス利用援助事業不適切事案の検証と再発防止についての研修〉

【研修名】 福祉サービス利用援助事業不適切事案の検証と再発防止策「各課・係ごと」

【日 時】 12月～1月末まで

【場 所】 それぞれの事業所・係の拠点にて

【内 容】

1. 不適切事案を振り返り意見をまとめる。各係でも起こりうる問題について考える。問題提起（組織体制/人間関係/仕組みの課題など）
2. 再発防止・改善策（マニュアル、チェックリストの作成／複数人に対応/確認できる体制づくり/情報を密に共有できる体制づくり/監査実施内容の見直し/職員のスキルアップなど）

【対 象】 常勤職員

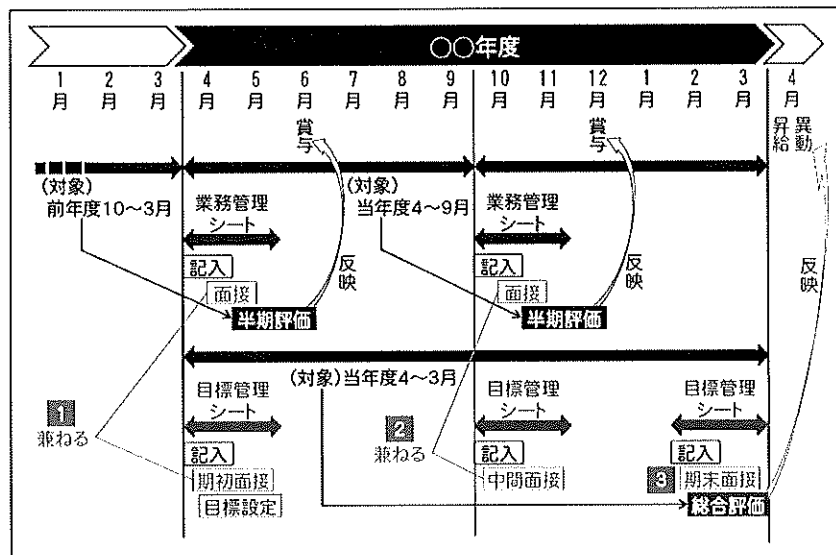
【研修報告書の作成と提出】

各係、事業所において研修実施後、係長が速やかに報告書を作成し部長に提出する。また、係、事業所の非常勤職員間でも課題の共有を行い、再発防止に向け継続的に業務の改善、見直しを実施する。

＜人事管理制度改革の取り組み＞

今年度より「新キャリアパス」「新給与制度」「福利厚生制度の充実」の運用を開始することができた。また人事評価制度(業務・目標管理、マニュアル・評価票)においては2年間の試行運用の1年目として、取り組みを開始することができた。令和2年度の正式運用を前に新評価制度の検証とブラッシュアップを進めていく。

新人事評価制度のサイクルと処遇への反映



＜南丹市内社会福祉法人連携・協働の取り組み＞

社会福祉法人が改正され、地域の福祉ニーズに対応する社会福祉法人の連携・協働による具体的な取り組みが進められる中、南丹市においても市内社会福祉法人の懇談会を2回開催することができた。

■打合せ会議(社協内部)

- ①6/26 (火) 背景・趣旨、懇談会企画、スケジュール等について
- ②7/9 (月) 第1回懇談会の内容と日程について
- ③8/7 (火) 当日の進め方、グループ分け、アンケートの内容について
- ④9/11 (火) 第1回懇談会の振り返り、今後に向けてについて
- ⑤10/19(金) 第2回懇談会の内容、日時、進め方について
- ⑥11/13(火) 第2回懇談会の最終準備、グループ分けについて

■平成30年度 第1回 南丹市内社会福祉法人懇談会

【日時・場所】 8月20日(月) 南丹市社会福祉協議会本所

【内 容】①あいさつ・開催趣旨説明

②自己紹介

③情報・意見交換(地域貢献、地域課題、法人課題など)

【参 加】南丹市内12社会福祉法人 (全12法人中)

■平成30年度 第2回 南丹市内社会福祉法人懇談会

【日時・場所】 11月21日(水) 南丹市社会福祉協議会本所

【内 容】①あいさつ・前回の振り返り

②情報・意見交換(具体的な取り組み課題、今後の会の持ち方、組織化についてなど)

【参 加】南丹市内10社会福祉法人 (全12法人中)

〈福祉サービス利用援助事業不適切事案 経過まとめ〉

日時	会議名等	内容
6月 5日(火)	第1回第三者委員会	・ 委員会の目的と進め方・不適切事案に関する経緯
7月 3日(火)	第2回第三者委員会	・ 不明金の使途特定状況と社協の管理体制の確認 ・ 関係者へのヒアリング
8月16日(木)	第3回第三者委員会	・ 論点、ポイントの整理と再発防止策 ・ 最終報告の考え方
8月23日(木)	第4回第三者委員会	・ 個別事案についての検証と京都府社協も再発防止の取り組みについて。・最終報告素案について
11月27日(火)	第三者委員会報告書公表	・ マスコミ各社への記者発表
11月28日(水)	幹部職員会議	・ 関係職員懲戒処分の考え方について ・ 警察に調査報告書を提出
11月29日(木)	[午前]正副会長会議 [午後]苦情解決第三者委員会	・ 報告書の報告・説明 利用者との示談交渉の方法 ・ 元職員への求償について・関係職員懲戒処分について
12月 3日(月)	課長会議	・ 調査報告書の説明と再発防止策の徹底について → 各係（事業所）で研修を実施（平成31年1月末までに） 研修実施報告書を提出させる（各係長が報告書作成）
12月 6日(木)	係長会議	
12月11日(火)	理事会	・ 報告書の報告・説明 利用者との示談交渉の方法 ・ 元職員への求償について・関係職員懲戒処分について
	評議委員会	・ 報告書の報告・※理事会決議事項 （示談交渉、求償、懲戒処分会長一任等）の報告
12月12日(水)	利用者との示談交渉開始	・ 利用者11名
12月23日(日)	すべての利用者と示談成立	・ 賠償総額895,233円
12月25日(日)	元担当職員へ利用者への賠償総額を求償	・ 示談成立（賠償金受領）警察に、全利用者および元担当職員との示談成立を報告
12月26日(月)	[午前] 賞罰委員会 [午後] すべての利用者に賠償金支払を完了	・ 関係職員制裁の事実認定
12月28日(水)	関係職員処分（制裁）発令	戒告3名・けん責3名 事案発覚当時(平成30年3月28日付)懲戒解雇1名 ・ 減給(1か月)2名・戒告1名

地域福祉の部

総 括

今年度は第3期南丹市地域福祉計画・地域福祉活動計画の初年度であった。基本目標の一つである「住民が主体的に取り組む地域づくり」に関しては、今年度新たに「地域たすけあい会議」を各町域に立ち上げた。今後、様々な活動主体で地域のたすけあい活動の活性化や、これからの地域づくりについて定期的、継続的に話し合いを重ね、取り組みを進めていけるようにしたい。

地区圏域では、地域福祉推進モデル事業の5つのモデル地区をはじめ、各地域において、旧小学校等を活動拠点にした多彩な交流事業や健康教室、移動支援や買い物支援などの取り組みが実施された。こうした取り組みの発展や他の地区への広がりを引き続き支援していきたい。

サロン活動については、リハビリ専門職等と連携し、サロン交流会や各サロンに向いてサロンで取り組める体操等を指導してもらい、サロンにおける介護予防活動の充実を図った。

また、今年度はケアマネジャー等との情報交換や地域住民・他機関と連携した居場所づくりなどに取り組んだ。今後もこうした連携を強化しつつ、個別課題の社会化にしっかり取り組んでいけるように努めたい。

7月～9月には各地で豪雨災害が発生し、南丹市内でもたびたび避難準備情報が出され、地域によっては長期停電や断水の被害が発生した。社協としては被災地支援に取り組むとともに、防災講座の開催や中学校での防災学習などを通じて防災意識のさらなる向上に努めた。

二つめの基本目標「総合的な相談・支援体制づくり」に関しては、各町のイベントに出向き生活相談センターのパンフレットを配布するなど、相談窓口の周知に努めた。当事者や関係機関からの相談がしっかり窓口につながるよう、今後も事業の周知や連携体制の強化を図っていきたい。また、生活困窮者の自立支援においては、直ちに一般就労を目指すことが困難な人が、就労体験等を通じた訓練や、支援付きの就業の機会の提供を、身近な地域の中で受けられない状況にあり、就労準備支援の充実や中間的就労の場づくりについて、行政や民間事業者等と協議をしていくことが今後の課題である。

福祉サービス利用援助事業不適切事案については、第三者委員会による再発防止策の提言を真摯に受け止め、適正な事業運営に向けて改善に取り組んだ。今後も引き続き適正な事業運営に努め、再発防止を徹底していく。

1. 住民が主体的に取り組む地域づくりの支援

① 見守り活動の充実

(1) 見守り活動を通じた問題・ニーズの早期発見・早期対応

◆「あんしんあんぜん情報（見守りチラシ）」の発行（印刷部数：4,500枚）

発行月(No.)	内 容	発行月(No.)	内 容
4月(No. 138)	脳トレクイズ	10月(No. 144)	空き巣の注意喚起
5月(No. 139)	消費者トラブルの注意喚起	11月(No. 145)	火災予防
6月(No. 140)	食中毒予防	12月(No. 146)	感染症予防
7月(No. 141)	昔を振り返ってみましょう(クイズ)	1月(No. 147)	誤嚥の注意喚起
8月(No. 142)	熱中症予防	2月(No. 148)	平成クイズ
9月(No. 143)	防災	3月(No. 149)	外出時の注意

- 【成果】・民生児童委員やふれあい委員等による見守り訪問・声かけの時に、チラシが役に立っていると意見あり
・園部・美山事務所では、裏面にサロン活動紹介の記事を掲載する
・美山ではヘルパーが利用者宅を訪問する時にも、見守りチラシを配布し注意喚起を実施している。

◆ふれあい委員代表者会議

南丹市内各ブロックのふれあい委員代表が集まり、日ごろの活動についての情報共有を行う。

日 時：平成30年10月3日（水）13：30～15：30

場 所：南丹市社協 本所 農事研修室

内 容：ふれあい委員活動から考える防災について

参加者：13名（対象：24名）

【成果】今年度は特に災害の多い年であったため、参加者の防災への意識が高かった。ふれあい委員としての活動を通して「明日からできる防災」について考えてもらうことができた。

【課題】平日開催ということもあり、毎年の参加率は横ばいである。欠席者、代表以外のふれあい委員への本会議のフィードバックが必要である。

◆ふれあい型給食

各町とも毎月1回を基本とし、調理ボランティア等による手作りのお弁当を、夕食として、民生児童委員やボランティアグループにより一人暮らし高齢者や高齢者世帯の方々を対象に届け、見守りとふれあいの機会としている。

事務 所	対応	配食数				
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
園部	給食ボランティア あじさいの会（※1）	265食	65食	122食	181食	633食
八木	給食ボランティア 里いもの会（※2）	134食	140食	131食	130食	535食
美山	知井の里 食工房いろどり（※3）	70食	44食	62食	57食	233食
合 計		469食	249食	315食	368食	1401食

※1：「あじさいの会」7月8月10月は休止。

※2：「里いもの会」6月～9月は休止。その間は業者で対応

※3：8月は休止。

【成果】月1回の定期訪問が、地域の中での交流の継続になっている。

【課題】給食ボランティア担い手（新規ボランティア加入）の課題（園部・八木）

◆各町民生児童委員協議会総会・定例会 4/19園部、4/25八木、4/20日吉、4/18美山

- ・総会や定例会において、民生児童委員とふれあい委員との連絡協力、社協との連携のお願い。
- ・年末の見守り活動（ふれあい委員との連携）と、激励金の意見書、交付の依頼（4町共通：共募事業）
- ・一人暮らし高齢者の集いへの協力要請や3つの振興会と連携した地域づくり事業の実施報告（園部）

◆区長会

各事務所長より、年度当初の区長会でふれあい委員の役割を説明し、情報共有など連携と協力を依頼する。 5/16園部、5/15八木、4/21日吉、5/17美山

◆「ふれあい委員ブロック会議」／「ブロック代表者会議」等

＜園部町＞

「ふれあい委員 ブロック会議」

	実施日	内 容
元 桐	6月13日(水)	普段の活動紹介・民生児童委員と意見交換
摩 気	5月30日(水)	レクリエーション講習・民生児童委員・振興会役員と意見交換
川 辺	6月30日(土)	防災マップづくり講習会参加・民生児童委員・振興会役員と意見交換
元 町	6月11日(月)	普段の活動紹介・民生児童委員と意見交換
西本梅	6月22日(金)	普段の活動紹介・民生児童委員・振興会役員と意見交換
元 村	6月30日(土)	普段の活動紹介・民生児童委員と意見交換

【成果・課題】今年度は、川辺、摩気、西本梅の各振興会役員も参加あり意見交換が行われた。その中では、合同のサロンなど地域の集いの検討を依頼した。今後も地域福祉の中心的役割を担う民生児童委員とふれあい委員が協働してブロックでの集い・催しなどを計画願いたい。

＜八木町＞

「ふれあいネットワーク会議」

(各回、全10ブロック…南地区A・B・C・東地区A・B・C・西地区A・B・北地区・神吉地区)

	実施月	内 容
第1回	5月	情報交換、役員選出、定例ブロック会議日程、年間活動予定等
第2回	7月	情報交換、第1回代表者会議の報告、ふれあい事業、7月豪雨の情報共有、第3期地域福祉計画・活動計画お披露目会のご案内について等
第3回	9月	情報交換、台風・秋雨前線被害の情報共有、地域別懇談会、ふれあい事業について
第4回	11月	情報交換、地域別懇談会、ふれあい事業について
第5回	2月	情報交換、今年度のふりかえり、次年度へむけて

「ふれあいネットワーク ブロック代表者会議」

	実施日	内 容
第1回	6月7日(木)	役員選出、認知症ミニ勉強会等

【成果】行政区ごとに主体的な話し合いを展開している。高齢者の見守り情報だけにとどまらず、災害や地域防災の取り組みについても意見交換が行われている。

【課題】“やらされている感”や負担感をどう取り除くかがポイントになる。ネットワークでつながりながら活動を楽しむことや、支え合いの意識をどのように醸成していくかが重要になる。社協（事務局）の関わり、アプローチのあり方が非常に重要になる。

＜日吉町＞

「ふれあい委員正副ブロック長会議」

	実施日	内 容
第1回	9月18日(火)	日吉町ふれあい委員交流会について

「日吉ふれあい委員交流会」

開催日：11月28日（水）

テーマ：見守りで誰もが元気アップ！

内 容：（１）姿勢の話（講師：神内伸晃氏 明治国際医療大学 講師）

（２）意見交換・交流（地域ブロックごとに、民生児童委員とともに）

【成果】民生児童委員の参加協力を得て、日頃のふれあい委員との協力関係の様子を相互に交わすことができた。

＜美山町＞

「宮島地区 ふれあい委員・民生児童委員交流会」

	実施日	内 容
第 1 回	8月3日(金)	社協より「ふれあい委員活動について」説明 ・意見交換会 参加者：宮島地区ふれあい委員、民生児童委員 計12名

「平屋地区 ふれあい委員・民生児童委員交流会」

	実施日	内 容
第 1 回	12月7日(金)	社協職員より防災についての講義と、意見交換。 参加者：民生委員4名、ふれあい委員3名、平屋福祉協役員8名（重複あり） 社協職員3名

【成果】民生委員、ふれあい委員共に連携の必要性を感じており、お互いに歩み寄る機会になった。

【課題】ふれあい委員の参加人数がやや少ないのと、他地区での開催に至っていないことが課題。

◆地域福祉活動助成「ミラたね助成」事業

「地域の未来（ミラ）に種（タネ）をまく」ことを目的に、地域住民どうしが協力して主体的に取り組む地域福祉活動に対して、3万円を上限に助成を実施した。

助成件数：計17件

【成果・課題】本事業を活用し、地域の見守り体制づくりにつなげている。助成活用を通じて交流の場ができた後に、継続・発展していけるよう、社協からも働きかけや関わりが必要である。

＜園部町＞

- ・「横田いきいき絵を始めよう会」（5/14、6/19、7/23）
- ・「木崎町区」災害時に役立つ見守りの仕組みづくり
- ・「竹井区ふれあいサロン」（11/18）
- ・「川辺親父の会」（12/2）

＜八木町＞

- ・「レクリエーション学習会」（2ヶ月に1回開催）

	実施日	内 容	参加
第 1 回	4月19日	5月の歌、すき焼きジャンケンゲーム、折り紙、一言感想	22人
第 2 回	6月14日	季節の歌、七夕飾り、紙コップの小物入れ作り	20人
第 3 回	8月9日	季節の歌、吹かない風車、箸置き作り、おかずケースとビー玉で変な動きをするもの作ろ、折り紙	16人
第 4 回	10月18日	季節の歌、顔面健康ストレッチ、歌って遊ぼう、折り紙	19人
第 5 回	12月6日	季節の歌、歌って遊ぼう「お正月」肩たたき、指折り、1枚の画用紙でクリスマスツリーを作ろう、小箱、箸袋、折り紙	12人
第 6 回	2月14日	季節の歌、歌って遊ぼう、グーとグー、折り紙	16人

【成果】学習会も3年目で定着してきた。学びだけでなく参加者同士の情報交換・交流の場にもなっている。

【課題】参加者が固定化してきているので、新規の参加者をどう呼び掛けるか。

- ・「ふれあい事業」（ふれあいネットワーク10ブロックで開催）

地区	実施日	内 容	参加
南地区A・Bブロック	11月25日	サックス演奏「クレイジーモンキーズ」、茶話会	64人
南地区Cブロック	8月23日	ラジオ体操、朝食、レクリエーション	40人
東地区Aブロック	10月20日	レクリエーションボランティア「ドレミ」、茶話会	29人
東地区Bブロック	10月21日	ストレッチ、ゲーム、盆踊り、茶話会	31人
東地区Cブロック	12月2日	レクリエーションコーディネーター杉本雅子先生	34人
西地区Aブロック	10月28日	漫才「花いちもんめ」、ゲーム、茶話会	33人
西地区Bブロック	11月10日	ボランティアデュオ「ぼぼたん」、ゲーム	53人
北地区	11月11日	活動パネル展示、委員紹介、サックス演奏	来場者
神吉地区	11月23日	落語「南丹亭百笑」、ふれあい亭かやくごはん	39人

【成果】ブロック合同や地域の祭りへの参加といった活動区域を越えた取り組みが展開されはじめている。事業を通して、ふれあいネットワークの意義や活動を地域に広める役割も果たしている。

【課題】助成については検討が必要。（内容、参加者、規模によって金額が変動することも検討が必要なのは）

<日吉町>

- ・「下保野田老人クラブ」 10月14日（日）区民グランドゴルフ交流大会 40人参加
- 【課題】 広く区民の参加の場として区の取り組みへと継続・発展につながるよう働きかけたい。

<美山町>

- ・「あけぼの会」（豊郷）4月21日（土） 佛教大学の学生との交流事業に活用。昔遊びや名所の滝を案内し、枳餅の加工工程などを体験してもらい、洞区民と学生の交流を図った。

◆「ふれあい委員研修会」の開催

	日 時	会 場	参加者	対象者	参加率
園部町	4月28日(土) 09:30~11:30	園部公民館	44人	65人	67.7%
八木町	4月14日(土) 13:30~15:00	八木公民館	92人(※1)	122人(※1)	75.4%
日吉町	4月21日(土) 10:00~12:00	日吉はーとびあ	24人	39人	61.5%
美山町	4月23日(月) 19:30~21:30	美山保健福祉センター	39人	60人	65.0%
計			199人	286人	69.6%

(※1) 八木町、ふれあい委員・民生児童委員を含む人数。

- 【成果】・ふれあいネットワーク活動の取り組みへの評価や活動の理解・周知が高い参加率につながった。(八木)
ふれあい委員 74/92 (参加率 80%) [新任 40/52 77%、継続 (2年目) 34/40 85%]
・土曜日午前に開催したが、平日夜開催の前年度に比べ参加人数に大きな変化はなかった。(日吉)
・研修会欠席の委員には、自宅に訪問し、会議資料と報告書を手渡しした。(日吉)
・今年度の参加人数は昨年度よりも若干増加した。欠席者には資料と報告書を後日訪問手渡し。(美山)
- 【課題】 内容がマンネリ化している。ふれあい委員の役割・目的・機能に加え、ネットワークとしての役割や地域福祉として求められていることなどわかりやすい内容にしていこう。社協の役割や連携の部分も伝えていきたい。

(2) 見守りネットワークの拡充

◆高齢者等見守りネットワーク

- ・昨年度と同様、協定締結事業者の協力により見守り活動を継続している。
通報件数：1件（京都生協からの通報。緊急の入院による不在で大事には至らず）
- ・「協定締結事業所との懇談会」の開催
日 時：3月15日（金）14:30~15:30
場 所：園部公民館中研修室
内 容：情報交換、関係機関からの情報提供、意見交換

- 【成果】 協定締結事業者に加え、南丹警察署、南丹市消費生活相談窓口等の関係機関にも出席してもらい、情報交換意見交換を行うことができた。
- 【課題】 新規協定締結など、ネットワークの拡充の取り組みができていない。

② 居場所・交流づくりの推進

(1) サロン・居場所を通じた見守りの充実

◆ふれあいいいききサロン（3月末現在） 登録：129サロン（園部54、八木17、日吉16、美山42）

サロン活動助成 (1人あたり月1回150円)	合 計	1,851,750円 (のべ 12,345人分)
	園部 小計	845,400円 (のべ 5,636人分)
	八木 小計	247,650円 (のべ 1,651人分)
	日吉 小計	207,450円 (のべ 1,383人分)
	美山 小計	551,250円 (のべ 3,675人分)
新規立ち上げサロン ①和なげの会(園部八人)②川辺のサロン(園部川辺地区)③卓上遊戯倶楽部(美山鶴ヶ岡)④横田いきいき絵を始めよう会(園部横田)⑤栄町さわやかクラブ(園部栄町)⑥栄町ごろごろクラブ(園部栄町)⑦栄町カラオケクラブ(園部栄町)⑧横田楽しよう会(園部横田)⑨サロンあそび場(園部町小山東町)⑩栄人グラウンドゴルフ愛好会(園部八人)⑪はぶグラウンドゴルフ愛好会(園部植生)⑫竹井楽笑サロン(園部竹井)		

- 【成果】
・同一区内に複数のサロンが立ち上がり、交流機会の増加につながっている。(園部)
・サロン数は横ばいだが、社協職員が各サロンに積極的に出向くようになり新たなつながりが出来た。
- 【課題】
・新規サロン立ち上げの動きがない。(八木)
・担い手の高齢化。次の担い手不足。社協組織としての関わりが弱い。
・他団体主催のイベント参加について、サロン助成の申請がある事例など、助成事業としての検討課題である。

◆ひとり暮らし高齢者のつどい

日 時：10月25日（木）10時00分～14時30分

場 所：南丹市国際交流会館イベントホール

内 容：西本梅ばんどさんの演奏、南丹亭百笑さんの落語、にこにこビンゴゲーム、会食、大抽選会 他

参加者：72名

共 催：園部町民生児童委員協議会、南丹市社会福祉協議会園部事務所

（8月21日 民生委員と準備の打合せ・10月16日 民生委員と大抽選会の景品準備）

(2) サロンどうしの交流、活動紹介・情報発信の充実

◆南丹市サロン交流会

活動発表（ビデオ上映）を通じてサロン協力者どうしの交流を図った。今回は南丹地域リハビリテーション支援センターや南丹保健所を講師に招き、介護予防と交流を兼ねた活動の推進を図った。

園部会場 11月22日（木） 13:30～15:30 [参加者：18名]

八木会場 11月30日（金） 13:30～15:30 [参加者：17名]

日吉会場 12月5日（水） 13:30～15:30 [参加者：19名]

美山会場 11月26日（月） 13:30～15:30 [参加者：26名]

【成果】専門職視点での介護予防講座は効果的だった。サロンでの介護予防を進めるにあたり、各関係機関とつながりを作ることが出来た。また、参加したサロンからも「サロンで体操を取り入れたい」と意見が多数あった。

【課題】町を越えた活動交流がしたいとの声がある。次年度は町ごとに会場を分けるのではなく、テーマごと（例：レクリエーションの会、サロン運営についての会など）に会場を分けて開催を企画する。

◆青戸ふれあいいきいきサロンとほほえみ八木通所介護事業所介護職員との協働（八木）

地域住民と専門職が課題に対して向かいあう体制づくり

4月19日（月） サロン参加者30名、社協職員5名

6月18日（月） サロン参加者27名、社協職員4名

10月19日（月） サロン参加者29名、社協職員5名、実習生1名

12月17日（月） サロン参加者30名、社協職員4名

2月18日（月） サロン参加者25名、社協職員3名

【成果】青戸サロンの活性化。参加者のやる気、主体性の向上。今年度青戸体操が完成し、毎回実施

【課題】社協の中で、効果的な振り返りや、成果、課題の検証ができていない。

◆佛教大学「ふれあい実習」の受入れ（美山）

4月21日及び5月12日に実施し、町内7サロンに看護学部新生が出向き参加者とのふれあいを通してコミュニケーション法や地域の状況を学んだ。

◆平屋地区サロン従事者交流会（美山）

平屋地区のサロン代表者及び参加者による交流会を開催。社協の貸出物品を展示、体験。

日 時：9月10日（月）19:30～

参加者：17名、社協職員1名

【成果・課題】開催内容などについてのヒントをお互いに得ることができた。

◆平屋福祉推進協と大谷大学との交流事業（美山）

10月7日、学生の企画によるふれあいカフェを開催。平屋10地区の合同サロンとして約75名の参加があり、学生と地域住民との交流を楽しんだ。

◆「あんしんあんぜん情報（見守りチラシ）」の裏面活用

毎月、民生児童委員やふれあい委員を通じて配布いただく見守りチラシの裏面に、園部、美山事務所では、サロン等の活動紹介の記事を、事務局で印刷し掲載。

【成果・課題】ごく身近な話題や、あえて人の顔を載せることで、ご近所での良い話題になっている。

(3) サロン・居場所における介護予防活動の充実

◆リハビリ専門職等との連携による介護予防活動の普及

・サロン交流会にて、南丹地域リハビリテーション支援センターや南丹保健所を講師に招き、介護予防とレクリエーション交流を兼ね、活動の推進のきっかけとした。（詳細はサロン交流会の項参照）

・京都私立病院協会からリハビリテーション啓発事業により、理学療法士等がサロンへ出向き、介護予防をねらいとした体操等の体験と、継続実施のためのポイントの講義を実施する。

12月11日（火）畑郷いきいきサロン

参加者26名 社協職員2名

- 12月12日（水）刑部ふれあいサロン 参加者 21名 社協職員 3名
 上平屋・美の里笑話サロン 参加者 13名 協力者 13名 社協職員 3名
 ・南丹保健所から保健師と、京都中部総合医療センターから理学療法士が出向き、介護予防をねらいとした体操等の体験を解説する。
- 1月21日（月）ひだまりサロン（河内谷） 参加者 15人 社協職員 3名
 2月15日（金）なでしこサロン（下） 参加者 11人 社協職員 1名

③ 住民参加型の支え合いサービスの検討

生活支援体制整備事業（※南丹市委託事業）

生活支援コーディネーターを中心に、町域ならびに各地区（旧小学校区エリア）の取り組みに関わり支援する。各地域における様々な活動の実態把握やニーズ・課題の把握、関係者とのつながりづくりに努めた。

【成果】第2層協議体を「地域たすけあい会議」と称し、町域ごとにメンバー参加を依頼し、各町で発足できた。

【課題】各団体とのネットワークづくり、地域の状況把握、生活支援コーディネーターの周知

(1) 高齢者等の生活支援ニーズの把握

◆園部町

〈全地域〉

- ・各区、老人クラブ、サロンへ活動内容に関するアンケート調査
- ・5月10日 園部病院と送迎車両の活用について意見交換（事業所の地域貢献）
- ・園部中学校の未来を考える会に参画
- 7月19日 会議出席
- ・7月10日 NPO法人テダスと懇談し助言をもらう

〈川辺ブロック〉

- ・5月25日 防災マップづくり打合せ
- ・6月16日 ふれあい委員 手芸講習会と交流会
- ・6月30日 防災マップづくりに参加（終了後ふれあい委員ブロック会議開催）
- ・7月13日 川辺ふれあい福祉まつり企画会議参加
- ・8月23日 川辺ふれあい福祉まつり企画会議参加
- ・9月7日 川辺ふれあい福祉まつり企画会議参加
- ・9月24日 川辺ふれあい福祉まつり企画会議参加
- ・11月3日 川辺ふれあい福祉まつりに参加
- ・11月15日 川辺ふれあい福祉まつり企画会議（反省会）参加

〈摩気ブロック〉

- ・5月15日 摩気高山の郷振興会役員とモデル事業について意見交換
- ・5月22日 摩気高山の郷振興会役員と地域別懇談会について打合せ
- ・7月25日 摩気熟年学校参加
- ・9月12日 竹井区 ふれあい委員とサロンについての相談
- ・9月19日 にこにこクラブ（大西区サロン）訪問・取材
- ・9月20日 摩気合同サロン実行委員会に参加
- ・11月18日 竹井区ふれあいサロン参加
- ・11月21日 摩気合同サロン実行委員会に参加
- ・11月25日 摩気文化祭、摩気合同サロンに参加 社協公用車を活用した住民による送迎運行
- ・12月6日 摩気合同サロン反省会に参加
- ・3月6日 摩気高山の郷振興会役員と民生委員・ふれあい委員による会議に参加
 （摩気合同サロン今後の取り組み、移動手段調査について）
- ・3月20日 摩気高山の郷振興会 移動支援事業視察同行（富田林市）

〈西本梅ブロック〉

- ・4月6日 西本梅地域振興会役員と懇談
- ・6月9日 天引ほたるコンサート見学
- ・8月9日 西本梅いきいき交流会打合せ
- ・9月27日 西本梅いきいき交流会（合同サロン）参加・包括支援センターよりセンターの紹介

- ・10月14日 西本梅野外ライブに参加(共同募金箱設置場所にて)
- ・1月23日 はぶグラウンドゴルフ愛好会(サロン)訪問

＜元町ブロック＞

- ・7月26日 なかよし会(新町区サロン)訪問・取材
- ・支え合いマップづくり(上本町・若松町・新町)(ブロック会議でのマップづくり提案により)

＜元村ブロック＞

- ・6月12日 栄町遊友サロン訪問
- ・6月27日 府宮向河原団地いきいきサロン 南丹リハセン・南丹保健所と訪問
- ・7月24日 美園町(サロン)美談クラブ訪問 地域福祉計画・活動計画について 他
- ・9月20日 栄町区のサロン運営について意見交換
- ・10月9日 いきいき小桜(サロン)訪問
- ・12月7日 (栄町区)個人宅のガレージでの集まりへ訪問
- ・1月25日 横田楽しよう会(サロン)訪問
- ・2月12日 栄町遊友サロン訪問

＜元桐ブロック＞

- ・7月18日 木崎町高齢者等の見守り活動交流会参加
- ・支え合いマップづくり(上木崎町・内林町・新堂)(ブロック会議でのマップづくり提案により)
- ・12月10日 木崎町区クリスマス会へ参加

◆八木町

- ・「地域共生社会の実現に向けて」講演
4月20日 八木町老人クラブ連合会評議委員会
- ・南丹市地域福祉活動計画広報周知
4月25日 八木町民生児童委員協議会総会
5月31日 サロン杉の子
6月8日 サロンにこここ会
6月18日 青戸ふれあいいきいきサロン
6月19日 サロン華
- ・八木町内ケアマネジャー・生活支援コーディネーター情報意見交換会
7月13日開催 20名参加
内容・地域包括ケアシステムの推進と生活支援コーディネーターの役割について
・事前アンケート報告、グループディスカッション(情報・意見交換)
・多職種連携の発展に向けた取り組みの工夫、アイデア、制度、地域づくり、利用者支援など
【成果・課題】ケアマネジャーと生活支援コーディネーターとの連携関係の第1歩となった。
- ・八木町地域別懇談会開催準備
6月6日 新庄郷育館事務局長と共催の提案
7月4日 新庄郷育館事務局長と相談
8月2日 テーマ提起発表者 藤林氏2名と打ち合わせ
9月25日 藤林氏2名と打ち合わせ
10月12日 企画小委員会 委員長・副委員長と打ち合わせ
10月15日 藤林氏1名と打ち合わせ
10月17日 新庄郷育館事務局長と相談
- ・東部文化センター
4月23日 今年度の活動について協議
7月18日 ワークショップ ファシリテーター打ち合わせ
7月28日 第1回こどもレストラン、井戸端会議(ワークショップ)開催
10月28日 第2回こどもレストラン、井戸端会議(ワークショップ)開催
12月2日 人権フェスタ参加

◆日吉町

＜全地域＞

- ・日吉地域会議 昨年度いっぱいだったん休止中。会議参加者のつながりが途切れてしまうことのないように、別の形で集まりやつながりが持てないか検討している。
4月24日 日吉ゆう薬局、株式会社ローソンヘルスケア西日本支店との打ち合わせ

・ひよしのまちカフェ [認知症カフェ]

カフェ (4/12、5/10、6/14、7/12、8/9、9/13、10/4、11/8、12/6、1/10、2/14、3/14)

カフェ実行委員会 (5/10、8/9、11/8、2/14)

【成果・課題】

- ・カフェ、実行委員会共に定着してきている。冬期間は参加者が減ったものの、現在は少しずつ増加傾向にある。
- ・日吉町民生児童委員会の高齢者部会との連携
- ・地域ケア推進会議、ケアマネ連絡会に参加。地域のケアマネや事業所の方と直接話す機会をもつことができた。
- ・秋以降、認知症カフェアドバイザーの派遣を受ける。

＜世木地区＞

- ・世木の里づくり委員会 [世木地域振興会] 生活関連グループの解散により、会議への参画がなくなった。

【成果・課題】 振興会事務局とのつながりを持つ必要性を感じているが、まだ実行できていない。

＜五ヶ荘地区＞

- ・モデル地区としての支援を継続 (別記→地域福祉推進モデル事業)

協議会役員会への参加 6月20日、7月25日、8月31日、9月20日、10月18日、1月17日、2月19日

計画づくり打ち合わせ 3月15日、3月27日

【成果・課題】 計画づくりは、役員の主要メンバーが「たたき台」を作り、それをもとに役員会で議論する予定になっている。計画完成後に、今後の協議会の活動について、住民に向けて計画の周知をしていく予定。

＜田原地区＞

- ・興風交流センターでの「隣保館デイサービス事業」開始に向けた協議

事前打ち合わせ 5/25 (興風交流センター、南丹市社協日吉事務所)

関係者打ち合わせ 4回 (6/13、8/29、1/28、3/25)

参加者：興風交流センター、市日吉支所市民生活課、市人権政策課、はぎの里、社協日吉事務所)

【成果・課題】

- ・南丹市の「隣保館デイサービス事業」として実施予定 (平成31年度より開始予定)。
- ・時代とともにセンターの役割が変化し、また法律上も隣保館が地域福祉の拠点となるよう位置付けられている。サロンや居場所の少ないこの地域に、人が集える場所を作りたいという考えが一致して始まった取り組みである。

◆美山町

＜知井地区＞

- ・ 6月20日 住みよい安全安心のまちづくり委員会総会 兼 知井地域別懇談会
- ・ 8月 6日 奈良県橿原市畝傍北校区福祉協の施策研修受け入れの事前打ち合わせ
- ・ 8月18～23日 ワークキャンプ受け入れ (佐々里区、知井小学校、北区、知見区、河内谷区)
- ・ 9月 1日 奈良県橿原市畝傍北校区福祉協の施策研修受け入れ
- ・ 9月16～29日 知井地区内の断水による給水支援ボランティア

【成果・課題】 7月の豪雨を受けての断水・濁水により地域全体が大きな打撃を受けており、振興会やまちづくり委員会の役員さんたちにも疲労の色が多々見受けられた。そんな中でもボランティアや他市の視察を受け入れるなど活発に活動されていた。

＜平屋地区＞

- ・平屋地区地域福祉推進協議会 役員会への出席 (4/13、5/21、6/22、7/15、8/29、10/31)
- ・ 6月11日 平成30年度 総会および研修会
研修会：講演「いつまでも生きいきと暮らし続けるために」
- ・ 6月12日 大谷大学との交流事業についての打ち合わせ会議
- ・ 7月15日 平屋ふれあいカフェ
- ・ 8月14日 世代間交流事業 (マイスプーンでカレーを食べよう)
- ・ 8月24日 大谷大学との交流事業についての打ち合わせ会議
- ・ 9月10日 平屋地区サロン従事者交流会
平屋地区のサロン活動従事者同士の交流と勉強会。社協の貸出物品の説明
- ・ 9月27日 大谷大学へ出向き、美山町及び平屋地区についての事前学習
- ・ 10月05日 高齢者とのふれあい・ささえあい活動 [大谷大学 (志藤ゼミの学生51人) との協働]
6日 高齢者世帯を個別訪問しての生活支援、観光振興と移住に向けて、移送サービスの実態調査
7日 ふれあいカフェの開催 (学生の企画運営)、内久保地区の倒木処理作業手伝い
- ・ 12月11日 大谷大学との交流事業についてのふりかえりと、移動支援調査の報告会
- ・ 2月24日 平屋人権学習会 (福祉講演会) 栗木剛先生の講演。
- ・ 3月12日 平屋地区地域別懇談会 大谷大学による移動支援調査報告と、それを基にした意見交換。

【成果・課題】 大谷大学との交流を始めとし、昨年度に策定した「第2期平屋プラン」に沿って活動が活性化している。役員さんが他との兼務されている方が多く、事業が活発になるのに比例して負担も大きくならな

いかが心配である。今年度の反省点を活かして、来年度の事業へと発展していきたい。移動支援調査では、アンケートのみでなく、対象者を直接訪問する事でより精細にニーズを調査することができた。

<宮島地区>

- ・ 5月18日 宮島地区地域福祉推進組織 立ち上げにかかる事前協議
 - ・ 6月 7日 宮島地区地域福祉推進組織 立ち上げ準備会
 - ・ 6月22日 宮島地区地域福祉推進組織「元気にすごせるまち宮島協議会」発足
 - ・ 8月 3日 ふれあい委員・民生児童委員交流会
 - ・ 8月25日 しろやま夏祭り
お出かけ（買い物）ツアーの実施（5/24、6/28、7/26、8/23、9/27、11/29、12/27、2/28）
 - ・ 12月 1日 美山福祉のつどいのステージで実践報告を行う。
- 【成果・課題】「元気にすごせるまち宮島協議会」が今年度より立ち上がった。宮島振興会のモデル事業と組み合わせで福祉計画を立て、活動内容を充実させていきたい。

<鶴ヶ岡地区>

- ・ 6月14日 第1回住み続けられる町づくり推進会議
・ 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画について概要説明
・ 災害時における高齢者の避難対応について
・ サロン活動の推進
・ 小字単位に分かれてのグループトーク
- 【成果・課題】今年度の地区懇談会はふれあい委員さんの参加が多かった。また、ふれあい委員同士での意見交換の時間も持たれ、民生委員との交流の機会を持ちたいという意見もあった。

<大野地区>

- 虹の湖ネットワーク推進会議に出席し各種情報提供、提案を行う
- ・ 5月22日 H30年度モデル事業の打ち合わせ
 - ・ 5月29日 虹の湖ネットワーク推進会議 総会
 - ・ 8月26日 大野ふれあい広場 参加
 - ・ 9月21日 虹の湖ネットワーク推進会議
 - ・ 10月5日 大野ミニデイにて、防災に関する講座を開催
大野地区各サロンで、防災講座を開催（10/10 たんぼぼサロン、11/8 川谷サロン、11/10 岩江戸サロン、11/20 大野スミレサロン）
 - ・ 11月24日 大野虹の湖フェスティバルの開催（大野虹の湖交流センター）
大巻き寿司作り、もったいない市、ミニ喫茶、鍼灸体験、劇団MWOの公演
- 【成果・課題】大野地区では今期、防災に力を入れており、大野振興会では「ふるさとレスキュー」も立ち上げた。迅速な避難を促すために、各サロンで防災講座をしてほしいと相談があり、社協職員が対応した。

(2) 支え合いサービスに関する調査・研究、協議

◆生活支援体制整備事業に関する会議（生活支援コーディネーターと市高齢福祉課との連携会議）

	月日	内 容
第1回	5月16日(水)	H29年度のふりかえり、H30年度事業計画について (第1層、第2層協議体の設置期日を確認した。)
第2回	7月26日(木)	協議体の考え方について（市と社協の考え方を確認し合った。)
第3回	10月12日(金)	取り組み状況(情報共有)、協議体の立上げについて（合同研修会等）

◆大津市社会福祉協議会視察研修

日 時：10月29日（月）

場 所：大津市社会福祉協議会にて

参加者：【南丹市社協】SC、地域福祉課長、園部事務所長、包括、南丹市高齢福祉課、京都府社協

【大津市社協】SC、包括、市役所、社協

内 容：SCの取り組み、サロンMAP等について情報交換をした。

④ 地域における移動・外出支援活動の創出

(1) 移動・外出支援検討委員会

◆移動支援活動の研修会

日 時：11月15日（木）午後1時30分～3時30分 場所：園部公民館 中研修室

講 義：地域支え合いによる移動支援活動に係る情報提供

講 師：NPO 法人 京都運転ボランティア友の会 会長 石原宏武氏

実践報告：鶴ヶ岡地区高齢者等移送サービス

報告者：美山町鶴ヶ岡振興会 会長 下田敏晴氏

【成果・課題】 社協、行政職員に加え、自治組織関係者も参加を呼びかけ、共に関係法令や活動上の留意点、活動事例など学んだ。地域の交流行事や高齢者教室等への参加者送迎に対する支援依頼が寄せられている。

◆地域における活動の立上げ・運営支援（助言・情報提供等）

- ・移動支援活動のための車両確保に向けた取り組み 園部病院との意見交換 →③の（1）
- ・美山町宮島地区 高齢者お出かけ（買い物）ツアーへの公用車両の貸出し →③の（1）
- ・平屋地区では平成31年度以降、高齢者のための移動支援事業に取り組む。その調査段階として、大谷大学と協働し移動に関するアンケート調査と訪問聴き取り調査を行った。

⑤ 地域防災力の強化

(1) 災害時要配慮者支援を意識した地域防災力の強化

(i) 福祉防災マップづくり支援

◆園部町 川辺ブロックにて防災マップづくり →③の（1）

(ii) 地域防災講座、避難所運営訓練等の実施

◆地域防災講座

開催予定日：9月8日（土） → ※台風接近の為、3/9に延期
申込者：64名（事前受付者人数）

開催日：3月9日（土） 13：30～

場 所：日吉町生涯学習センター遊 you ひよし

講 師：南丹市社会福祉協議会

内 容：講義・グループワーク「学校が避難所になったら～誰もが過ごしやすい避難所を考える～」

参加者：66名

【成果・課題】

- ・開催時期の検討（台風のため）
- ・住民の災害・防災への関心が高まっており、サロン等より防災に関する出前講座の回数が増加している。
- ・今年度は例年より実践的な訓練であったためか、アンケート結果も概ね好評であった。

◆八木町南地区総合防災避難訓練

実施日：9月30日（日）※雨天のため中止

平成31年1月27日（日）に南地区独居高齢者宅防火訪問を実施

内 容：ふれあい委員、消防団、民生委員と独居高齢者宅を訪問

◆防災出前講座

集落単位での防災懇談会・啓発活動として社協職員がサロンに出向いて防災講座を実施した。

実施日	場 所	参加人数	内 容
10月5日	大野地区ミニデイ	15人	「集落の危険個所を知る、防災カードゲーム」
10月10日	たんぼぼ（向山区サロン）	15人	
10月17日	悠サロン（中区）	10人	
11月8日	川谷サロン	15人	
11月10日	岩江戸いきいきサロン	7人	
11月20日	大野すみれ会（字大野）	19人	

【成果・課題】 集落のハザードマップを印刷し、そこに地域住民の知っている細かな情報を書き入れてもらった。

(2) 平時のネットワークを活かした災害支援のネットワークづくり

(i) 行政、関係機関、各種団体、地域住民との災害時の連携確認

- ・南丹市ふれあい委員代表者会議での情報共有 →① (1) の (i)
- ・園部町、木崎町区の災害時に役立つ見守りのしくみづくり →① (1) の (ii) ミラたね助成
- ・八木町、南地区の災害時避難について懇談会 (民生委員、消防団、社協)
- ・八木町、ふれあいネットワーク会議での情報共有 →① (1) の (ii)
- ・八木町、地域別懇談会で防災をテーマに情報共有

【成果・課題】上半期には、7月～9月にかけて豪雨や台風通過にともなって計6回避難準備情報 (避難勧告、避難指示) が出され、日頃から見守りをしている要配慮者の方々に対して避難所や安全な場所への避難等様々な支援について、区、民生児童委員、ふれあい委員等からは、いざという時にはなかなか動きが取りにくいとの実感から、早めの行動や日頃からの連絡体制、役割分担の大切さの声が聞かれた。

平時の見守り活動やその情報共有、ネットワーク体制づくりの働きかけをさらに進めていく必要がある。

(ii) 被災地支援活動

7月～9月の豪雨や台風通過にともない西日本に甚大な風水害をもたらした中、被災家庭の復旧支援や生活支援のために、各地の市町村で災害ボランティアセンターを通じてボランティア派遣が行われた。本市においても、いくつかのネットワークを通じて被災者支援のボランティア派遣、災害ボランティアセンター運営支援に取り組んだ。

◆被災地復旧支援、生活支援活動

- ・京丹波町 7月14日 (土) 社協職員有志が参加し、家屋内の泥出し・片づけを行った。
- ・福知山市 7月18日 (水) ボランティアバスを1台出し、職員4名・ボランティア10名参加敷地内の泥出しや被災者の話し相手を行った。
- ・亀岡市 9月15日 (中止)・16日・17日 社協職員、ボランティアのべ15名参加し、家屋内の泥出し・片づけを行った。
- ・南丹市八木町・日吉町 長期停電世帯への生活物資配布
- ・南丹市美山町知井地区 9月15日～29日の土日を中心に、職員のべ5人が地元自治会とともに断水世帯への給水活動を行った。

◆被災地の災害ボランティアセンター運営支援

- ・舞鶴市 7月11日 (水)～13日 (金) 職員1名
- ・宮津市 7月13日 (金)～20日 (金) 職員4名が3日ずつ
- ・倉敷市真備町 8月19日 (日)～23日 (木) 職員1名

⑥ 協働ですすめる地域福祉の体制づくり

(1) 地域福祉を推進する住民主体の組織づくり

(i) 地域福祉推進組織の立上げ支援

〈地域福祉推進モデル事業実施状況〉 新規2地区、継続3地区 ※各地区へ10万円 (上限) 助成

モデル指定地区・活動主体	新規 継続	実施内容
(1) [美山] 鶴ヶ岡地区 ／鶴ヶ岡住み続けられる町 づくり推進会議	新規 (1年目)	・移送サービス事業の継続・充実 ・スマートフォンのアプリを活用した災害時の連絡体制の構築 ・鶴ヶ岡地区福祉活動計画の検討
(2) [園部] 摩気地区 ／特定非営利活動法人 摩気高山の郷振興会	新規 (1年目)	・摩気地区8区合同の高齢者サロン「まんぷくサロン」の試行 (11/25 摩気文化祭時) ・「高齢者移動支援」の試行 (11/25 摩気文化祭時) ・地域福祉推進活動勉強視察 (富田林市ほっとらいふ) モデル事業の指定に当たり、地元振興会と良い話し合いができ、事業の実施に向けては民生児童委員とふれあい委員の皆さんとの連携が強くなった。10月30日に本所職員より活動内容の聞き取りを実施した。視察では活動組織の設立から運営について学んだ。

(3) [美山]宮島地区 ／元気にすごせるまち宮島 協議会	継続 (2年目)	・移動手段のない高齢者の支援として買い物ツアーの実施（美山町宮島地区内および園部方面）5～2月、計10回実施 ・民生委員とふれあい委員の交流会の実施（8/3）
(4) [美山]大野地区 ／虹の湖ネットワーク推 進会議	継続 (3年目)	・交流拠点づくり（旧小学校にて虹の湖ふれあいフェスティバルの開催（11/24）） ・健康講座（ヨガ、鍼灸、体操） ・サロンで集落単位での防災出前講座の開催
(5) [日吉]佐々江・四ツ谷地区 ／住みよいむらづくり協 議会	継続 (3年目)	・旧五ヶ荘小学校を拠点にした共助の基盤づくり ・サロンの開設（居場所づくり） ・健康体操教室（健康に暮らせる情報提供や健康づくりの場づくり） ・健康福祉相談室（住民への情報提供と気軽に相談できる場の提供） ・参加者の送迎（ボランティアによる送迎を行い、出掛けにくい人の外出の後押しを行う） ・モデル事業三年目の取り組みとして、計画づくりにも取り組んでいる。

(ii) 地区福祉活動計画の策定支援

【成果】モデル指定地区（3年目）の2地区への働きかけを行った。

日吉町佐々江・四ツ谷地区 計画の素案作成の段階で、次年度も協議に継続して関わる。

美山町大野地区 これまでの取り組みを中心に計画案に向け協議を継続的に関わる。

【課題】モデル指定期間終了後の地区で地域福祉活動計画未策定の地区に対し、諸活動は継続されているので、それらを中心にするなど地域主体の活動計画策定を引き続き働きかけていく。

(2) 地域福祉・生活支援活動の拠点づくり

(i) 先進事例に関する調査・研究、情報提供

各地区（旧小学校区エリア）での取り組みをサポートしている。

- ・モデル事業の各地区の取り組みによる。（特に、美山町宮島地区の推進組織の立上げ）
- ・園部町川辺地区、ふれあいまつりを通じた取り組み →③の（1）
- ・園部町西本梅地区、合同サロン交流会を通じた取り組み →③の（1）
- ・園部町摩気地区 文化祭内での合同サロンを通じた取り組み
- ・日吉町田原地区、興風交流センターでの隣保館デイ事業に向けた取り組み →③の（1）
- ・美山町知井地区、ワークキャンプによる集落支援のサポート →③の（1）
- ・美山町平屋地区、大谷大学との協働による交流の場とくらしの手伝い訪問活動のサポート

(3) 支え合いの地域づくりに向けた機能的な協議の場づくり

◆地域別懇談会の開催

〈園部事務所〉

地区	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	地元役員	合計	参加率
元桐	9月27日(木)	3人	7人	7人	10人	0人	27人	67.5%
摩気	7月12日(木)	8人	7人	7人	7人	5人	34人	79.6%
川辺	8月2日(木)	3人	2人	4人	2人	3人	14人	48.2%
元町	8月30日(木)	3人	3人	5人	3人	0人	14人	60.8%
西本梅	7月26日(木)	7人	3人	9人	3人	2人	24人	64.8%
元村	9月13日(木)	5人	5人	7人	5人	0人	22人	40.7%
計		29人	27人	39人	30人	10人	135人	59.7%

【成果・課題】今年度は「見守りやサロン活動でつながろう・ささえあおう」をテーマとして意見交換をしていた。話し合いは、様々な角度から意見が出されるため、地域課題に絞り込むことの難しさを感じた。社協としては、懇談の話題提供として①サロンの活動状況一覧、②区長と単位老人クラブ会長に対するアンケート調査（地元で開催されている住民が集う催し）の結果を配布した。

＜八木事務所＞

地区	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	一般	合計	参加率
南	11月17日(土)	0人	5人	10人	2人	16人	33人	
東	12月15日(土)	1人	1人	0人	2人	10人	14人	
西	12月 1日(土)	1人	4人	3人	2人	11人	21人	
北	12月 8日(土)	3人	5人	4人	2人	15人	29人	
神吉	2月 6日(水)	1人	3人	2人	1人	12人	19人	
計		6人	18人	19人	9人	64人	116人	

【成果・課題】 「一人ひとりが取り組む防災」～私と大切な人を守るためにできること～をテーマに開催した。具体的な取り組みから考え方まで参加者が積極的に話し合う場となった。ゲストスピーカーとして招いた「藤林一家」の話も大変好評で強い興味をしめしていた。グループディスカッションでは身近に感じるテーマであったこともあり、各参加者からは積極的な意見をもらうことができた。出された意見や、提案などを実際に行ってみる、意識してみることが重要になる。そのためには日々の社協の関わりや取り組みも重要になってくる。

＜日吉事務所＞

地区	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	ボランティア 代表	その他	合計	参加率
保野田・ 志和賀	7月14日(土)	2人	1人	3人	2人	0人	10人	18人	81.8%
佐々江・ 四ツ谷	7月20日(金)	2人	3人	1人	1人	2人	6人	15人	31.9%
世木	7月26日(木)	5人	2人	3人	1人	1人	10人	22人	52.4%
胡麻	8月 4日(土)	8人	3人	6人	1人	2人	15人	35人	51.5%
田原	8月8日(水)	3人	2人	1人	1人	1人	5人	13人	48.1%
計		20人	11人	14人	6人	6人	46人	103人	50.0%

【成果・課題】 今年度は「ひよしのまちでわくわくすることをやってみる会」と題し、日吉町内でチラシを全戸配布した。チラシを見て参加してくださる方もあり、わずかながら新たな層との関わりへの入り口となった。また、今回は住民による「企画書づくり」を通して、自分たちがわくわくすることを考えてもらったのだが、この企画をもとに、複数の地域で実際にやってみようという動きがあり、住民主体の取り組みにつながり始めている。

＜美山事務所＞

地区	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	サロン 代表	福祉協 関係等	合計	参加率
知井	6月20日(水)	0人	5人	7人	2人	2人	10人	26人	55.3%
平屋	3月12日(火)	3人	1人	1人	1人	4人	8人	18人	51.4%
宮島	6月22日(金)	0人	5人	4人	1人	2人	5人	17人	62.9%
鶴ヶ岡	6月14日(木)	7人	4人	15人	0人	0人	16人	42人	59.1%
大野	2月27日(水)	4人	4人	5人	1人	3人	8人	25人	51.0%
計		14人	19人	32人	5人	11人	47人	128人	55.9%

【成果・課題】 例年通り各地区福祉協主催での地区懇談会を行った。今年度は宮島地区の福祉協議会が立ち上がり、各地区足並みを揃えて、今後の活動につないで行けることに期待する。今年度の地区懇談会ではふれあい委員と民生委員の連携強化を図ることの必要性が訴えられ、宮島地区、平屋地区では交流会開催につなげる運びとなった。

◆地域たすけあい会議（第2層協議体）の立ち上げ

様々な活動主体による定期的な情報交換、連携強化の場づくりに取り組んだ。

「地域たすけあい会議（第2層協議体） 発足会兼 合同研修会」の開催

地域の助け合い・支え合いによる福祉のまちづくりの推進について話し合う場として協議体（第2層）を旧町域単位に設置するため、その参加メンバーを募り、発足会兼合同研修会を開催した。

日 時： 11月24日（土）午後1時30分～4時00分

場 所： 遊 you ひよし

内 容： 講演「つながりを基盤にした支え合いの地域づくりの進め方」

講 師：池田 昌弘 氏 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）理事長
 ゲスト：高橋 誠一 氏 東北福祉大学教授
 交流会（各町別のたすけあい会議のメンバーや社協職員の顔合わせ、意見交換）

【成果・課題】 参加者 50 名。助け合い会議メンバー、社協職員、行政職員等。たすけあい会議のメンバー、社協、行政職員が共に協議体の役割、内容、手法を学ぶ機会となった。

<園部地域たすけあい会議>

- ・第 1 回 園部地域たすけあい会議
 日 時：3 月 20 日（水）午後 7 時 30 分～9 時 45 分
 場 所：園部公民館
 内 容：自己紹介、たすけあい会議について、意見交換 他
 参加者：たすけあい会議メンバー 12 名、社協職員

【成果・課題】 町内の様々な取り組み内容や地域の状況に関する情報を広めたいとする考えも聞くことができた。今後の会議について、テーマ設定をすることや各地域の課題の共有など意見はさまざまにある状況で、それぞれに実施していきながら進めていきたい。

<八木地域たすけあい会議>

- ・第 1 回八木地域たすけあい会議
 日 時：1 月 25 日（金）午後 1 時 30 分～3 時 30 分
 場 所：社協 八木事務所
 内 容：たすけあい会議の目指すことの共通認識、自己紹介、座長選任、本日のまとめ
 参加者：たすけあい会議メンバー 16 名、社協職員

- ・第 2 回八木地域たすけあい会議
 日 時：3 月 15 日（金）午後 1 時 30 分～3 時
 場 所：社協 八木事務所
 内 容：次年度スケジュール、フリートーク（八木のいいところ、課題、協議テーマ）
 参加者：たすけあい会議メンバー 12 名、社協職員

【成果・課題】 参加メンバーの知りたい、学びたい、何ができるのか考えたいといった意欲を感じた。勉強会などを重ね、メンバーの仲間意識形成を図りながらの会議にしていきたい。

<日吉地域たすけあい会議>

- ・第 1 回日吉地域たすけあい会議
 日 時：2 月 3 日（日）午後 7 時～9 時
 場 所：みんなの居場所「わっかつか」
 内 容：自己紹介、それぞれの得意なこと、好きなこと。助け合い会議とは。
 11 月 24 日の発足式兼研修会のふりかえり

【成果・課題】 さまざまな立場から参加しているメンバーが「仲良くなること」を当面の目標とし、まずは自由な雰囲気づくり、意見の出しやすい場づくりに努めている。初めの 2 回程度は、自由に意見交換をすることで、メンバーの交流と関係づくりを目指し、それ以降は、それまでの話し合いや、たすけあい会議以外の場に出てきたキーワードをもとに、意見交換を行う予定。

<美山地域たすけあい会議>

- ・第 1 回美山地域たすけあい会議
 日 時：3 月 16 日（土）午前 10 時～11 時 30 分
 場 所：美山保健福祉センター
 内 容：協議体（たすけあい会議）について説明、参画者自己紹介、今後の会議の進め方について
 参加者：5 名＋包括 1 名、職員 3 名

【成果・課題】 メンバーほぼ全員見知った顔ばかりではあったが、自己紹介ツールを使って自己紹介してもらうことで、普段とは違う一面について紹介してもらえたのが良かった。また、包括支援部との共通の目標である「認知症カフェ」の開催を当面の目標とすることができた。次回以降のテーマや議題についてはまだまだ不明瞭な部分も多いが、第 3 層、さらに 1 層とも連携を密にし、情報共有をしっかり行いたい。

(4) 活動財源づくり

◆南丹市共同募金委員会「運営委員会」

	月 日	内 容
第 1 回	5 月 22 日（火）	H29 事業及び会計決算の報告、H30 度事業計画及び収支予算の提案・承認

第2回	8月29日(水)	H30募金運動の提案・承認、歳末たすけあい募金助成事業の提案・承認
第3回	3月25日(月)	H30年度助成中間報告、H30年度募金中間報告、H31年度助成計画の提案

◆南丹市共同募金委員会「審査委員会」

	月日	内 容
第1回	6月15日(金)	じぶんの町を良くする活動助成(一次募集分)の審査、 当事者団体活動助成(公募分)の審査
第2回	8月29日(水)	じぶんの町を良くする活動助成(二次募集分)の審査、 福祉まつり等助成(公募)の審査
第3回	11月16日(金)	年末年始地域交流事業の審査

◆助成実績

	助成事業名	件数	助成金額
赤い羽根募金 助成分	じぶんの町を良くする活動助成(一次募集)	13件	922,000円
	じぶんの町を良くする活動助成(二次募集)	7件	389,588円
	当事者団体活動助成(公募)	2件	400,000円
	当事者団体活動助成(指定)	7件	360,000円
	福祉まつり等助成(公募)	1件	150,000円
	ボランティアグループ活動一般助成	62件	614,773円
	ボランティアグループ活動特別助成	13件	228,879円
	サロン活動助成(一般)	のべ 1,645人	246,750円
	生活困窮者支援助成	1件	73,100円
募 金 歳末たすけあい	激励金助成(個人)	432人	2,160,000円
	施設激励金助成	18件	180,000円
	年末年始地域交流事業助成	3件	150,000円
	サロン活動助成(歳末)	のべ 1,824人	638,400円
	歳末たすけあい見守り訪問事業	3,493人	578,140円

◆「赤い羽根共同募金運動」、「歳末たすけあい運動」

- ・募 金 期 間：10月1日～12月31日
- ・目 安 額：赤い羽根募金(一般募金) 500円/世帯、歳末たすけあい募金 500円/世帯
- ・街 頭 啓 発：南丹市共同募金委員会 市内8か所で実施(10/11)
- ・募金箱設置場所：市内75か所
- ・法 人 募 金：市内18事業所
- ・職 域 募 金：市内12小中学校、南丹市役所役職員、南丹市社会福祉協議会役職員、市内2事業所
- ・学 校 募 金：市内2高等学校
- ・その他、イベント募金、個人募金など

<募金実績>

赤い羽根募金(一般募金) 額 4,346,661円 / 歳末たすけあい募金額 3,535,841円

【成果】市内の事業所や学校に対して積極的に働きかけることにより、活動に対する一定の理解を得ることができた。
【課題】募金の有効活用につなげるため、助成プログラムの充実を図り、様々な団体にPRしていくことが必要である。

⑦ 福祉教育、人権啓発の推進

(1) 当事者、ボランティア、福祉事業所等との協働による福祉教育・人権啓発の充実

◆小学校等における福祉教育支援

学校名	学年	実施日	内容
八木西小学校	1年生 (19名参加)	6月15日(金)	サロンひまわり参加者と交流

八木西小学校	2年生 (35名参加)	6月28日(木)	生きがい活動支援通所事業参加者と交流
八木中央幼児学園	短時部年長組 (22名参加)	10月17日(水)	ほほえみ八木通所介護事業所の利用者と園児の交流
八木中央幼児学園	長時部年長組 (27名参加)	10月18日(木)	ほほえみ八木通所介護事業所の利用者と園児の交流
殿田小学校	4年生 (12名参加)	11月29日(木)	福祉について、車いす体験
園部中学校	1年生 全員	1月31日(木) 2月7日(木)	防災学習 ～中学生の私たちにできること～

◆「次世代の担い手育成事業」

・京都府社協、南丹市内の事業所と連携し、以下の2つの小学校における福祉の総合学習を支援

	園部小学校 4年生 98名 (3クラス)	園部第二小学校 4年生 30名 (1クラス)
1学期	6月4日(月) 福祉ってなんだろう？ 6月8日(金) ユニバーサルデザインについて 車いす体験 ※はぎの里オアシスとの共同授業	7月3日(火) 福祉ってなんだろう？ ユニバーサルデザインについて
2学期		9月28日(金) 福祉ってなんだろう？② 「共同募金について／募金箱を作ろう」 10月26日(金) アイマスク体験 11月8日(木) 手話について(当事者の方と交流) 11月27日(火) PTA親子人権学習 「介護・車いすについて学ぼう」 ※京都太陽の園との共同授業 1月29日(火) 共同募金の結果報告 手作り募金箱の返却 2月1日(金) 次世代の担い手育成事業 学習発表会

【成果】両学校の教諭より「自分たちも勉強になった」「児童も熱心に授業を受けていた」と前向きな意見があった。

【課題】園部町以外の小学校においても、福祉教育の推進を行っていききたい。

(2) ユニバーサルデザインにもとづく事業活動の推進、理念の普及啓発

◆「音訳・朗読ボランティア(4町)」活動支援

・各種広報物の音訳 リスナー登録：11人

広報物	担当	録音方法
広報なんたん(奇数月)	園部(かわせみ)	デイジー
議会だより(年4回)	美山(こだまグループ)	デイジー
お知らせなんたん	八木(やまびこの会)	デイジー
民児協だより	各町	デイジー
人推協だより(年2回)	日吉(せせらぎ)	デイジー

社協だより（年4回）	園部（かわせみ）	デイジー
障がい者福祉のあんない版	四町	デイジー

【成 果】PCの導入によって、より質の高い録音物を発行することが出来ている。聞きやすいとの評価もある

【課 題】グループの人数が減少傾向にある。PC導入による新たな課題。（操作等）

◆「音訳ボランティア講座」（5回シリーズ）の開催

	開催日	内 容	講師	参加人数
第1回	7月25日(水)	「見えない」ということ ～実際に体験してみよう～	京都ライトハウス 野々村 好三 氏、青木 一憲 氏	20人
第2回	8月 8日(水)	文字を声に出して読んでみよう①	京都ライトハウス 澤江 功子 氏	19人
第3回	8月22日(水)	文字を声に出して読んでみよう②		22人
第4回	9月19日(水)	実際に録音をしてみよう	京都ライトハウス 松田 裕美 氏、的場 涼平 氏	20人
第5回	9月26日(水)	写真や表を声で伝えよう	安田 知博 氏	17人

【成 果】講座をきっかけに新規の会員が3名増えた。

【課 題】新しく受講された方の中には、PCの操作について苦手意識を持っている方がいた。

⑧ 地域福祉活動・ボランティア活動への参加促進

(1) ボランティアコーディネート機能の充実

◆ボランティア基金の運用益活用

- ・「ボランティアグループ活動助成」 10,000円×59グループ、9,950円×1グループ
8,100円×1グループ、6,723円×1グループ
- ・「ボランティア連絡協議会活動助成」 130,000円×2町連絡協議会、106,617円×1町連絡協議会
- ・「ボランティアグループ活動特別助成」 228,879円（13グループ合計）

【成果】一般助成に加えて特別助成の実施を定着化することにより、各ボランティアの活動をより推進し支援する

【課題】それぞれの活動に見合った助成を提案していく。

(2) 地域福祉・ボランティア活動実践者の交流促進

◆第7回きょうと地域福祉活動実践交流会の開催

日 時： 平成31年2月16日（土）12：30～16：30

場 所： 生涯学習施設ガレリアかめおか

テーマ： 「歴史は変わる、地域も変わる、私達が変わる！

～地域づくりはみんなの力で 丹波の国から いざ出陣！～」

内 容： 基調講演、ポスターセッション（50団体出展）

講 師： 華頂短期大学 幼児教育学科 准教授 名賀 亨 氏

主 催： 京都市府市町村社会福祉協議会連合会南丹ブロック（亀岡市・南丹市・京丹波町社会福祉協議会）
京都市府市町村社会福祉協議会連合会
社会福祉法人 京都府社会福祉協議会

参加者： 715名

【成果・課題】南丹市内の地域福祉活動実践交流の提案にもつなげていきたい。

◆夏のボランティア体験（園部町）

日 時： 7月28日（土）10：00～15：00

参加者： 97名 ボランティアスタッフ 65名

場 所： 園部公民館（1Fロビー、2F和室、3F大研修室・中研修室・小研修室・実習室・生涯学習室）

内 容： ①オカリナの音色にふれてみよう ②車いす体験 ③おにぎりづくり ④点字を打ってみよう
⑤簡単小物を作ってみよう ⑥脳トレを体験しよう ⑦絵手紙を描いてみよう
⑧マジックに挑戦 ⑨将棋をやってみよう ⑩読み聞かせ体験 ⑪手話体験
⑫音訳を体験しよう ⑬チャリティーバザー ⑭輪投げ・ラダーゲッターコーナー

【成果・課題】 今後は、各ボランティアの普段の活動への理解が、より深まる工夫を検討していきたい。

◆第11回南丹市ボランティア交流会

日 時：11月20日（火）10：00～15：00

場 所：旧南丹市立知井小学校

内 容：（実践報告）「ワークキャンプが支える地域の“カタチ” 広がるつながる学生の“和”」

講師：知井振興会 事務局長 河野 賢司 氏、華頂短期大学 准教授 名賀 亨 氏
（ステージ発表）ボランティアグループによる発表

参加者：140名

◆平成30年度南丹市ボランティアバンク運営委員会 視察研修

日 時：3月13日（水）13時30分～15時30分

場 所：豊岡市社会福祉協議会 但東支所

内 容：地域コミュニティ組織「コミュニティあいはし」（豊岡市但東町合橋地区）の支え合いの仕組みについて。

① まごので…有償ボランティアによる生活支援

② 買い物ツアー…自力での移動が困難な方へ向けた移動支援サービス

参加者：12名（ボランティアバンク運営委員、各町ボランティア連絡協議会役員）

【成果・課題】有償ボランティアについて学ぶ機会となった。社協内での研究も進めていく。

◆「各町ボランティア連絡協議会」事務局

・園部町ボランティア連絡協議会

役員会等 …… 5/11、6/19、10/2、12/10、1/17、2/13、3/19

4月13日（金） 代表者会議

5月24日（木） 総会

7月28日（土） 夏のボランティア体験&バザー

10月25日（木） ひとり暮らし高齢者のつどいアトラクション協力

1月28日（月） 視察研修（就労継続支援A型・B型混合事業所 リフレかやの里）

【課題】会員の高齢化に伴い、2グループほど活動終了するところが出ている。新たな担い手確保。

・八木町ボランティア連絡協議会

役員会等 …… 5/9、5/17、6/28、7/19、8/9、9/12、9/20、10/19、11/8、11/26、1/31、2/15、3/22、3/29

11月12日（月） グラウンドゴルフを楽しむ集い 38名参加

3月 2日（土） 第34回八木町ボランティア交流会 98名参加

会場：アイリス福祉会 地域交流多国山ホール

内容：午前 姿勢教室[講師] ふない整体院 西田 耕造氏

午後 パネルディスカッション～過去から学び、未来に活かす～

【成果】定期的な集まりがボランティア同士の活動のモチベーションや支えにつながっている。

【課題】団体の減少、ボランティアの減少。次世代ボランティア活動や、支援のあり方を研究する必要がある。

・日吉町ボランティア連絡協議会

役員会等 …… 5/7

再建委員会 …… 7/25、8/20、8/30、9/6、10/22、11/13、12/3、1/7、2/1、2/27、3/12

5月24日（木） 会計監査

5月26日（土） 総会

2月24日（日） 日吉町ボランティア交流会

会場：日吉ハートピア 内容：講演（栗木剛氏）、交流

3月20日（水） 第1回代表者会議

【成果】交流会後が楽しかったと高評価だった。交流会後に会員が増えた。

【課題】会員の中には全く活動に参加されない方も多い。再建していく上で今後は在籍確認を進めていく。

・美山町ボランティア連絡協議会

役員会等 …… 4/10、7/9、9/13、

4月10日（火） 第一回四役会（総会、会報誌について）

4月25日（水） 総会 29年度事業報告及び決算報告／30年度予算／30年度事業予定

5月15日（火） 美山やすらぎホーム交流会参加

7月 9日（月） 第二回四役会（総会振り返り、ボランティア交流会、会報誌他）

- 8月24日(金) 広報紙「ふれあいネットワーク情報」48号 美山町各戸配布
- 9月13日(木) 第三回四役会、第一回役員会
- 11月 3日(土) 美山ふるさとまつり ふれあいバザー出店 (売上金98000円)
- 11月13日(月) 視察研修下見 兼 打ち合わせ (京丹波町・質美小学校、日吉町・五ヶ庄小学校)
- 11月20日(火) 南丹市ボランティア交流会
- 11月22日(木) 第4回四役会 (ふれあいバザー・ボラ交流会ふりかえり、視察研修、福祉のつどい)
- 12月 1日(土) 美山福祉のつどい ふれあいバザー出店 (売上金約9000円)
- 1月10日(木) 第2回役員会 (会報誌、視察研修、役員改選について)
- 2月21日(木) 視察研修 (京丹波町・質美笑楽講、日吉町・森の学舎五ヶ荘)
- 3月22日(金) 広報誌「ふれあいネットワーク情報」50号 美山町各戸配布
- 3月25日(月) 第3回役員会 (会報誌、役員改選、総会について)

【成果】役員同士日頃からの交流ができており、大変良い関係性ができている。

【課題】ボラ連に新規加入する団体が少なく、グループ内の高齢化も深刻。

◆各種団体・サークル・当事者組織・ふくしまつり等の支援

<本所>

- ・5月19日 全京都障害者フライングディスク大会送迎 4町計7名参加

<園部事務所>

- ・4～9月 敬老会・夏祭り・施設行事のボランティア依頼 ボランティア調整(30件)
- ・4～11月 視覚障がい者の方の事業参加のための送迎6回利用者数のべ33人 ボランティア調整
- ・5～11月 身障福祉会の方の事業参加のための送迎2回利用者数のべ8人 ボランティア調整
- ・7月28日 夏のボランティア体験&バザー ボラ連会議6/19準備7/27
- ・7月 埴生ゴーゴーワクワクキャンプ(被災地福島の子供たちの保養キャンプ)ボランティア調整
公用車貸し出しおよびボランティア依頼(7/29 8/4) 公用車貸し出し(8/11 8/19)

<八木事務所>

- ・「難聴者の会」事務局
- 5月14日 「難聴者の会」平成30年度総会開催 14名参加
- 7月31日 「手話学習会」の開催 7名参加
- 10月1日 「きこえの支援レクリエーション教室」 8名参加
- 2月5日 「新年を祝う集い」 8名参加

【課題】集まる回数が減少している。メンバーの高齢化に伴い移動(送迎)支援の必要性が高まる。

- ・「南丹市身体障害者福祉会八木支部」送迎支援

<日吉事務所>

- ・9月2日 第28回全京都車いすミニ駅伝競走大会送迎
- ・10月5日 南丹市身体障害者福祉会スポーツ大会送迎

<美山事務所>

- ・「第10回美山福祉のつどい」(共同募金助成事業)
- 開催日:12月1日(土)10:00～16:00
- 場所:美山文化ホール
- 内容:レクリエーション交流、展示(作品やパネル説明)、小中学生等意見発表、各団体からの模擬店、舞台発表(福祉施設、ボランティアグループ、福祉協)
- 講演/大道芸で笑って健康になるユーモアセラピー 講師/たつきゅうさん
- 参加人数:約300名
- 実行委員会の構成:町内27団体と6委員の計33名(会議:6/18、8/9、10/22、12/1)
- 2月上旬 美山福祉のつどい実行委員会 活動ふりかえりと来年度の取り組みについて

【成果】美山町における福祉まつりとして定着してきた感がある。今年度新たに2団体が実行委員会に加盟し益々発展することに期待したい。

- ・身体障害者福祉会 送迎
- 5月20日 障害者ふれあい広場スポーツレクリエーションフェスティバル
- 9月27日 グラウンドゴルフ、フライングディスク大会

・「美山ふるさと祭り実行委員会」

開催日：11月3日（土）／場所：美山文化ホール

実行委員会：8/9、10/23、2/12

⑨ 事業所等における地域貢献事業の推進

(1) 地域貢献事業を推進するためのネットワークづくり

◆南丹市内社会福祉法人懇談会

南丹市内の社会福祉法人（12法人）による懇談会を社協から呼びかけて実施した。

	月日	内 容
第1回	8月20日（月）	開催趣旨説明、情報・意見交換（地域貢献、地域課題・法人課題など）
第2回	11月21日（水）	情報・意見交換（具体的取り組み課題、今後の会の持ち方・組織化など）

【成果】情報交換を行うことができ、法人課題や地域課題に対し協働して取り組んでいくことを確認できた。

【課題】今後の会の持ち方は、社協主導に偏らず参加法人が主体的に進めていけるようにしたい。

⑩ 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画の周知、活動の推進

◆南丹市地域福祉計画推進委員会 作業部会

	月日	内 容
第1回	6月20日（水）	第3期計画の概要説明、市・社協各部署における事業の推進について
第2回	9月18日（火）	市・社協各部署の個別事業調書による情報共有

・作業部会視察研修

日時：10月26日（金）午後2時00分～4時00分

行き先：富山県氷見市

内容：ふくし相談サポートセンター（総合相談窓口）の設立経過及び運営方法 他

【成果・課題】市と社協との協働で設置されている総合相談窓口の取り組みを学び、今後南丹市でどのような総合相談支援体制をつくっていくか、具体的な協議を進めて行く上での参考になった。

◆地域福祉活動ガイドブック（仮称）の作成

第3期計画の活動内容を、地域住民の方々が地域場で実践するための参考にできる内容を作成している。

見守り活動、サロン・居場所づくり、地域防災活動、生活支援活動、ボランティア活動をテーマに活動のステップや事例紹介などを掲載する。

区・自治会・地区福祉推進組織関係者に配布予定。

【成果・課題】社協職員が地域福祉活動の推進を地域の方々に働きかける時に使える資料にしていかなければならない。

⑪ 広報活動の充実

◆なんたん社協だより

・編集会議での紙面づくりの最初の段階で、広報委員の方からご意見をいただく機会を設け編集を進めた。

号（発行日）	主な内容
第38号 （7月13日）	私がお答えします！福祉の相談事、南丹市社協 平成29年度の主な取り組み報告 南丹市社協が目指す社会（予算・決算報告） 南丹市地域福祉計画・地域福祉活動計画 お披露目会のお知らせ 善意の寄付、日本赤十字会員増強運動報告、南丹市社協各部署連絡先一覧
第39号 （11月22日）	南丹地域包括支援センターの紹介、防災×福祉～「いつか」に「今から」備える 生活に困った！そんなときは、生活相談センターへ 赤い羽根共同募金について、南丹市災害ボランティアセンターについて
第40号 （3月22日）	南丹市の福祉を平成と共に振り返る～地域住民の方へインタビューをしました～ 赤い羽根共同募金は地域福祉やボランティア活動を応援しています 命を守る、あんしんあんぜんを守る～防火訪問で地域の見守りを～

・広報編集会議の開催 『なんたん社協だより』の誌面作成について、担当職員チームと広報委員で検討した。（第1回） 5/2、（第2回） 5/23、（第3回） 9/3、（第4回） 10/1、（第5回） 1/15

◆日吉事務所だより「hanaso」

- ・福祉についての情報を伝える機会を増やし、無関心層へのアプローチや担い手の発掘、福祉のまちづくりへつなげることを目指して創刊した。

号(発行日)	主な内容
創刊号 (10月26日)	こんにちは南丹市社協日吉事務所です。/ 職員紹介 平成30年度日吉町地域別懇談会 / 赤い羽根共同募金 / 11月イベント予定
第2号 (11月22日)	ふれあい・いきいきサロン / サロン交流会 ひよしのまちでわくわくする取り組み(上胡麻和い輪い会) ママハウス / 12月イベント予定
第3号 (12月26日)	ふれあい委員さん活動中です / ふれあい委員交流会 ひよしのまちでわくわくする取り組み(中野辺ポールウォーキング) 車いすの貸し出し1月イベント情報 /
第4号 (1月25日)	福祉教育のススメ / おいで家の紹介 / 日吉ボランティア交流会のお知らせ / 2月イベント情報
第5号 (2月22日)	日吉地域たすけあい会議 / ひよしのまちでわくわくする取り組み(ようきはったカフェ) / 地域防災講座 / 3月イベント情報
6号 (3月22日)	ひよしのまちでわくわくする取り組み(東胡麻ラジオ体操) / ふれあいボランティア 交流会報告 / 4月イベント情報

【成果・課題】

- ・読んでくださった方からは「読みやすい」「よい内容だ」との意見をもらった。
- ・目を引くデザイン、読みやすく伝える記事作りをしていく必要がある。

2. 地域の暮らしを支える各種事業

① 介護予防・生活支援事業 (※南丹市委託事業)

(1) 食の自立支援サービス事業

◆支援実績(3月末現在)

	園 部	八 木	日 吉	美 山	合 計
利用登録者数	24 人	47 人	40 人	72 人	186 人
延べ配食数	2,518 食	11,389 食	7,778 食	8,257 食	22,483 食
備 考	夕食	昼食、夕食 (特別食あり)	夕食 (特別食あり)	昼食、夕食 (特別食あり)	

(2) 外出支援サービス事業

◆支援実績(3月末現在)

	園 部	八 木	日 吉	美 山	合 計
利用登録者数	184 人	120 人	180 人	146 人	608 人
延べ利用件数	1,770 件	2,731 件	2,798 件	1519 件	6,600 件
延べ運行距離	46,076 km	38,520 km	142,024 km	135,428 km	266,540 km

◆福祉有償運送運転協力者講習会

9月8日(土)・9日(日) 2人(対象:八木外出支援運転手)

◆交通空白地有償運送運転協力者講習会

5月24日(木) 2人(対象:日吉外出支援運転手)

◆車いす対応研修

- ・外出支援運転手を対象に、車いすの操作方法や利用者への配慮について各事務所にて研修実施

◆救急救命講習(美山)

7月9日(月)、7月13日(金)、7月17日(火)

登録ヘルパー、ミニデスタッフ、外出支援運転手を対象に、救急対応時の救命講習を実施

(3) 生きがい活動支援通所事業

◆支援実績（3月末現在）

	園部	八木	日吉	美山	合 計
利用登録者数	※受託なし	21 人	51 人	91 人	168 人
延べ利用人数		862 人	695 人	1746 人	1,726 人
開 催 箇 所		3 ヶ所	5 ヶ所	5 ヶ所	13 か所

② 福祉サービス利用援助事業（※京都府社協委託事業）

(1) 適正な事業運営

◆内部監査の実施 年 2 回

上半期内部監査 9 月 25 日～10 月 4 日 ※改善事項再確認 11 月 26 日～29 日

下半期内部監査 2 月 4 日～7 日 ※改善事項再確認 2 月 22 日～28 日

◆京都府社協・運営適正化委員会実地調査

日時：3 月 7 日（木）午前 9 時 15 分～午後 3 時 45 分

場所：南丹市社会福祉協議会 本所 農事研修室

内容：福祉サービス利用援助事業における事業全般と個別の契約の実施状況の監視ならびに苦情解決について

【課題】 京都府社協により設置された第三者委員会による原因分析、再発防止策の提言を受け、事業運営の改善に努めた。3 月の実地調査では一定の適正な運営状況について確認していただいた。今後も引き続き適正な事業運営のための課題を整理し、再発防止を徹底していく。

※福祉サービス利用援助事業不適切事案に係る対応

詳細別紙『福祉サービス利用援助事業不適切事案に係る第三者委員会 調査報告書』

◆支援件数状況（3月末現在）

事務所	支援件数					内、生活保護 受給世帯
	内 訳				合 計	
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他		
園 部	0	17	13	5	35	17
八 木	7	6	4	3	20	6
日 吉	5	6	4	2	17	9
美 山	3	6	2	0	11	3
合 計	15	35	23	10	83	35

(2) 担当者の資質向上

◆各種研修

研修・会議	開催日	参加人数
専門員新任研修（府社協）1 回目	4月24日（火）	4人
専門員新任研修（府社協）2 回目	8月 9日（木）	4人
生活支援員新任研修（府社協）[南部]	5月28日（月）	4人
第1回専門員・担当職員会議・テーマ別研修交流会（府社協）	6月13日（水）	1人
第2回専門員・担当職員会議・テーマ別研修交流会（府社協）	9月19日（水）	1人
第3回専門員・担当職員会議・テーマ別研修交流会（府社協）	3月14日（木）	4人
専門員事例検討会（南丹・乙訓ブロック）	8月20日（月）	2人
生活支援員研修交流会（市社協）	2月18日（月）	28人
南丹ブロック現任生活支援員研修	1月30日（水）	19人

③ 福祉資金（生活福祉資金・くらしの資金）貸付事業（※京都府社協委託事業、南丹市委託事業）

◆くらしの資金（南丹市委託事業）

貸付事業 申請状況

※（ ）内は相談件数

	園部	八木	日吉	美山	合計
夏 期	2 (3)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (5)
年 末	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	4 (2)

◆生活福祉資金（京都府社協委託事業）

・町別相談件数内訳（4月～3月末）

	園部町	八木町	日吉町	美山町	その他	不明	合計
延べ人数	42	9	25	14	2	4	96
実人数	27	8	11	7	2	4	59

・種類別相談・問合せ件数 内訳（4月～3月末） ※重複あり

	総合支援資金		教育支援資金			不動産担保型 生活資金	緊急小口資金	ぎ 臨時特例つな	福祉費	不明や非該当	制度について	その他	合 計
	生活支援費	住宅入居費	生活一時 再建費	教育支援費	就学支援費								
相談/ 問合せ	9	2	0	22	21	0	23	0	26	1	6	4	114
貸付	0	0	0	2	3	0	1	0	2	0	0	1	9

・相談件数 96 件のうち、8 件は新規貸付相談、88 件は償還等に関する相談

※国の教育支援拡充施策にともない 11 月 1 日より生活福祉資金(教育支援資金)の取扱いが変更となった。

（主な変更点：日本学生支援機構第二種奨学金を優先し同時貸付不可）→ 変更以降の教育費の相談なし。

※償還について動きのない借受人にも角度を変えてアプローチし続け、状況に合わせた償還を促している。

※相談数は、昨年度に引き続き概ね減少傾向にあったが（府全体の件数も減少傾向にある）、2 月以降の高等学校への進学資金についての相談（生活保護世帯）はとて多かった。

※生活困窮者支援事業との連携により、相談段階にて多極的な支援へとつなげている。

※初期滞納・中期滞納にアプローチし、早期解消を図っている。

④ 生活困窮者自立支援事業（※南丹市委託事業）

◆相談受付件数（3 月末現在）

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規相談受付件数（総数）		5	7	5	7	2	4	8	3	6	5	3	3	58
プラン作成件数（総数）		0	3	5	3	4	7	2	2	4	4	7	5	46
事業等利用件数 法に基づく	住居確保給付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計相談支援事業 （家計改善）	0	1	2	1	0	2	0	0	2	3	4	1	16
	自立相談支援事業に よる就労支援	0	2	1	1	1	2	0	0	1	0	0	2	10
	生活福祉資金等による 貸付	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	5
	生活保護受給者等就 労自立促進事業	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3

・町別内訳

園部町	八木町	日吉町	美山町	その他	不明	合計
38	8	7	4	0	1	58

・年代別内訳

～10代	20代	30代	40代	50代	60～64	65～	不明	合計
0	1	7	6	14	8	14	8	58

・相談内容内訳（重複あり）

病気や健康、障害	払い家賃やローンの支	仕事探し、就職	家族との関係	ひきこもり、不登校	住まい	税金、公共料金の支	食べ物が無い	仕事上のトラブル	地域との関係性	DV・虐待	収入・生活費	債務	子育て	介護	その他
15	6	10	3	2	3	11	1	1	0	2	34	9	0	2	6

・3月末での支援継続者は25名。うち自立相談支援事業利用者25名・家計相談支援事業利用25名。

◆支援調整会議の開催

・11回開催 5/24(木)、6/25(月)、7/19(水)、8/27(月)、9/28(金)、10/23(火)、11/22(木)、12/19(水)、1/22(火)、2/21(木)、3/22(金)

◆法的解決支援プログラム：相談案件数 28件（3月末時点）（昨年度年間9件）

〔内 容〕生活困窮者自立支援事業を含む既存の事業運営に際し、法的な解決が必要な事案に対処するため、京都司法書士会と法的解決支援プログラムの委託契約を締結。案件ごとに委託通知を行い、対応チームからひとりの司法書士が派遣される。一般法律相談だけでは解決に至らない事案に対して、委任も想定し、事案が解決するまでアウトリーチによって対応できるしくみ。（無料）

〔実 績〕相談対象人数 35名

※法律的な解決が必要と思われる事案に対し、速やかに相談するルートを持つことが出来た。支援者にとって心強い連携先となっている。相談者は困窮している方が多く、相談費用が捻出できない方が多いため、金銭的な負担なく専門家へ相談することができる。また、早い段階で相談者に合わせた場所と面談日を決めることが出来、早期解決につながっていると考えられる。

◆赤い羽根共同募金 生活困窮者自立相談支援事業緊急時助成の活用

・適用件数：4件（児童の緊急的な食の確保・日用品確保・ライフラインの確保等を目的に実施）

◆歳末たすけあい募金激励金助成事業 生活困窮者への激励金助成

・助成件数：21名

・歳末たすけあい募金を活用し、自立相談支援を継続している生活に余裕のない方へ、担当地区民生委員を通じて歳末の激励金を支給。

◆フードバンク事業

・適用件数：6件（お米96kg、お茶14本、5袋入ラーメン1パックを提供）

・資金や食料が不足している困窮している世帯に対し、社協内で保管している食料を提供。

転職等によって、初回給与が満額に至らないため、転職に踏み出せず、困窮状態が脱却できない世帯などにつながるの食料としても有効的に活用出来ている。

◆セカンドハーベスト京都の利用

・適用件数：1件

・社協内のフードバンク事業だけでは、十分な食品の量の確保が困難な場合において、特定非営利活動法人セカンドハーベスト京都に事業所登録し、緊急支援用食品を受領し要支援者へ提供。

◆生活困窮者自立支援事業研修会

日 時： 3月11日（月）13時30分～16時30分
 場 所： 南丹市役所2号庁舎301会議室
 内 容： 生活困窮社会における地域づくり研究会 最終報告について
 講師：花園大学 吉永純教授
 生活困窮者支援の成果と課題 事例報告 等
 参加者： 40名（支援調整会議関係者、市役所各課、南丹市内の社会福祉法人、その他）

◆くらしの相談会（出張相談）及び広報活動

- ・昨年度は年金制度の改定に伴い、社会保険労務士を招いての年金×困窮出張相談会を実施したが、相談者が少なかったことが課題であった。
- ・今年度は生活相談センター及び実施事業の周知を目的にして、市内各町のイベントに出向き、生活相談センター、消費生活、赤い羽根共同募金と共同でパンフレット等を配布し周知活動を行った。（各所40～50部配布）

実施日	催し	地域
7月27日（金）	特定非営利活動法人 グローアップ夏の縁日	八木町
10月27日（土）	園部軽トラ市×まちなかハロウィン	園部町
10月28日（土）	ひよし水の杜フェスタ2018	日吉町
12月1日（土）	第10回美山福祉のつどい	美山町

- ・市内の医療機関、金融機関、コンビニ、スーパー等にパンフレットを設置していただき、相談窓口の広報を行った。

パンフレット設置箇所： 80箇所

【成 果】

- ・4月から、3人体制が確立できたことで、業務のバランスを整え、役割分担を行い、事務処理（国の管理システムを含む）の改善が進みつつある。
- ・連絡待ちせず当方から積極的にアプローチをかけていくことで、対象者の状況把握に努めた。積極的な関わりを持つことで、信頼関係の構築ができ、継続的な寄り添い支援を実施できた。
- ・くらしの相談会では、普段関わりの少ない市民（子どもや子育て世代・稼働世代）に対し、チラシを配布することで事業の周知が図れたと考える。その場での相談はなかったが、形式を変えたことにより、子育て世代や若者世代など様々な世代に対し、社会福祉協議会や生活相談センターのPRが出来た。

【課 題】

- ・困窮事業への相談経路は、本人からよりも各関係機関からの相談が多い。つまり、当事者からの直接的な相談のしづらさが色濃くあり、今後、事業周知や広報活動に工夫が必要である。同時に、関係機関からの気づきからの紹介の方が相談につながりやすいため、関係機関に対して困窮事業の周知と連携体制の強化を図ることが重要である。滞納の返済が困難な状況を把握できる税務課や水道課など徴収業務を担う課との連携が不可欠である。
- ・障害がある方・障害が疑われる方について、困窮支援の中では一定課題が落ち着いたと思われる場合であっても、次のつなぎ先が無く、フォローとしての関わりが継続することとなり、終結しながらも抱え込んでしまうケースが増えている。
- ・現在、支援調整会議では、対象者の状況を示して支援計画の協議をするために、支援経過や対象者の特性について要点をまとめたフェイスシートを作成している。しかし、この作業に多大な時間と労力がかかりすぎている（管理システムには会議に有効なシート自体がない）。
 一方、会議では世帯情報の説明に時間をかけすぎて、支援プランの協議に時間が割けていないことがあり、今後の会議のあり方を再考する必要がある。
- ・住居確保給付事業については、住居支援という点では、資源の少ない南丹市にはいわゆるホームレス状態の方はほぼいないため、住居確保給付金や一時生活支援事業の実績はほとんどないのが特徴と言える。しかし、全くないわけではないため、必要時には臨機応変に活用できるよう準備は必要。
- ・一方で、身寄りがいないか援助が求められない高齢者や障害者のアパート契約や更新が、保証人が立てられないためにままならないケースが激増している。現在は成年後見制度を補助的資源として活用しているが、保障制度の増強をすぐにも構築する必要性を感じている。
- ・また、南丹市という田舎型の市域は持ち家がある困窮世帯が多いが、売却できる家ではないため改善策が少なく、

固定資産税もかかっていて節約案が出しにくいという状況が多々あるのが課題でもある。

- ・家計相談（改善）事業は、自立相談支援事業よりもさらに家計に踏み込んだ内容ゆえに、相談者にとっては 1 つ 1 つの数字を把握することに大きな負担を感じるものである。また、家計を他者に知られる恥ずかしさや理想的ではないお金の使い方を後ろめたく感じてか、事実とは異なる相談内容になっているケースが少なくない。本当のことを話していただかないと改善の道は遠く、信頼関係を築くには時間がかかる。有効な改善提案をするにはファイナンススキルも不可欠である。今後、職員のスキルアップや場合によっては専門職の配置なども必要と考える。

⑤ 法人後見

(1) 法人後見の受任体制整備

- ・法人後見運営委員の選任・依頼を行った。

7 名（学識経験者、法律関係者、医療関係者、福祉関係者、行政関係者、当時者団体他）

【成果・課題】 法人後見事業の運営を行う上で必要な法人後見運営委員会の開催に向け、委員の選任と依頼を行い、概ね承諾を得られた。運営委員会の開催にまでは至れなかったが、次年度には開催し、受任に向けての協議を行っていく予定である。

(2) 市と緊密に連携を図る

- ・成年後見制度利用促進に係る勉強会（市主催）への参加・協力

第 1 回 1 月 21 日（月）午前 10 時～12 時（市役所 4 号庁舎 2 階会議室）

成年後見制度の利用促進に向けた取り組みにおける自治体・関係団体の連携について 他

第 2 回 2 月 12 日（火）午後 2 時～4 時（市役所 4 号庁舎 2 階会議室）

福知山市成年後見センターの事業概要について 他

包括支援の部

括 総

南丹市からの受託事業である地域包括支援センター事業、認知症初期集中支援チームの活動、更に今年度からは認知症地域支援推進員の活動を加え、前年度から1名増の職員11人が市内4カ所の事務所で業務を行った。

地域の高齢化とともに相談件数が年々増加している中で、今年度は地域包括支援センターが更に身近な相談場所となることを目標に、地域の様々な場所に出向き出張相談を行った。スーパーや金融機関、地域のお祭り、認知症カフェ、サロンなどで、血圧や血管測定、筋力測定など行い、様々な世代にセンターの啓発をすることができた。「センターにわざわざ相談する程ではないと思っていたがこの機会に直接聞けてよかった」という感想を頂いたり、出張相談後に地域住民から別の場所で職員に気軽に声をかけて頂くこともあった。金融機関とは、顔の見える関係が築け、窓口対応で心配な人について情報を共有することができた。センターを広く啓発する機会として、次年度も引き続き出張相談を積極的に行っていきたい。

相談から見てきた地域課題については、地域ケア推進会議を3回開催し、関係機関、多職種の人と意見交換を実施した。地域のつながりや居場所として昨年度から取り上げてきたサロンについて、活性化や継続性を検討した。また、専門職が地域に出向き、地域貢献のきっかけとなるように、「南丹市事業所出前講座一覧表」を作成した。作成する過程では、地域と専門職による協働の意識化や課題を共有することができた。一方で、シニア世代の社会参加についても考える機会を持つことができた。このことについては次年度も関係機関で連携して考えていきたい課題である。

今年度は、認知症の人や家族、医療福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベント「RUN^{ラン トモ}伴」を認知症地域支援推進員が中心となり取り組んだ。南丹市では45名がエントリーし、当日は京丹波町や亀岡市等100名以上の関係者が集まり、市町の枠を超えた連携、当事者の活動支援、認知症啓発の活動ができた。次年度も地域づくりの一環として取り組んでいく予定である。

1. 南丹地域包括支援センター事業（南丹市委託事業）

(1) 総合相談事業

・介護保険制度や福祉サービスに関する相談が多い。中でも施設に関する問い合わせが増えている。他所に住む親を南丹市内の施設に入居させたい、入居中の施設や病院から次の施設を探すように言われたが、どうすればいいかという内容であった。

また、介護認定は下りたものの、その先の手続きがわからないと連絡してこられるケースや、入院中に福祉用具貸与や住宅改修にて、住環境を整えておきたいという相談も寄せられた。

・相談経路としては、親族・行政・ケアマネ・民生委員の順になっている。民生委員からは安否確認の依頼が多い。入院中の本人・家族から直接または行政経由での相談が増加。医療機関の地域連携室を知らない人が多いと感じる。医療機関が介護保険制度を熟知していないことも考えられる。

・住民の中での「わからないことはまず包括に相談する」という認識の広まりや、各種専門機関にとっての相談先として包括支援センターが浸透しつつあるように感じられる。

① 新規相談件数

		件 数												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
南 部 (内訳)	南 部	33	41	28	50	47	29	41	34	41	43	25	33	445
	園部	16	19	13	30	28	19	19	18	18	28	14	15	237
	八木	17	22	15	20	19	10	22	16	23	15	11	18	208
北 部 (内訳)	北 部	16	14	23	24	23	10	23	15	14	22	12	10	206
	日吉	3	6	11	12	15	3	10	6	11	9	3	2	91
	美山	13	8	12	12	8	7	13	9	3	13	9	8	115
その他		1	0	0	1	1	0	1	0	0	3	0	1	8
不明		0	1	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	6
合 計		50	56	51	76	71	39	65	49	57	70	37	44	665

② 相談経路 (相談経路は重複有)

相談経路	件数	割合
本人	63	9.5%
配偶者	30	4.5%
子・子の配偶者	117	17.6%
家族・親族	28	4.2%
ケアマネ	76	11.4%
サービス事業所	19	2.9%
入所施設	13	2.0%
医療機関	50	7.5%
社協	40	6.0%
学校	0	0.0%
行政	111	16.7%
ふれあい委員	2	0.3%
民生児童委員	80	12.0%
区長・区役員	3	0.5%
近隣住民	12	1.8%
サロン	0	0.0%
老人クラブ	1	0.2%
ボランティア	0	0.0%
その他	20	3.0%
合計	665	100.0%

③ 相談内容 (相談内容は重複有)

相談内容	件数	割合
制度・サービス	380	47.0%
虐待(疑い含む)	12	1.5%
認知症	63	7.8%
衣食住	25	3.1%
医療	15	1.9%
入退院	33	4.1%
施設入退所	29	3.6%
アルコール	5	0.6%
権利擁護	14	1.7%
状況確認	131	16.2%
出前講座依頼	8	1.0%
生活困窮	9	1.1%
その他	85	10.5%
合計	809	100.0%

(2) 権利擁護業務

虐待通報件数は22件であり、そのうち虐待認定されたケースは12件だった。認定されなかったケースは、「継続した事実確認が必要」「虐待とまではいいきれないが支援が必要」といった判断となった。通報は身近に接しているケアマネからのものが多く、その他には「本人」「きょうだい」「養護者」が含まれる。1件の虐待通報に対し、複数人が連絡してきたことがあり、相談者内訳は件数より多くなっている。身体的虐待の中には、本人が家や自室から出られないように施錠するケースがあった。施錠の理由は、本人の安全確保(転倒・事故の予防)である。

また、虐待認定前後に長期入所につながるショートステイの利用が始まったり、老人保健施設に入所した例があった。以前から介護疲れが懸念されてきたケースであり、ぎりぎりのところでの発生とみられる。早い段階で養護者の疲弊に気づき、支援する必要がある。

「100歳の親を介護する80代の子」というケースもあった。介護者の高齢化は看過できない課題である。また、介護者が精神疾患を抱えながらも医療につながっていなかったケースもあり、障がい担当課との連携の必要性が高まっている。

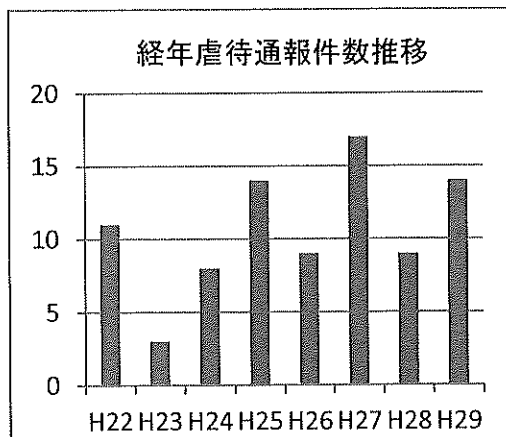
① 虐待通報件数 (4～3月) 22件 (認定 12件)

② 相談者内訳

相談者	件数
民生児童委員	2
ケアマネ	11
サービス事業所	1
医療機関	0
行政	0
その他	9
合 計	23

③ 虐待種別(重複有)

種 類	件数
身体的虐待	13
心理的虐待	4
介護放棄	2
性的虐待	0
経済的虐待	2
疑い不適切な状況	4
合 計	25



④ 被虐待者の内訳

性 別	人数
男 性	4
女 性	18
合 計	22

年 代	人数
64歳以下	0
65～69歳	1
70～74歳	0
75～79歳	4
80～84歳	5
85歳以上	12
合 計	22

要介護度	人数
申請中	0
要支援1	1
要支援2	2
要介護1	4
要介護2	2
要介護3	4
要介護4	1
要介護5	0
認定なし	8
合 計	22

認知症有無	人数
あり	11
なし	10
不明	1
合 計	22

⑤ 養護者の内訳

性 別	人数
男 性	13
女 性	9
合 計	22

年 代	人数
30歳以下	0
31～40歳	0
41～50歳	2
51～60歳	9
61～70歳	4
71歳以上	7
合 計	22

関係(続柄)	人数
夫	4
妻	1
息子	8
娘	2
息子の妻	5
娘の夫	1
孫	0
その他	1
合 計	22

同居の有無	人数
同 居	21
別 居	1
合 計	22

*知り合い

(3) 包括的・継続的マネジメント支援事業

ケアマネ連絡会については市内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員と研修内容を決めて開催した。ケアマネが様々な課題に対応するための知識や相談援助技術を学ぶ機会となった。次年度は各事業所にいる主任介護支援専門員に企画、運営をしてもらうことになった。ケアマネ一人の事業所では、日々悩みながら業務をしている様子がうかがえる。事業所の隔たりなく主任介護支援専門員が、介護支援専門員の相談にのれるように、包括が事務局となってサポートしていく形を取りたい。また、事例検討会では、事例から「地域課題」を考えることを試みた。地域課題を出すところまでいかない回もあったが、そのような視点を持つ意識付けはできたと思う。

① ケアマネ連絡会

	開催日	内容・講師	参加
第1回	5月23日(水)	研修会「地域ケア個別会議について考える」 亀岡篠地域包括支援センター 松本善則氏	39名
第2回	7月19日(木)	研修会「障害福祉サービスについて」 南丹市社協自立支援部 松本久仁子氏	33名
第3回	9月19日(水)	研修会「クレーマー対応・精神障害や発達障がいへの対応について」 亀岡シミズ病院 島田稔氏	40名
第4回	11月16日(金)	研修会「生活のなかでできる簡単なリハビリについて～ケアマネジャーから提案できること～」 南丹地域リハビリテーション支援センター 理学療法士 菱池正之様/榎田宏司	34名
第5回	1月18日(金)	意見交流会「訪問看護師とケアマネジャーとの意見交流会」 市内訪問看護事業所から看護師5名参加	50名
第6回	3月11日(月)	研修会「法令順守に沿った記録について」 京都府介護支援専門員会 常任理事 川添チェミ氏	47名

② ケアマネ事例検討会

	開催日	タイトル	事例提供者	参加
第1回	4月19日(木)	介護の困難さがある中で介護意欲のある家族への支援	地域包括支援センター 河村理絵	13名
第2回	6月21日(木)	家族(息子)に本人支援のための理解と協力を求めたい	ほほえみかぐら居宅 志賀則子	15名
第3回	8月31日(金)	50年近く引きこもりで医療やサービスにつなげにくい独居男性の支援	はぎの里オアシス 八木知子	17名
第4回	10月18日(木)	生活リズムを整え、サービスの安定利用につなげたいご利用者の支援について	ほほえみ八木居宅 人見康子	15名
第5回	12月20日(木)	息子を溺愛し、本来家族(息子達)が行うべきことを支援者側に求めてくるご利用者の支援について	ほほえみ八木居宅 清水真弥	15名

③ なんとん通所サービス部会

	開催日	活動内容	参加
幹事会	4月13日(金)	今年度の部会について(年間計画)、次回の部会について	4名
第1回	6月29日(金)	(第38回部会) 現場スタッフの為の介護保険基礎知識～通所事業のお財布事情～ 講師: 美山やすらぎホーム 酒田智氏	34名
幹事会	8月9日(木)	前回の部会のふり返し、次回の部会について	4名
第2回	10月12日(金)	(第39回部会) 食事交流会 「共に考える通所系サービス～やってよかったこの仕事～」 グループワーク	24名
第3回	3月15日(金)	(第40回部会) 食事交流会 「共に考える通所系サービス～やってよかったこの仕事～」 グループワーク	17名

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

平成30年4月当初、介護予防サービス・総合事業の利用者数は484人であったが、3月時点では508人となっている。利用者数は月により変動している状況だが、前年度は年間平均474人の利用であったのが、30年度では平均503人の利用があり、利用者数は年々増加している。事業対象者、要支援1の利用者数はほぼ変わりが無いが、要支援2の利用者数については20人程度増加しており、要支援2の認定者の利用増加が目立つ。

市内全体のケアマネジャーの数は5人増えているが、ケアマネジャー1人当たりの委託件数は平均8.1人であり、ほぼ横ばいとなっている。全体の75.5%をケアマネジャーに委託している状況である。

町別で見ると、美山町の要支援1のサービス利用者割合が高く、軽度の段階でサービス利用に繋がっている傾向がある。日吉町はケアマネジメントBの利用割合が他町に比べると高い状況がある。

地域包括ケアを推進するにあたって、センターの業務が増える中、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託は重要であり、ニーズの多様化、支援の多様化に対応していく為にも、今後も継続して居宅介護支援事業所と連携を図っていく必要がある。

①介護予防サービス・総合事業（介護予防・生活支援サービス（第1号事業））

ア. 平成30年度 月別サービス 利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	32	29	29	33	35	34	31	34	33	29	26	33
要支援1	96	99	102	108	108	109	109	100	102	96	97	98
要支援2	356	362	367	369	373	384	372	363	370	369	370	377
合 計	484	490	498	510	516	527	512	497	505	494	493	508

イ. 介護予防支援/介護予防ケアマネジメント委託状況

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
ケアマネ	236	268	298	323	338	384
(委託率)	69.4%	71.1%	71.1%	74.1%	68.7%	75.5%
包括	104	109	121	113	154	124
合 計	340	377	419	436	492	508
包括職員配置	8人	9人	9人	10人	10人	11人

※・南丹市内委託居宅介護支援事業所…18箇所 介護支援専門員数…47人

※・H31年3月に他市・他県でサービスを利用している要支援者…2人

京都府内…1人 他県…1人

※・南丹市内のケアマネジャー1名あたり平均担当数…8.1人

ウ. 介護予防サービス計画・介護予防ケアプラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護予防支援	320	328	328	335	342	347	344	325	323	325	323	326
ケアマネジメントA	155	154	162	166	165	170	159	163	172	160	161	171
ケアマネジメントB	9	8	8	9	9	10	9	9	10	9	9	11
合 計	484	490	498	510	516	527	512	497	505	494	493	508

※・介護予防支援…介護予防サービス利用（総合事業サービス含む）

・ケアマネジメントA…総合事業サービス（現行相当）利用（くらし安心サポート含む）

・ケアマネジメントB…総合事業サービス（くらし安心サポート）のみの利用

※・介護予防サービス・・・通所リハビリ・福祉用具貸与・訪問看護・短期入所など

・総合事業サービス・・・通所型サービス（デイサービス現行相当）

訪問型サービス（訪問介護現行相当）

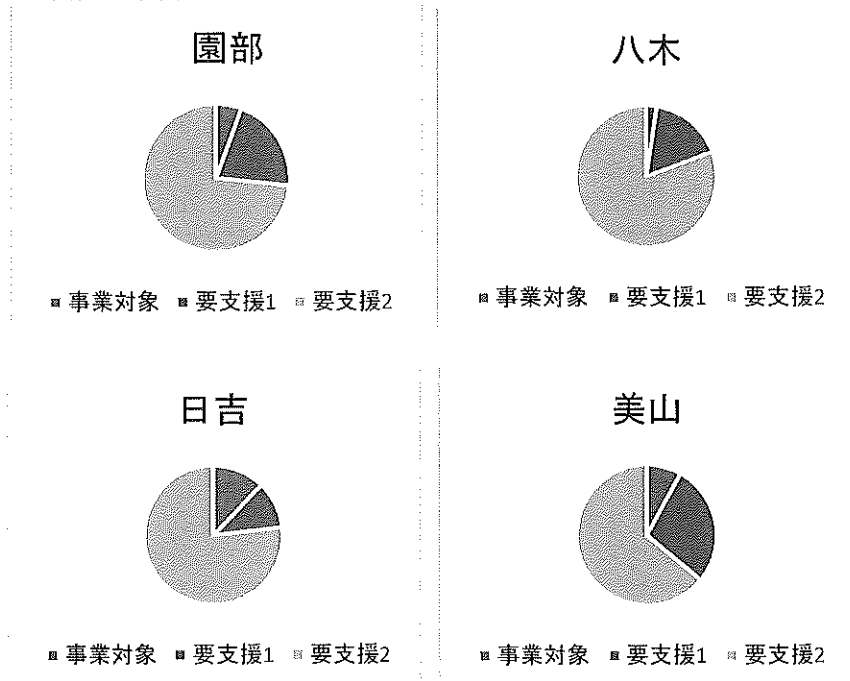
くらし安心サポート（旧 軽度生活支援事業が移行）

※・事業対象者…基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方

エ-1. 平成30年度 町別 サービス利用件数（認定別）

	園部	八木	日吉	美山
事業対象者	10	3	12	8
要支援1	38	22	11	28
要支援2	132	104	76	64

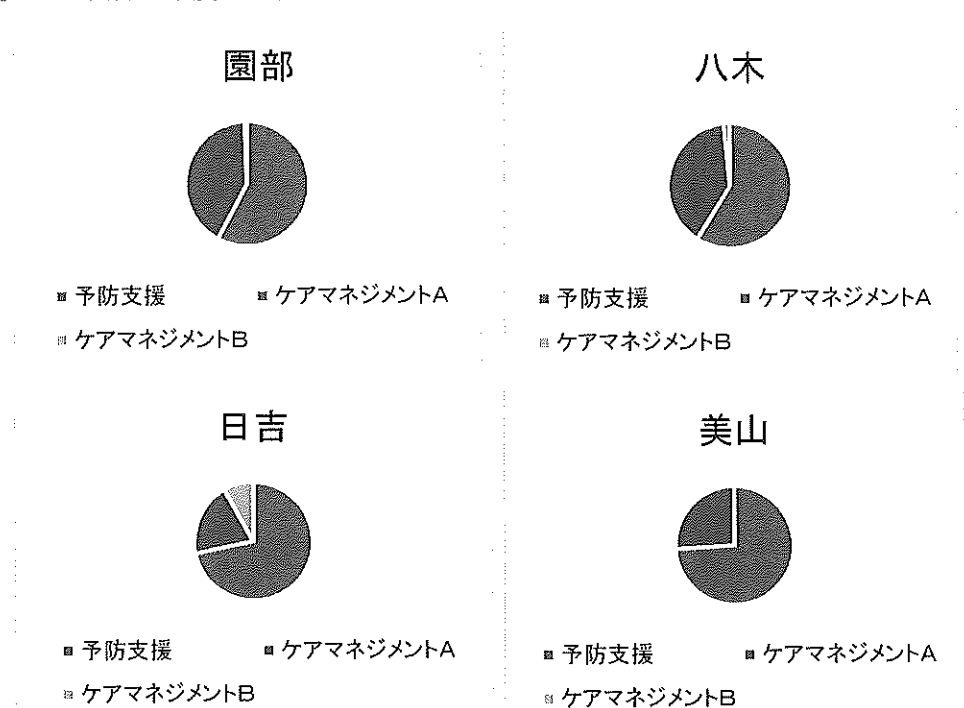
エ-2. 平成31年度 町別 サービス利用割合（認定別）



オ-1. 平成30年度 町別 サービス利用件数（ケアプラン別）

	園部	八木	日吉	美山
予防支援	104	76	71	74
ケアマネジメントA	75	51	20	26
ケアマネジメントB	1	2	8	0

オ-2. 平成30年度 町別 サービス利用割合（ケアプラン別）



②介護予防啓発

生きがい活動支援通所事業(ミニデイ)、地域のサロンなどに職員が出向き、介護予防や健康等について出前講座を行った。その中では、地域の事業所と協働で出向くなど連携を意識した活動も行った。特に今年度は、事業や地域の身近な相談先の広報活動として、地域のイベントや関係機関へ出向き、介護予防啓発や出張相談を行うなどの活動を行ってきた。それらを通じ、民生委員やふれあい委員、地域の関係機関との連携強化やネットワークづくりを行い、地域住民の支援に繋がりの体制づくりに努めてきた。

活動を通して、地域住民の介護予防意識の高さを感じると同時に、その次に繋げる動きも必要だと再認識をし、当センターの認知度の広報周知や関係者、関係機関との連携を、今後も引き続き、力を入れて取り組んでいかなければならないと感じた。

ア. 出前講座

	実施日	地域	団体・対象	内 容
1	4 月 3 日 (火)	園部	ふれあい教室 (南部)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
2	4 月 10 月 (火)	園部	ふれあい教室 (埴生)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
3	4 月 17 日 (火)	園部	ふれあい教室 (新町)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
4	4 月 24 日 (火)	園部	ふれあい教室 (大河内)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
5	5 月 1 日 (火)	園部	ふれあい教室 (高屋)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
6	5 月 8 日 (火)	園部	ふれあい教室 (黒田)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
7	5 月 14 日 (月)	美山	ミニデイ (ひめづる)	健康講座 (脳トレ)
8	5 月 15 日 (火)	園部	ふれあい教室 (小山西)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
9	5 月 22 日 (火)	園部	ふれあい教室 (竹井)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
10	6 月 5 日 (火)	園部	ふれあい教室 (曾我谷)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
11	6 月 7 月 (木)	美山	老人クラブ	介護予防について
12	6 月 12 日 (火)	園部	ふれあい教室 (殿谷)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
13	6 月 17 日 (日)	八木	ほっこりカフェ	出張相談 : 5人
14	6 月 19 日 (火)	園部	ふれあい教室 (北部)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
15	6 月 22 月 (金)	日吉	興風あけぼの会ミニデイ	包括支援センターの紹介
16	6 月 26 月 (火)	園部	ふれあい教室 (仁江)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
17	7 月 3 日 (火)	園部	ふれあい教室 (船岡)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
18	7 月 12 日 (木)	全域	南丹市社協 居宅介護部	認知症について
19	7 月 17 月 (火)	園部	ふれあい教室 (越方)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
20	7 月 21 日 (土)	美山	知井ふれあいホームタ涼み会	介護予防啓発、広報、出張相談
21	7 月 24 日 (火)	園部	ふれあい教室 (半田)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
22	7 月 24 日 (火)	美山	ミニデイ (ほっこり会)	健康講座 (睡眠について)
23	8 月 7 日 (火)	園部	ふれあい教室 (美園)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
24	8 月 23 日 (木)	美山	ミニデイ (てんごり会)	介護予防、健康講座
25	8 月 28 日 (火)	園部	ふれあい教室 (大西)	元気に歩こう、靴の選び方 (いなふと協働)
26	9 月 14 日 (金)	美山	老人クラブ (三和クラブ)	介護予防 (認知症、生活習慣病、ゲーム)
27	9 月 20 日 (木)	園部	Aコープ	出張相談会 : 59人 (29.5人/時間)
28	9 月 25 月 (火)	園部	美園町老人会 (園寿会)	口腔ケア & 体操 (あおぞらデイより)
29	9 月 27 日 (木)	園部	西本梅合同サロン	包括啓発

	実施日	地域	団体・対象	内 容
30	10 月 4 日 (木)	日吉	ミニデイ (胡麻第2あおい会)	ポールウォーキング教室
31	10 月 9 日 (火)	日吉	ミニデイ (殿田あおば会)	ポールウォーキング教室
32	10 月 12 日 (金)	日吉	ミニデイ (興風あけぼの会)	ポールウォーキング教室
33	10 月 17 日 (水)	園部	ドラッグユタカ園部店	出張相談会：37人 (10.5人/時間)
34	10 月 25 日 (木)	園部	京都信用金庫園部支店	出張相談会：21人 (10.5人/時間)
35	11 月 2 日 (金)	日吉	ミニデイ (胡麻第1ごま交遊会)	ポールウォーキング教室
36	11 月 3 日 (土)	園部	川辺ふれあいふくしまつり	出張相談会：66人 (20.3人/時間)
37	11 月 3 日 (土)	美山	美山ふるさとまつり	介護予防啓発、広報、出張相談
38	11 月 8 日 (木)	日吉	ミニデイ (世木さつき会)	ポールウォーキング教室
39	11 月 10 日 (土)	八木	風の市 (神吉)	出張相談、介護予防啓発、広報：30人
40	11 月 15 日 (木)	日吉	中世木老人クラブいきいきサロン合同研修会	健康、認知症予防講座
41	11 月 24 日 (土)	平屋	深見サロン	介護保険制度、施設入所について
42	11 月 25 日 (日)	園部	摩気ふれあいまつり	出張相談会：86人 (20.2人/時間)
43	12 月 1 日 (土)	美山	美山福祉のつどい	介護予防啓発、広報、出張相談
44	12 月 3 日 (月)	園部	桐花会サロン	介護保険制度、福祉サービスについて
45	12 月 6 日 (木)	日吉	吉野辺いきいきサロン	包括啓発
46	12 月 7 日 (金)	日吉	四ツ谷会議所開放	包括啓発
47	12 月 11 日 (火)	日吉	畑郷いきいきサロン	包括啓発
48	12 月 12 日 (水)	日吉	木住いきいきサロン	包括啓発
49	12 月 12 日 (水)	日吉	東胡麻いきいきサロン	包括啓発
50	12 月 17 日 (月)	園部	J A 京都園部店	出張相談会：30人 (10人/時間)
51	12 月 17 日 (月)	美山	ほほえみかぐらヘルパーミーティング	認知症に関する勉強会
52	12 月 21 日 (金)	美山	ほほえみかぐらヘルパーミーティング	認知症に関する勉強会
53	1 月 16 日 (水)	園部	ドラッグユタカ園部店	出張相談会：26人 (13人/時間)
54	1 月 16 日 (水)	八木	ちよっといっぷく	出張相談会：14人
55	1 月 22 日 (火)	日吉	中世木いきいきサロン	包括啓発
56	2 月 12 月 (火)	園部	城南町百歳会	健康講座、南丹保健所職員と協働
57	2 月 12 日 (火)	園部	栄町友遊サロン	血管年齢、握力測定、ゆう薬局血圧と食習慣、生活習慣の話
58	2 月 12 日 (火)	八木	生き通 (北・東・神吉)	包括広報、脳トレ (認知症カルタ)
59	2 月 15 日 (金)	八木	生き通 (南)	包括広報、脳トレ (認知症カルタ)
60	2 月 20 日 (水)	美山	宮島ミニデイ	健康教室、包括啓発
61	2 月 21 日 (木)	八木	生き通 (西)	包括広報、脳トレ (認知症カルタ)
62	2 月 22 日 (金)	日吉	ほほえみかぐらヘルパーミーティング	認知症に関する勉強会

イ. 会議等への出席

	月日	地域	会議名	内 容
1	4 月 13 日 (金)	園部	障がい者支援NW会議	町内の障害者支援に関する協議
2	4 月 14 日 (土)	八木	ふれあい委員研修会	ふれあい委員のための研修会
3	4 月 17 日 (火)	美山	民生児童委員協議会総会	包括啓発 (挨拶)
4	4 月 18 日 (水)	日吉	ケース会議	介護支援専門員主催
5	4 月 19 日 (木)	園部	民生児童委員協議会総会	包括啓発 (挨拶)
6	4 月 20 日 (金)	日吉	民生児童委員協議会総会	包括啓発 (挨拶)
7	4 月 21 日 (土)	日吉	ふれあい委員研修会	ふれあい委員のための研修会
8	4 月 23 日 (月)	美山	ふれあい委員研修会	ふれあい委員のための研修会
9	4 月 25 日 (水)	八木	民生児童委員協議会総会	包括啓発 (挨拶)
10	4 月 25 日 (水)	園部	幸せの里運営推進会議	事業運営について
11	4 月 26 日 (木)	日吉	はぎの里ふれあいホーム運営推進 会議	施設運営について
12	4 月 28 日 (土)	園部	ふれあい委員研修会	ふれあい委員のための研修会
13	5 月 10 日 (木)	日吉	ひよしのまちカフェ	認知症カフェ
14	5 月 10 日 (木)	日吉	まちカフェ実行委員会	今年度の運営について
15	5 月 14 日 (月)	全域	オレンジロードつなげ隊企画会議	京都府南丹保健所主催
16	5 月 15 日 (火)	園部	はぎの里オアシス運営推進会議	事業運営について
17	5 月 17 日 (木)	全域	京都府認知症施策連絡会	京都府主催
18	5 月 17 日 (木)	園部	だんない運営推進会議	事業運営について
19	5 月 16 日 (水)	八木	かたらいの家運営推進会議	施設運営について
20	5 月 17 日 (木)	八木	ちくりんえん運営推進会議	施設運営について
21	5 月 22 日 (火)	日吉	日吉町障がい者NW会議	情報交換、支援に対する協議、その他
22	5 月 22 日 (火)	美山	グループホーム美山やすらぎホーム 運営推進会議	施設運営について
23	5 月 23 日 (水)	美山	グループホームみやま運営推進会 議	施設運営について
24	5 月 24 日 (木)	全域	南丹市老人ホーム入所判定委員会	
25	5 月 24 日 (木)	全域	南丹市生活困窮自立支援事業支援 調整会議	
26	5 月 24 日 (木)	日吉	みんなの居場所わっかっか！	コミュニティカフェ (殿田)
27	5 月 31 日 (木)	全体	地域医療支援病院運営委員会	中部総合医療センター
28	6 月 8 日 (金)	園部	障がい者支援NW会議	町内の障害者支援に関する協議
29	6 月 11 日 (月)	園部	ケアリングみそのまち運営推進会 議	事業運営について

	月日	地域	会議名	内 容
30	6 月 13 日 (水)	八木	NISリハトレセンター運営推進会議	施設運営について
31	6 月 13 日 (水)	美山	障がいNW会議	情報交換、支援に対する協議、その他
32	6 月 14 日 (木)	日吉	ひよしのまちカフェ	認知症カフェ
33	6 月 14 日 (木)	美山	地域別懇談会 (鶴ヶ岡)	
34	6 月 18 日 (月)	美山	美山福祉のつどい実行委員会	
35	6 月 19 日 (火)	八木	障がいNW会議	情報交換、支援に対する協議、その他
36	6 月 19 日 (火)	日吉	はぎの里評議員会	
37	6 月 20 日 (水)	全域	南丹市健康づくり推進協議会	オブザーバー
38	6 月 20 日 (水)	美山	地域別懇談会 (知井)	
39	6 月 22 日 (金)	美山	地域別懇談会 (宮島)	
40	6 月 25 日 (月)	美山	福祉NW会議 (宮島)	
41	6 月 25 日 (月)	全域	南丹市生活困窮自立支援事業支援調整会議	
42	6 月 27 日 (水)	全域	南丹市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会	
43	6 月 27 日 (水)	全域	南丹市地域包括支援センター運営協議会	
44	6 月 27 日 (水)	八木	民協定例会	民協と社協の懇談会
45	7 月 4 日 (水)	日吉	ようきはったサロン	生畑区コミュニティサロン
46	7 月 12 日 (木)	園部	だんない運営推進会議	事業運営について
47	7 月 12 日 (木)	園部	地域別懇談会 (摩気)	地域の状況について
48	7 月 12 日 (木)	日吉	ひよしのまちカフェ	認知症カフェ
49	7 月 13 日 (金)	全域	RUN伴説明会	京都府南丹保健所主催
50	7 月 13 日 (金)	園部	障がい者支援NW会議	町内の障害者支援に関する協議
51	7 月 13 日 (金)	八木	生活支援コーディネーター、居宅介護支援事業所との懇談会	
52	7 月 14 日 (土)	日吉	地区別懇談会 (保野田・志和賀)	ひよしのまちでわくわくすることをやってみる会
53	7 月 17 日 (火)	園部	はぎの里オアシス運営推進会議	事業運営について
54	7 月 18 日 (水)	八木	かたらいの家運営推進会議	施設運営について
55	7 月 18 日 (水)	日吉	はぎの里ふれあいホーム運営推進会議	施設運営について
56	7 月 19 日 (木)	全域	南丹市生活困窮自立支援事業支援調整会議	
57	7 月 19 日 (木)	美山	福祉NW会議 (大野)	
58	7 月 19 日 (木)	美山	グループホーム美山やすらぎホーム運営推進会議	施設運営について
59	7 月 20 日 (金)	日吉	地区別懇談会 (五ヶ荘)	ひよしのまちでわくわくすることをやってみる会

	月日	地域	会議名	内 容
60	7 月 25 日 (水)	美山	グループホームみやま運営推進会議	施設運営について
61	7 月 26 日 (木)	日吉	地区別懇談会 (世木)	ひよしのまちでわくわくすることを やってみる会
62	7 月 26 日 (木)	園部	地域別懇談会 (西本梅)	地域の状況について
63	8 月 2 日 (木)	園部	地域別懇談会 (川辺)	地域の状況について
64	8 月 4 日 (土)	日吉	地区別懇談会 (胡麻)	ひよしのまちでわくわくすることを やってみる会
65	8 月 8 日 (水)	全域	京都中部総合医療センター地域医療 支援病院運営委員会	
66	8 月 8 日 (水)	日吉	地区別懇談会 (田原)	ひよしのまちでわくわくすることを やってみる会
67	8 月 8 日 (水)	美山	障がいNW会議	情報交換、支援に対する協議、その他
68	8 月 9 日 (木)	日吉	ひよしのまちカフェ	認知症カフェ
69	8 月 9 日 (木)	日吉	まちカフェ実行委員会	
70	8 月 9 日 (木)	美山	美山福祉のつどい実行委員会	
71	8 月 20 日 (月)	全域	南丹市社会福祉法人懇談会	
72	8 月 21 日 (火)	八木	障がいNW会議	情報交換、支援に対する協議、その他
73	8 月 22 日 (水)	園部	ふれあいハート運営推進会議	事業運営について
74	8 月 27 日 (月)	全域	南丹市生活困窮自立支援事業支援 調整会議	
75	8 月 27 日 (月)	八木	やぎ詩の郷運営推進会議	施設運営について
76	8 月 29 日 (水)	園部	幸せの里運営推進会議	事業運営について
77	8 月 30 日 (木)	園部	地域別懇談会 (元町)	地域の状況について
78	9 月 1 日 (土)	日吉	はぎの里ふれあいホーム運営推進 会議	施設運営について、夏祭り兼
79	9 月 5 日 (水)	京都府	京都府地域包括・在宅介護支援セ ンター協議会役員会・府との意見 交換会	
80	9 月 7 日 (金)	八木	ふれあいNW会議 (東C)	
81	9 月 10 日 (月)	全域	地域リハセン事例検討会	
82	9 月 11 日 (火)	八木	ふれあいNW会議 (北)	地域の状況について
83	9 月 13 日 (木)	園部	だんない運営推進会議	事業運営について
84	9 月 13 日 (木)	園部	地域別懇談会 (元村)	地域の状況について
85	9 月 13 日 (木)	八木	ふれあいNW会議 (南A)	
86	9 月 13 日 (木)	日吉	ひよしのまちカフェ	認知症カフェ
87	9 月 14 日 (金)	八木	ふれあいNW会議 (東A)	
88	9 月 18 日 (火)	八木	ふれあいNW会議 (南B)	地域の状況について
89	9 月 18 日 (火)	園部	はぎの里オアシス運営推進会議	事業運営について

	月日	地域	会議名	内 容
90	9 月 18 日 (火)	美山	グループホーム美山やすらぎホーム運営推進会議	施設運営について
91	9 月 18 日 (火)	美山	美山デイサービスセンター認知症対応型通所介護運営推進会議	施設運営について
92	9 月 19 日 (水)	八木	ふれあいNW会議 (南C)	
93	9 月 21 日 (金)	園部	障がい者支援NW会議	町内の障害者支援に関する協議
94	9 月 21 日 (金)	八木	ふれあいNW会議 (西B)	
95	9 月 25 日 (火)	日吉	障がい者支援NW会議	情報交換、支援に対する協議、その他
96	9 月 25 日 (火)	全域	RUN伴ルート説明会	RUN伴京都府実行委員会主催
97	9 月 26 日 (水)	日吉	はぎの里デイサービス運営推進会議	
98	9 月 26 日 (水)	美山	グループホームみやま運営推進会議	施設運営について
99	9 月 27 日 (木)	園部	地域別懇談会 (元桐)	地域の状況について
100	9 月 27 日 (木)	八木	ふれあいNW会議 (西地区A)	
101	10 月 4 日 (木)	日吉	ひよしまちカフェ	認知症カフェ
102	10 月 10 日 (水)	美山	障がいNW会議	情報交換、支援に対する協議、その他
103	10 月 12 日 (金)	美山	福祉NW会議 (鶴ヶ岡)	
104	10 月 16 日 (火)	八木	障がいNW会議	情報交換、支援に対する協議、その他
105	10 月 22 日 (月)	美山	美山福祉のつどい実行委員会	
106	10 月 24 日 (水)	園部	幸せの里運営推進会議	事業運営について
107	10 月 29 日 (月)	その他	南丹市×大津市 協議体交流会	滋賀県大津市視察
108	10 月 30 日 (火)	美山	福祉NW会議 (知井)	
109	11 月 8 日 (木)	日吉	ひよしまちカフェ	認知症カフェ
110	11 月 8 日 (木)	日吉	まちカフェ実行委員会	
111	11 月 12 日 (月)	全域	南丹地域医療構想調整会議・地域保健医療協議会	地域包括ケア構想 (地域医療ビジョン) の推進にむけての検討 南丹保健所
112	11 月 12 日 (月)	美山	福祉NW会議 (平屋)	
113	11 月 13 日 (火)	その他	宮津市 (施設・社協) 視察	京都府包括・在介協議会南丹ブロック研修
114	11 月 14 日 (水)	八木	ふれあいNW会議 (神吉地区)	
115	11 月 15 日 (木)	園部	だんない運営推進会議	事業運営について
116	11 月 17 日 (土)	八木	地域別懇談会 (南地区)	
117	11 月 20 日 (火)	園部	はぎの里オアシス運営推進会議	事業運営について
118	11 月 21 日 (水)	八木	ふれあいNW会議 (南地区C)	
119	11 月 21 日 (火)	八木	かたらいの家運営推進会議	現状報告、意見交換

	月日	地域	会議名	内 容
120	11 月 22 日 (木)	八木	ちくりんえん運営推進会議	活動報告、情報交換
121	11 月 22 日 (木)	日吉	はぎの里ふれあいホーム運営推進会議	
122	11 月 22 日 (木)	美山	グループホーム美山やすらぎホーム運営推進会議	施設運営について
123	11 月 22 日 (木)	園部	サロン交流会 (園部)	南丹市出前講座一覧表紹介、配布
124	11 月 26 日 (月)	全域	ケアマネケアプラン点検	
125	11 月 26 日 (月)	美山	サロン交流会 (美山)	南丹市出前講座一覧表紹介、配布
126	11 月 28 日 (水)	美山	グループホームみやま運営推進会議	施設運営について
127	11 月 30 日 (金)	八木	サロン交流会 (八木)	南丹市出前講座一覧表紹介、配布
128	12 月 4 日 (火)	全域	障がいNW会議全体会	情報交換、その他
129	12 月 5 日 (水)	日吉	サロン交流会 (日吉)	南丹市出前講座一覧表紹介、配布
130	12 月 6 日 (木)	日吉	ひよしまちカフェ	認知症カフェ
131	12 月 6 日 (木)	全域	京都中部総合医療センター地域医療支援病院運営委員会	
132	12 月 12 日 (水)	園部	ふれあい本町運営推進会議	施設運営について
133	12 月 18 日 (火)	美山	知井ふれあいホーム運営推進会議	施設運営について
134	12 月 19 日 (水)	園部	民生児童委員協議会定例会	南丹市出前講座一覧表紹介、配布
135	12 月 19 日 (水)	園部	幸せの里運営推進会議	施設運営について
136	12 月 19 日 (水)	全域	南丹市健康づくり推進協議会	オブザーバー
137	12 月 23 日 (日)	園部	オレンジカフェふれあい	認知症カフェ
138	1 月 10 日 (木)	園部	だんない運営推進会議	事業運営について
139	1 月 10 日 (木)	日吉	ひよしまちカフェ	認知症カフェ
140	1 月 22 日 (火)	日吉	障がいNW会議	情報交換、支援に対する協議、その他
141	1 月 22 日 (火)	園部	はぎの里オアシス運営推進会議	事業運営について
142	1 月 23 日 (水)	美山	グループホームみやま運営推進会議	施設運営について
143	1 月 24 日 (木)	日吉	はぎの里ふれあいホーム運営推進会議	施設運営について
144	1 月 25 日 (金)	八木	八木町たすけあい会議	自己紹介
145	1 月 31 日 (木)	美山	グループホーム美山やすらぎホーム運営推進会議	施設運営について
146	2 月 1 日 (金)	八木	ふれあいNW会議 (東地区C)	
147	2 月 3 日 (日)	日吉	日吉町たすけあい会議	自己紹介、フリートークなど
148	2 月 6 日 (水)	八木	神吉地区別懇談会	
149	2 月 13 日 (水)	全域	南丹市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会	

	月日	地域	会議名	内 容
150	2 月 14 日 (木)	美山	障がいNW会議	情報交換、支援に対する協議、その他
151	2 月 19 日 (火)	八木	障がいNW会議	情報交換、支援に対する協議、その他
152	2 月 21 日 (木)	全体	生活困窮支援調整会議	ケース報告
153	2 月 27 日 (水)	園部	幸せの里運営推進会議	施設運営について
154	3 月 5 日 (火)	全体	南丹保健所難病対策地域協議会	災害に備えた難病患者への支援について
155	3 月 7 日 (木)	園部	ふれあいハート運営推進会議	施設運営について
156	3 月 8 日 (金)	園部	ふれあい本町運営推進会議	施設運営について
157	3 月 13 日 (水)	全域	南丹地域医療協議会・地域医療構想調整会議	
158	3 月 14 日 (木)	園部	だんない運営推進会議	事業運営について
159	3 月 14 日 (木)	八木	西田サロン	事業運営について
160	3 月 15 日 (金)	全体	見守り協定事業所懇談会	見守りの現状について
161	3 月 15 日 (金)	八木	八木町たすけあい会議	今後の予定、フリートーク他
162	3 月 16 日 (土)	美山	美山町たすけあい会議	自己紹介など
163	3 月 18 日 (月)	全域	地域リハビリ南丹圏域連絡会	平成30年度事業報告
164	3 月 19 日 (火)	園部	はぎの里オアシス運営推進会議	事業運営について
165	3 月 19 日 (火)	美山	美山地域居宅事例検討会（美山診療所居宅主催）	事例検討
166	3 月 20 日 (水)	園部	園部町たすけあい会議	自己紹介と今後について
167	3 月 20 日 (水)	日吉	はぎの里ふれあいホーム運営推進会議	施設運営について
168	3 月 22 日 (金)	八木	ちくりんえん運営推進会議	活動報告、情報交換
169	3 月 22 日 (金)	八木	くまごろうの家運営推進会議	活動報告、情報交換
170	3 月 25 日 (月)	八木	やぎ詩の郷運営推進会議	事業運営について
171	3 月 26 日 (火)	日吉	はぎの里デイサービス運営推進会議	施設運営について
172	3 月 27 日 (水)	美山	グループホームみやま運営推進会議	施設運営について
173	3 月 28 日 (木)	美山	グループホーム美山やすらぎホーム運営推進会議	施設運営について
174	3 月 28 日 (木)	美山	美山デイサービスセンター認知症対応型通所介護運営推進会議	施設運営について

(5) ネットワークの構築

①介護者(家族)の会

介護者家族の会は、各町でそれぞれ活動をしているが、お互いの活動を知るために各町会長会を開催し、情報交換を行った。その中で、それぞれの活動に特色があることや参加者や役員の固定化、現役介護者の参加が少ないなど共通点があることを共有する機会となった。

このことから、各町の活動を大切にしつつ、町を限定せずに現役介護者が参加しやすい合同学習会や交流会の開催、広報方法の検討など出来ることから連携していくことが大切だと確認し、今年度も合同事業を開催。映画鑑賞会には、会員41名、一般49名 計90名と多くの参加を得られた。上映前に介護者家族の会の紹介映像を流すなど広報活動を行った。交流会では会員同士、横のつながりを深めることができた。

今後も各町家族会が連携し、現役介護者の参加増の取り組みと当事者組織として運営していけるように後方支援と介護者支援をしていきたい。

南丹市介護者家族の会

月 日	内 容
8 月 28 日 (火)	南丹市介護者家族の会会長会
8 月 30 日 (木)	南丹市介護者家族の会 合同交流会 昼の部66名(会員園部9名・八木14名・日吉11名・美山7名、会員外25名)、夜の部:24名 計90名参加
11 月 21 日 (木)	介護者家族の会会長会 合同交流会振り返り、高齢福祉課との意見交換

園部町介護者の会 なごみの輪[会員数:25人内、OB会員7人]

月 日	内 容
4 月 26 日 (木)	総会
6 月 11 日 (月)	認知症の話(やぎ詩の郷:下村管理者)
10 月 18 日 (木)	交流会 参加者11名
12 月 14 日 (金)	忘年会&クリスマス会 参加者13名
2 月 28 日 (木)	ヨガ交流会 参加者7名

八木町介護者の会 たんぽぽ[会員数:40人内、OB会員34人]

月 日	内 容
4 月 13 日 (金)	役員会11名 平成30年度総会について、会報製本作業
4 月 20 日 (金)	平成30年度 総会 出席者28名
5 月 18 日 (金)	役員会11名 年間活動計画について
7 月 3 日 (火)	オムツ・尿取りパットの選び方やあて方について 参加者17名 講師:棚リブドゥコーポレーション
7 月 20 日 (金)	役員会13名 年間活動計画について
9 月 14 日 (金)	役員会7名 男のお料理教室、懇親会、おしゃべり会について
10 月 17 日 (水)	男のお料理教室 参加者15名
11 月 15 日 (木)	役員会12名、懇親会、男のお料理教室、おしゃべり会について
12 月 5 日 (水)	懇親会 17名
2 月 20 日 (水)	男のお料理教室 参加者12名
3 月 5 日 (火)	役員会11名 来年度役員、会報誌について
3 月 12 日 (火)	おしゃべり&交流会 15名 ヨガ終了後、役員会10名 来年度役員について

日吉町介護者の会 絆の会[会員数：27人内、OB会員14人]

月 日	内 容
4 月 23 日 (月)	絆の会総会 交流会 11名
6 月 18 日 (月)	癒しのハーバリウムづくりと交流会 10名
8 月 30 日 (木)	南丹市介護者家族の会合同交流会 11名
11 月 7 日 (水)	靴と歩き方の話 11名
1 月 24 日 (木)	施設見学と新年交流会 11名
3 月 14 日 (木)	ひよしのまちカフェ 13名

美山町介護者の会 あいの会[会員数：12人内、OB会員4人]

月 日	内 容
4 月 18 日 (水)	平成30年度総会 出席者8名
5 月 30 日 (水)	年間活動の計画、懇親会 参加者10名
6 月 20 日 (水)	出張・あいの会 (大野ふれあい館) 参加者11名
7 月 10 日 (火)	自己研修 映画「八重子のハミング」上映会参加 (美山町内) 参加者7名
7 月 25 日 (水)	自己研修報告 (映画鑑賞の感想等)、懇親会 参加者6名
8 月 30 日 (木)	南丹市介護者家族の会合同交流会 参加者7名
9 月 19 日 (水)	勉強会「バリデーションについて」 (講師：あいの会会員) 参加者9名
10 月 24 日 (水)	次月以降の活動について、懇親会 参加者4名
11 月 7 日 (水)	リフレッシュ交流会 (昼食+グラウンドゴルフ) (美山町自然文化村) 参加者8名
12 月 12 日 (水)	クリスマス会+忘年会 (おしゃべりの会) 参加者9名+やすらぎGH職員1名
1 月 30 日 (水)	新年会 (レストランけいほく) 参加者8名
2 月 27 日 (水)	懇親会 参加者3名
3 月 16 日 (土)	自己研修 南丹市在宅ケア講演会参加 参加者3名

② 地域ケア推進会議

事業評価

今年度は、地域の居場所の活性化、介護予防意識の向上、関係機関の地域貢献や地域とのつながり強化を目的として、そのきっかけとなる「南丹市事業所出前講座一覧表」の作成や活用を柱に会議を進め、第一回目の会議では「みんなでつくる地域包括ケアシステム～地域貢献を考える～」をテーマに開催した。既に地域に出向いておられる事業所から事例報告をしてもらい、地域貢献の必要性やその方法などについて共有を行い、「出前講座一覧表」作成について意見交換を行ってもらった。

第二回目の会議では、作成した「南丹市事業所出前講座一覧表」を出席者に配布・披露し、その趣旨や活用方法について共有、「一覧表」をもとに地域の居場所（サロン）の活性化や継続、事業所の地域貢献について、意見交換を行った。その中で地域と事業所の協働の意識化や、その為の具体的な活動へ向けてのヒントやきっかけづくりなどへ繋げることができた。

第三回目の会議では、講師をお呼びし、地域包括ケアシステムの構築に通じる、実際に活動されている団体や取り組み事業の現状や課題、仕組みの紹介などしていただいた。多分野からの参加者があり、会議を通じて、それぞれの地域、またそのシニア世代に今求められていることを共有し、意識化へ繋いだ。次年度は、これらを踏まえ、社協内でも部門間連携を行い、より前進した取り組みができるようにしていきたい。

	月日	会議（場所）	内 容
1	8月2日	「みんなでつくる地域包括ケアシステム」～地域貢献を考える～ （南丹市社協本所農事研修室）	1. 事業所からの事例発表（地域貢献について） 2. 意見交換 参加者：66人 介護保険事業所（居宅、デイ、訪問介護、訪問看護、福祉用具、施設）、医療機関（地域医療連携室、地域リハビリテーション、認知症疾患医療センター、薬局）、その他（大学先生、ボランティア・運動教室団体） （まとめ） 地域での孤立や介護の予防の資源としてサロンなどの居場所の活性化が必要であると同時に、地域の事業所の地域貢献が望まれている。その中で、今回は地域の各事業所の地域貢献の思いや考えを共有し、地域貢献のきっかけとなる「出前講座一覧表」の作成において、前向きな意見交換が行えた。

	月日	会議（場所）	内 容
2	11月6日	「みんなでつくる地域包括ケアシステム」 ～地域と事業所の協働～ (遊youひよしホール)	1. 「南丹市事業所出前講座一覧表」 お披露目と活用方法 2. 事業所（4カ所）からの事業（講座）紹介 3. 交流タイム 参加者：119人 サロン代表者、民生児童委員、ふれあい委員、介護保険事業所（居宅、デイ、訪問介護、訪問看護、福祉用具、施設）、医療機関（地域医療連携室、地域リハビリテーション、認知症疾患医療センター、薬局）、社協、行政、包括、その他 （まとめ） 会議を通して、地域からは「地域にこれだけの出前講座（社会資源）があることがわかり、今後の活動に繋がりたい。」という前向きな声を多くいただいた。事業所からは「サロンの運営の大変さや地域の現状を知る事ができ、『一覧表』や今回の会議をきっかけとして、事業所が地域に何ができるか、何かできるのでは、と考えたり活動する一歩になる。」という意見があった。 サロンや事業所が実際に繋がる一つの手段として「一覧表」をもとに、これまでよりも一歩踏み込んだ具体的な話や関係づくりができた。一方で地域（民生委員、ふれあい委員、サロン代表など）の参加者が少なく、会議やテーマに関心をもって参加いただけるよう、案内方法などに課題が残った。
3	2月28日	「みんなでつくる地域包括ケアシステム」 ～シニア世代の社会参加が地域を豊かにする～ (遊youひよしホール)	1. 基調講演 講師 明治国際医療大学 教授 教授 佐藤裕見子氏 2. 取組報告 講師 大津市社会福祉協議会 第一層生活支援Co. 森野道代氏 3. 質疑応答（会場と意見のやりとり） 4. まとめ 参加者：143人 民生児童委員、ふれあい委員、サロン代表者、介護保険事業所、その他…男の居場所、老人クラブ、集落支援員、食改、さくら楽習館、明治（大学、HP）、まちづくりデザイン、基幹相談センター、病院地域連携、地域リハセン、社協地域、行政、包括 （まとめ） 「南丹市出前講座一覧表」の活用やこれからの介護予防事業推進のために、地域のシニア世代の社会参加や早期の介護予防について考える機会をもつことを目的に開催。 佐藤教授より、社会や地域の背景から、今まさに、介護予防や自主的活動が必要で、そこにシニア世代の活躍が求められていることの話があった。森野第一層生活支援Co.からは、男性に特化した取り組みの報告があり、取り組みの経緯から現在の活動に至るまでの経過、その一連に関わる中での工夫や課題、成果など話をいただき、参加者で共有することができた。また参加者の中で、取り組みのきっかけや意欲向上にもつながるものになった。 佐藤教授より、活動を支援していくリーダー的存在の養成、また継続して活動できる仕組みづくりなど、行政や社協など一体となって進めていくことが求められているとしてまとめがあり、私たちが今やるべきことや課題の認識ができた。

③ 地域ケア個別会議

地域ケア個別会議：課題のあるケースについて、関係者で集まり解決やより良い状況を目指し関係者で検討を行う会議。地域課題を抽出し、地域ケア推進会議にもつなげ、地域課題の解決を目指す。

【今年度の開催】件数：36回(23ケース)

- ・警察関係者の出席が2件あり、見守りの一役を担ってもらうことが出来た。
- ・見守りについて、生活支援コーディネーターと共に地域住民(区長)へ声掛けを行った。地域での見守りのため商店へ声掛けし、「見守り情報シート(写真付き)」を活用して協力を依頼することができた。
- ・課題の中にはゴミ捨ての課題や、送迎の課題などが出て来るが、いずれも制度で対応することは困難であり、会議内で制度外の対応を検討する必要があった。

(今後について)

- ・地域や家族の、認知症や障がいに対する理解を深めていくことも必要である
- ・高齢者虐待・権利擁護について周囲の理解が得られるような啓発の機会を作っていくことも課題
- ・制度のはざま、既存の制度でうまくいかないケースについて、生活支援コーディネーターと協働し、新たな制度やしきみについて検討していきたい。

1-1.実施状況(重複あり)

町名	実施回数
園部	19
八木	9
日吉	6
美山	2
合計	36

1-2.実施状況(ケース数)

町名	実施回数
園部	9
八木	7
日吉	5
美山	2
合計	23

2.職種別参加状況

参加者	参加者数(人)
包括職員	67
高齢福祉課	37
保健医療課	1
社会福祉課	11
その他行政の課	13
介護支援専門員	34
介護サービス提供事業所	48
障がい者サービス提供事業所	1
社協職員	26
認知症推進員	1
その他事業者	2
本人	0
家族・親族	7
医療系従事者等	6
民生委員	12
区長	2
近隣等	3
警察関係	3
消防署	1
金融機関	0
その他	4
合計	279
1回あたりの参加者数	7.75

3.開催の経緯

※重複あり

情報共有	32
近所との関係	7
障がいの課題	4
制度について	2
経済的な課題	14
認知症の課題	11
虐待	10
独居	17
高齢者世帯	2
居場所	0
見守り	8
医療の課題	8
施設入所	9
家族関係	8
就労	0
住環境	4
運転	1

平成30年度 地域ケア個別会議まとめ

キーワード	件数	概要	地域課題	得られた効果・発見できた資源	関連キーワード
施設入所	4	独居。骨折にて入院だが、認知症の進行と近隣との関係により在宅復帰が困難。生活の拠点を含めた退院後の支援と、成年後見制度の申請について検討。	身寄りのない独居高齢者を支え、見守る体制をどう作るか。以前からの関わりが原因で疲弊している支援者に協力を求めにくい。	民生委員が地域住民との間をうまく取り持つてくださり、課題に対しスムーズに対応できた。	
		独居。施設入所に必要な保証人は協力してもらえない。通帳を探すが見つからず、再発行の手続きをおこなった。	保証人のない人の入所が困難。	親族がいない人への支援について検討することができた。	
		3世代同居。子が精神的な落ち込みある時に親・子へのネグレクト状態となるため虐待認定。生活保護相談したが預貯金あり現段階では受付不可。退院後のサービス利用や生活は安定しているが子に疲れが出てきており、施設入所も検討。	身内が近くにいるが、精神的な落ち込み等体調によって助けられないことがある。施設側は入所後の関わりについてリスクあり、スムーズな入所へと繋がらない。	訪看が入ったことで、支援者側の医療の不安が和らぎ、在宅生活を続ける安心材料となった。	
		3世代同居。子が精神的な落ち込みある時に親・子へのネグレクト状態となるため虐待認定。 ①経過共有②受診対応の確認③施設申込について検討。	緊急時の体制が整わない場合、施設入所が進まない。	今までの支援成果を出席者で認め合った。不適切な事が起こる要因を考察する事ができた。	虐待-子育て世代、医療の課題、家族-共依存、経済-低収入

家族関係	5	(家族関係希薄) 独居。寂しさや生活のし辛さから夜間や夏・冬に妄想の症状が悪化。被害妄想により仕返しをする。相手側も障害によるこだわりの行動があり、本人にとって苦痛。経済的理由から転居を断念。実態がわからない為、情報共有の仕組みを検討。	障がい等があることで民生委員からも「素人には分からない」という感想が出る。	駐在所で不安になる時間帯のパトロールをしてもらえることになった。	見守り、独居、近所-孤立、近所-連携
		(共依存) 高齢で認知症の母と、障がいの子の二人暮らし。緊急時の対応、キーパーソンに課題。成年後見制度も検討。	母(高齢で認知症)、子(障がい)の二人暮らしをどのように支援していくか。地域や遠方の親族の支援は？	母子に関わる支援者が一堂に会し検討することで、課題の整理や前向きな支援内容を検討することができた。役割分担がスムーズだった。	認知症+障がい、家族-遠距離、医療
		(8050) 認知症、理解力の課題、統合失調症等、世帯全体に課題。関係機関の受入が悪く、キーパーソンの力も弱い。ひきこもり、障害年金非該当であり経済的にも課題がある。	世帯全体で関係機関の関わり必要である。家族全員が課題を抱えて生活しているが、関係機関の受入が悪く、要子氏(キーパーソン)を通じてしか情報得られない。キーパーソンの力も弱い。	関係機関で情報共有と今後の方向性を確認し合えた。	障がい-精神、運転、経済-定収入、認知症疑い
		(共依存) 息子からの経済的虐待が発端で、保佐人がついている。権利擁護事業も利用しているが、支援日に息子が家を訪れて、支援をやめよう恫喝してくる。支援継続困難。	虐待で捉えていたケースが保佐人がつくことによって終結と判断されたが、課題がなくなる。	関係機関で現状共有し、支援継続の為の方法を検討することができた。	虐待-経済、障がい-理解力、虐待-終結後の支援継続
		独居。市外に住む息子が年金を管理。本人は各種滞納、借金。本人の生活が成り立たなくなっている。		司法書士助言のもと、課題整理と役割分担行えた。	

見守り	5	独居。地域に積極的に出歩いていくが、転倒を繰り返しており心配のある方の見守りについて。どういった方法で見守りが可能か協議。	出かける先が広範囲にわたり、時間の約束も難しくなっている方への外出に際する支援・見守り	生活支援コーディネーターと、見守りの可能性について考えることが出来た。人通りの多い地区の元民生委員から見守りについて前向きな反応が得られた。	認知症-中核症状、制度-はざま、独居
		独居、ひとりでの生活に不安があり出歩いてしまう方について。 ①施設での生活について(成年後見の手続き)、②見守りの強化、③本人の安全な行動について検討	地区の見守りがどこまでできるか。エリアごとの見守りネットワークがあれば、そのエリアの見守りをゆるく続けられないか。		認知症-中核症状、制度-はざま、独居、近所-連携
		独居、ひとりでの生活に不安があり出歩いてしまう方について。 ①施設での生活について(成年後見の手続き)、②見守りの強化、③本人の安全な行動について検討	思いつきで出かけてしまふ法則の無い人の見守りについて、HHやDSだけでは賄いきれない	本人さんの行動パターンに応じた出先への見守り依頼などを具体的に検討する事ができた。	認知症-中核症状、制度-はざま、独居、近所-連携
		独居、ひとりでの生活に不安があり出歩いてしまう方について。転倒の危険のある夕暮れ時や猛暑等、心配のある時に、見守りの目が増やせないか地域住民を交えて検討。	1人の個別例としてなら扱いやすいが、もし対象者が増えたと見守る側としては負担であるという心配がある。→地域でどの程度見守れば良いのかという不安をめぐり、負担感なく見守ってもらうには工夫が必要。	お願いすると協力して下さりそうな方が地域にいる。	見守り、近所-連携、見守りネットワーク

キーワード	件数	概要	地域課題	得られた効果・発見できた資源	関連キーワード
		独居。身の回りのことが出来なくなっている状況(尿臭、失禁あり)で近所から孤立しかけている。 認知症があると思われる状況で車を運転。道に迷うという事象が発生した。 課題の整理とともに、今後の支援検討。 ↓ 本人との関係作り 本人、親族の意向確認	【包括の所感】 独居、認知症の方の地域での生活について(地域からの支援体制)		
経済-低収入	1	3世代同居。子が精神的な落ち込みある時に親・子へのネグレクト状態となるため虐待認定。 子の体調が良くない時には本人のサービス利用につながらず、安否確認がとれない。内服管理できず健康被害のおそれ。家族で支援できない受診等、担当CMや包括が送迎している。	送迎サービスとヘルパーを併用しなくては受診できないが、併用するには経済的にも余裕が無く、多くの支援者を受け入れにくい個性もあり、CMや包括の特例的な動きでの対応が続いてしまっている。		制度-はざま、医療の課題
近所	3	(受援拒否) 同居。認知症。自宅を出て帰れなくなり、線路そばで倒れているところを発見される。今後の見守りや緊急時の対応について関係者で共有。	本人の現在の様子を地域の人たちが理解していない。同時に家族が地域に知られたくない、迷惑をかけたくないと思っている。家族から要請があれば、支援の体制はある。	CMから家族に警察との連携の話をする。その後、近隣との連携の必要性を駐在さんから説いてもらう。	
		(連携) 独居。生活状況について、別居の家族に理解してもらうことを目的として情報共有。①本人の暮らしぶり、②親戚や近隣住民の関わりの様子③周囲が感じている精神的負担。これらを踏まえて、今後の支援を検討。	地域では見守りや柔軟な対応をしてもらっているが、その頻度が増しており負担が生じている。	本人が行く気になっていれば、いつでもデイの利用ができるよう体制を整えておくことができる。(サービス利用が定着すれば、本人の不安感、地域の負担感が減少する)	
		(対立・孤立) 精神不安、体調不良により救急車の要請が頻繁。情報共有をおこない、課題の整理と今後の支援について検討。	独居でKPとなる親族(支援者)がいない人の見守り、近隣住民との関係		見守り、独居
虐待	2	(子育て世代) 3世代同居。子が精神的な落ち込みある時に親・子へのネグレクト状態となるため虐待認定。 子の体調が良くない時には本人のサービス利用につながらず、安否確認がとれない。サービスの定期利用が難しく、臨時利用になっている。	キーパーソンの疾患、精神的な体調、理解力、経済面等の複合的課題があることで、本人への望ましいサービスにつながらない。		
		(男性介護) 本人のADL低下により介護負担が増大。介護者である夫は献身的に介護しているが、イライラが募ると力任せに介助することがある。デイ職員に対し、「叩いてしまった」と介護者が言うことがある(本人も「お父さんに叩かれる」ということがある)。現状を共有し夫の介護負担の軽減への対応を検討。	男性介護者の居場所、ケアマネ支援(ケアマネジメント力の向上)		
住環境	1	住環境が劣悪で、夏はスズメバチやマムシ、その他野生動物も家の中に出没。冬場の積雪時の不安もあり、訪問介護員の支援に支障が出てきている。 入れ墨があること、薬が高価であることから、入所に支障。今後の生活の場について検討。	これまでの生活や行いで、近隣との関係がすんなりとは築けず、孤立。		
情報共有・連携	1	高齢世帯。頼れる親族がおらず、宗教関係の知り合いに頼むが、相手方も高齢化していて対応しきれなくなっている。 妻のサービスには入れるが、夫はサービスが要らないと言って受け入れない。ヘルパーに頼む内容が増えている。夫はしっかり歩けず這っているような状況。 受診状況や食事内容がきちんとできているか不明。	身寄りのない高齢世帯について。今まで支えてくれていた関係が、頼りにしすぎるようになる事で崩れてしまい、支える側の負担感が増してしまう。制度で支援できることは置き換えていけると良いが、CMの方も利用したことのない支援についてはイメージしにくく、その場合はつなぎ役が必要。	課題を整理し、今後の動きを確認する事ができた。	高齢世帯、医療の課題、サービス調整
独居	3	独居。生活状況について、別居の家族に理解してもらうことを目的として情報共有。①本人の暮らしぶり、②親戚や近隣住民の関わりの様子③周囲が感じている精神的負担。これらを踏まえて、今後の支援を検討。	家族が離れて暮らしていると、状況把握が不完全で深刻に考えない。認知症があり不安になる場合、どこに言って行けばいいのかわからなくなる。	家族に理解を求めるよう働きかければ、協力を得られ、本人の不安感も軽減できた。	
		独居。体調不良に加え、義妹との関係が影響し、胸苦を訴えて救急車を要請することが増えている。 現在入院中。 本人と義妹、それぞれの支援者が現状を共有し、今後の支援を検討するため、会議を開催。	独居でKPとなる親族(支援者)がいない人の見守り、近隣住民との関係		施設入所、近所との関係-対立・孤立

キーワード	件数	概要	地域課題	得られた効果・発見できた資源	関連キーワード
		配食サービスを利用しながら長屋にて独居。認知症と思われる症状が進行。生活環境も良くない。親族の関わりを本人が拒否。今後の支援について協議。 ↓ 施設への入所申請。 介護保険申請。		大家や民委に出席してもらったことにより、今後の支援方法をスムーズに検討することができた。	
その他	4	(キーパーソン不在) 高齢世帯。認知症の夫の介護。家は雨漏りをしており、このまま生活を続けることが難しくなりつつある。生活保護受給しており、金銭的な余裕はない。娘も精神的に不安定であり、頼れない。	家計の課題は若い頃からの流れを継いでおり、高齢になり判断力・体力低下してからは家計の相談ができない。また、生活保護以外は解決に向かいにくい。	キーパーソンがいない(弱い)場合の契約事項を伴う事柄については成年後見が頼り	障がい理解力、虐待-老老介護、高齢世帯、施設入所、住環境
		(高齢者本人・家族の支援拒否) (在宅生活の限界)(成年後見制度の活用) 本人の認知症の進行、夫の低い介護力と虐待から施設入所が必要となっているが、成年後見制度利用を進めていくプロセスが複雑で支援が困難な状況。 課題を整理し、どこから動いていくかを検討し、関係機関で共有したい。	・小規模多機能型居宅介護事業所から訪問が出来ない地域。 ・1ターナー者が多い地域で、近所の関係が希薄。		虐待-経済虐待-老老介護虐待-男性介護高齢世帯施設入所家族関係-希薄認知症-中核症状認知症-認知介
		(事業所数の地域差)(キーパーソンの金銭管理能力の低さ) 高齢世帯。H29年に妻だけが長女のところにきてサービスを利用していたが、数ヶ月で自宅に帰る。その年末に自宅を引き払い、夫婦で長女近くの家を借りて生活を始める。以前に長女の夫の両親(父親は老健入所費滞納、母親は経済虐待)のことがあり、同じ町内のサービスが使えないため、夫婦で別々に他町のデイサービスを利用しているが、合わせたと言っている。本人たちから詳しい話が聞けないため、生活の実態やお金の管理がわからない。認知症の程度もわからない。金銭について長女夫婦に搾取されてないか気になる状況である。	市内でもサービスが少ない地域。選べない。 1事業所から断られると行くところがない。		虐待-経済高齢世帯
		(保証人がいない) 独居。精神疾患(うつ)により自立支援医療対象。家族関係悪化しており、過去に虐待あり。他の家族にも連絡がつかない。サービス追加や将来的な施設入所を検討したいが、緊急連絡先や保証人の問題で進みにくい。	契約を主とする介護保険サービスにおいて、自分で判断できず身寄りもない人への支援をどうするか、何を指標とするのが難しい。 【包括】緊急連絡先や保証人がいない場合、サービス導入や施設入所が困難。成年後見制	任意後見制度は、最初の契約料が15万円ほどかかるが、年間2万円ほどで見守りしつてもらいながら、いざというときの連絡先としてサービス導入しやすい可能性。	
認知症	2	(中核症状) 認知症で独居。子供おらず親類とも連絡を絶っており、現在や今後の生活について支援が必要なケース。経過、現状、課題の共有(認知症、健康管理、財産や金銭管理、身寄りがない、猫など)の共有を関係者で早い段階で行い、今後の支援の方向性について検討。	自ら関係を築くことを拒んだり、特定の人しか受入れない方が、認知症等で自立した生活を送れなくなったとき、見守り等を担える人が限定されてしまう。	昔からの馴染みの人がいれば、関係者と連携を取りながら支援を続けてくれる。	
		(中核症状) 要介護3で介護保険サービスを利用中。サービスがスムーズに進まなかった経過あり。独居である義妹宅に訪問している。義妹が体調不良を訴え救急車を要請することが頻回。本人の関わりが、義妹の体調不良、精神不安の一因となっている可能性がある。本人、義妹、それぞれの支援者が現状を共有し、今後の支援を検討するため、会議を開催。			独居、家族関係-希薄
医療の課題	1	高齢世帯。頼れる親族がおらず、宗教関係の知り合いに頼むが、相手方も高齢化していて対応しきれなくなっている。 病院受診がひとりではできず、外出支援での対応が難しい。お金のことも詳細がわからず、どの程度サービスで賄えるかわからない。	にだわりや思いの強い方に、制度上できないことや薬の必要性の説明がうまくいかない。	PTに入ってもらうことで本人の能力がわかりやすく、制度を使わない方向を考えることができた。	障がい理解力、制度-はざま、高齢世帯、こだわりの強さ
障がい	2	(理解力) 独居。身寄りなく頼れる人がいないため、知り合いの方(接骨院の先生)にお金の引き出しや手続き等(遺族年金、引越越し)を頼んでいる。本人の理解力も弱く、物事を見通して計画をたてられないため、知り合いの方含め、支援者で情報共有。 (精神)	知り合いの方と情報共有にあたって、どこまで共有して良いかの判断が難しい。	関係性ができている方であれば本人は受け入れやすい。	
		①次女の病状、対応方法を共有		社会福祉課に介入によって、次女に関わるキーパーソン機関ができた。	

④ 認知症を知り地域で支える活動の推進

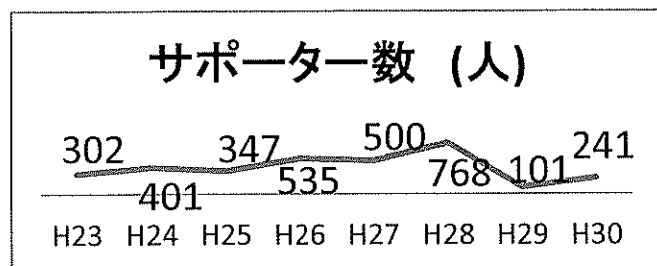
例年と比較すると少ないが、昨年と比べると件数、人数ともに増えている。実績には上がらないが、京丹波町キャラバンメイトと連携した講座を行うこともできた。キャラバンメイト連絡会(なんたんロバの会)事務局として、講座を担当しやすい内容の企画を行い、経験の少ないキャラバンメイトの活動支援を行った。また、事務局で作成した資料(パワーポイント)は平成26年のものであり、新しい情報や社会資源を追加・改定していく必要がある。

ア. 認知症サポーター養成講座の開催

	月日	地域	対象者	サポーター数	キャラバンメイト	使用教材・内容
1	4月30日(月)	園部	いきいきサロンコスモス会	13人	森	標準教材、独自配布資料
2	5月10日(木)	八木	社会福祉法人未生会法人職員	20人	瀬野、竹内	標準教材、独自配布資料
3	7月3日(火)	園部	園部郵便局員	23人	上仲、奥野、上藺、平井	標準教材、独自配布資料
4	7月10日(火)	園部	園部郵便局員	12人	三好、平井	標準教材、独自配布資料
5	7月12日(木)	八木	南丹市社協八木事務所地域福祉部非常勤職員	16人	三宅	標準教材、独自配布資料
6	7月31日(火)	園部	園部郵便局員	4人	小川、上藺	標準教材、独自配布資料
7	9月26日(水)	八木	やぎ詩の郷と地域住民の地域交流	12人	芦田、上藺	標準教材
8	10月16日(火)	八木	八木中学校福祉教育	50人	松本	
9	12月25日(火)	園部	第一生命保険株式会社園部営業オフィス	16人	平井	標準教材、キャンペーンDVD
10	1月7日(月)	日吉	明治国際医療大学看護学部1年生	61人	上仲、上藺	標準教材
11	3月20日(水)	園部	なごみカフェ	14人	河岸、三好	標準教材

合計 241 人

認知症サポーター養成講座 年度推移



イ. 南丹市徘徊SOSネットワーク「つながろう南丹ネット」事業

南丹市の事業の関係機関として、高齢者の方が外出時の行方不明時に備え、事前登録の案内と協力機関登録の依頼を行い、また、行方不明発生時にFAXを送信して情報提供を呼び掛けている。

今年度はFAX送信は3件で、登録されていない方ばかりであった。この事業についての広報がまだまだ必要であると感じた。また、行方不明になる前からの見守りが課題となっている。

今年度は報告用紙やマニュアルをまとめ、職員間で同じ対応ができるよう共有することが出来た。連携する中で出た課題について市とも共有する事が重要であると考え。

■事前登録（行方不明の心配のある方）

事前登録	29 人	平成30年度 新規登録：15人
------	------	-----------------

■協力機関登録（行方不明発生時に見守り・情報提供を行う）

協力機関登録	130 箇所	平成30年度 新規登録：6件
--------	--------	----------------

■FAX送信

FAX送信	3 件	事前登録有：0件 無：3件 ※内、他市1件	発見：当日 1件 翌日 1件
-------	-----	--------------------------	----------------

2. 認知症初期集中支援推進事業（南丹市委託事業）

昨年度より配置された認知症初期集中支援チームの活動をはじめ、今年度より配置となった認知症地域支援推進員の活動も含め、認知症支援の充実や認知症にやさしい地域づくりに努めてきた。

認知症初期集中支援チーム活動では、今年度計10件の対象ケースの支援を行なった。チームとして関わり活動することで、専門職との連携や支援の方向性を医師とも確認しながら支援できるようになり、よりスムーズに集中的な支援が行えた実感できるケースもあった。今後も関係機関や地域住民への広報・周知活動を十分に行っていくことやチーム員により支援の差がうまれないように、チーム員の資質向上を行う機会を持つていく必要がある。

今年度より配置された認知症地域支援推進員の活動では、認知症に特化した事業への関わりや取り組みを行ってきた。特に、一番大きなイベントであるRUN伴を実行委員会の事務局として開催することができた。実行委員会を組織する、助成金を申請する、亀岡市や京丹波町と連携して取り組むなど包括の本来業務とは少し違った活動経験ができた。公的な事業でないが、地域への啓発、本人の活動支援、ネットワークの構築など小さいながら沢山の成果があった。参加した本人の「また参加したい」という声を大切に来年度も取り組めたらと思う。

また、平成29年度に作成した認知症ケアパスの更新を行った。ご家族・支援者向けに作ったものだが、当事者団体である、認知症本人ワーキンググループの希望宣言を掲載することができた。来年度はご本人向けのものを作成し、早期相談・早期対応につなげていきたい。

①認知症初期集中支援チーム活動

性別	男性：2人 女性：8人 （うち男性1名、女性2名は昨年度からの継続）		
年齢	70歳～74歳：1人 75～79歳：2人 80歳～84歳：2人 85歳以上：5人		
把握ルート	家族から：5人 民生委員から：1人 介護支援専門員から：1人 行政から：3人		
終了ケース	認知症：5人 軽度認知障害：2人	要介護：4人 要支援：1人 事業対象者：1人 未認定：1人	

■チーム員会議（チーム員・チーム員医師）

	月 日	内 容
1	5 月 25 日（金）	訪問・アセスメント結果の共有、支援目標・支援計画の検討（3名）
2	7 月 20 日（金）	訪問・アセスメント結果の共有、支援目標・支援計画の検討（2名）
3	8 月 31 日（金）	訪問・アセスメント結果の共有、支援目標・支援計画の検討（5名）
4	10 月 5 日（金）	訪問・アセスメント結果の共有、支援目標・支援計画の検討（5名）
5	11 月 29 日（木）	訪問・アセスメント結果の共有、支援目標・支援計画の検討（4名）
6	1 月 17 日（木）	訪問・アセスメント結果の共有、支援目標・支援計画の検討（4名）
7	2 月 21 日（木）	訪問・アセスメント結果の共有、支援目標・支援計画の検討（2名）
8	3 月 15 日（金）	訪問・アセスメント結果の共有、支援目標・支援計画の検討（3名）

■サポート会議（南丹市主催）

メンバー：認知症サポート医・看護師・薬剤師・PT・OT・司法書士・介護福祉士・包括・南丹市・京都府

	月 日	内 容
1	5 月 25 日（金）	チーム員の活動についてのアドバイス・地域課題についての検討など
2	8 月 31 日（金）	チーム員の活動についてのアドバイス・地域課題についての検討など
3	11 月 29 日（木）	チーム員の活動についてのアドバイス・地域課題についての検討など

■その他会議等

	月 日	内 容
1	6 月 18 日（月）	京都府認知症初期集中支援チーム連絡会
2	7 月 21 日（土）	京都府認知症初期集中支援チーム員養成研修
3	7 月 30 日（月）	認知症初期集中支援チーム員養成伝達研修
4	11 月 22 日（木）	認知症初期集中支援チーム員スキルアップ研修（事例報告）
5	1 月 17 日（木）	京都府認知症初期集中支援チーム連絡会
6	2 月 21 日（木）	認知症初期集中支援チーム検討会議

②認知症地域支援推進員

	月日	地域		内 容
1	4 月 2 日 (月)	園部	認知症初期集中支援チーム	自宅訪問
2	4 月 3 日 (火)	園部	認知症初期集中支援チーム	受診同行
3	4 月 9 日 (月)	園部	認知症初期集中支援チーム	自宅訪問
4	4 月 10 日 (火)	園部	認知症初期集中支援チーム	受診同行
5	4 月 12 日 (木)	日吉	認知症カフェ (ひよしのまちカフェ)	地域把握
6	4 月 13 日 (金)	園部	認知症初期集中支援チーム	家族面談
7	4 月 16 日 (月)	園部	認知症初期集中支援チーム	受診同行
8	4 月 23 日 (月)	日吉	介護者家族会 (絆の会)	地域把握
9	4 月 24 日 (火)	園部	認知症初期集中支援チーム	受診同行
10	4 月 26 日 (木)	園部	認知症初期集中支援チーム	自宅訪問
11	5 月 9 日 (水)	全域	認知症初期集中支援チーム/認知症総合支援事業/SOSネットワーク	南丹市高齢福祉課と打ち合わせ
12	5 月 10 日 (木)	日吉	認知症カフェ (ひよしのまちカフェ)	地域把握
13	5 月 10 日 (木)	日吉	ひよしのまちカフェ実行委員会	今年度のカフェ運営について/実行委員の連絡体制について検討
14	5 月 14 日 (月)	全域	京都丹波オレンジロードつなげ隊企画会議	RUN伴/H29事業報告/H30活動計画について意見交換
15	5 月 16 日 (水)	全域	SOSネットワーク (つながろう南丹ネット)	包括内担当者で打ち合わせ
16	5 月 16 日 (水)	全域	認知症初期集中支援チーム	包括内担当者で打ち合わせ
17	5 月 17 日 (木)	京都府	京都府市町村認知症施策連絡会	新・京都式オレンジプラン(認知症施策)の認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員について
18	5 月 22 日 (火)	園部	認知症サポーター養成講座	園部郵便局と打ち合わせ
19	5 月 24 日 (木)	園部	コミュニティカフェ (なごみカフェ: はぎの里オアシス)	地域把握
20	5 月 24 日 (木)	日吉	出前講座 (コミュニティカフェ: みんなの居場所わっかっ!)	紙芝居「認知症の理解とかかわり」/DVD「認知症お助け隊オレンジレンジャー」
21	5 月 25 日 (金)	全域	認知症初期集中支援チーム	チーム員会議/サポート会議
22	5 月 30 日 (水)	京都府	研修受講 (京都府介護支援専門員会)	認知症高齢者の意思決定支援～成年後見制度・医療行為について～
23	6 月 4 日 (月)	日吉	SOSネットワーク (つながろう南丹ネット)	相談支援
24	6 月 7 日 (木)	日吉	SOSネットワーク (つながろう南丹ネット)	協力事業者登録依頼 (2件)
25	6 月 11 日 (月)	日吉	SOSネットワーク (つながろう南丹ネット)	事前登録申請支援
26	6 月 11 日 (月)	園部	認知症サポーター養成講座	園部郵便局・京丹波町キャラバンメイトと打ち合わせ
27	6 月 14 日 (木)	日吉	認知症カフェ (ひよしのまちカフェ)	地域把握
28	6 月 20 日 (水)	八木	認知症カフェ (ちよっといっぶく)	地域把握
29	6 月 20 日 (水)	美山	介護者家族会 (あいの会)	地域把握
30	6 月 21 日 (木)	日吉	SOSネットワーク (つながろう南丹ネット)	協力事業者登録依頼 (1件)
31	6 月 26 日 (火)	京都府	研修受講 (京都府リンクワーカー)	京都式オレンジプランの評価と支援者の役割について
32	6 月 28 日 (木)	園部	認知症サポーター養成講座	なんたんロバの会 (認知症キャラバンメイト連絡会) と打ち合わせ
33	7 月 3 日 (火)	園部	認知症サポーター養成講座	園部郵便局にて開催 (第1回)
34	7 月 4 日 (水)	日吉	コミュニティサロン (ようきはったサロン: 生棚区)	地域把握
35	7 月 12 日 (木)	全域	出前講座 (南丹市社協居宅介護部)	認知症について
36	7 月 12 日 (木)	日吉	認知症カフェ (ひよしのまちカフェ)	地域把握
37	7 月 13 日 (金)	全域	RUN伴京都実行委員会	説明会/南丹市実行委員会について検討

	月日	地域		内 容
38	7 月 24 日 (火)	その他	認知症サポーター養成講座 (京丹波キャラバンメイト)	丹波郵便局にて開催 (第3回)
39	7 月 30 日 (月)	全域	認知症初期集中支援チーム	伝達研修 (4名)
40	7 月 31 日 (火)	園部	認知症サポーター養成講座	園部郵便局にて開催 (第4回)
41	8 月 1 日 (水)	園部	認知症にやさしい図書館	園部中央図書館・高齢福祉課と打ち合わせ
42	8 月 3 日 (金)	全域	RUN伴京都南丹市実行委員会	第1回実行委員会
43	8 月 7 日 (火)	全域	オレンジロードつなげ隊	認知症地域支援推進員との合同研修
44	8 月 9 日 (木)	全域	RUN伴京都南丹市実行委員会	情報センターと連携
45	8 月 9 日 (木)	日吉	認知症カフェ (ひよしのまちカフェ)	担当: 包括
46	8 月 9 日 (木)	日吉	ひよしのまちカフェ実行委員会	カフェ日程・担当について/開催日について/実行委員について/参加費・予算について
47	8 月 14 日 (火)	全域	RUN伴京都南丹市実行委員会	八木町内啓発/赤い羽根活動助成申請
48	8 月 15 日 (水)	全域	RUN伴京都南丹市実行委員会	シティプロモーション使用届/南丹市長出席依頼
49	8 月 15 日 (水)	園部	認知症サポーター養成講座	園部郵便局に報告書提出
50	8 月 20 日 (月)	日吉	相談支援	リンクワーカー的機能としてご自宅訪問
51	8 月 20 日 (月)	日吉	相談支援	ご家族の相談を受ける
52	8 月 26 月 (日)	園部	認知症カフェ (オレンジカフェふれあい)	地域把握・カフェ支援 (回想法DVDの提供)
53	8 月 27 日 (月)	日吉	相談支援	免許証返納された方へのアウトリーチ
54	8 月 29 日 (水)	全域	RUN伴京都南丹市実行委員会	共同募金委員会ヒヤリング
55	8 月 30 日 (木)	全域	南丹市介護者家族会合同研修会	ケアニン上映会・交流会
56	8 月 30 日 (木)	日吉	相談支援	リンクワーカー的機能として社会参加支援
57	8 月 31 日 (金)	全域	認知症初期集中支援チーム	チーム員会議/サポート会議
58	9 月 3 日 (月)	全域	SOSネットワーク (つながろう南丹ネット)	包括内チームで打ち合わせ
59	9 月 7 月 (金)	全域	RUN伴京都南丹市実行委員会	第2回実行委員会
60	9 月 10 日 (月)	日吉	SOSネットワーク (つながろう南丹ネット)	相談支援
61	9 月 13 月 (木)	日吉	相談支援	家族支援の為ご自宅訪問
62	9 月 14 日 (金)	園部	認知症にやさしい図書館	オレンジロードつなげ隊啓発グッズをお渡し
63	9 月 14 日 (金)	日吉	相談支援	ご自宅訪問
64	9 月 25 日 (火)	全域	RUN伴京都実行委員会	亀岡市・京丹波町・南丹市合同ルート説明会
65	9 月 25 日 (火)	全域	RUN伴京都南丹市実行委員会	第3回実行委員会
66	9 月 26 日 (水)	八木	認知症サポーター養成講座	やぎ詩の郷地域交流会 (刑部)
67	9 月 27 日 (木)	美山	RUN伴京都南丹市実行委員会	美山小学校打ち合わせ
68	9 月 27 日 (木)	日吉	SOSネットワーク (つながろう南丹ネット)	事前登録申請支援
69	9 月 28 日 (金)	その他	京丹波町家族介護・介護予防教室	京丹波町認知症地域支援推進員の活動見学
70	10 月 3 日 (水)	園部	認知症にやさしい図書館	イベント展示を見に行く
71	10 月 4 日 (木)	日吉	認知症カフェ (ひよしのまちカフェ)	運営担当: 本人座談会のビデオ鑑賞・RUN伴グッズ作成
72	10 月 5 日 (金)	全域	認知症初期集中支援チーム	チーム員会議
73	10 月 10 日 (水)	その他	京都府市町村認知症施策連絡会	テーマ: 本人ミーティング
74	10 月 15 日 (月)	全域	RUN伴京都南丹市実行委員会	応援グッズ (横断幕・のぼり旗) の配達
75	10 月 19 日 (金)	全域	RUN伴京都南丹市実行委員会	前日準備
76	10 月 20 日 (土)	全域	RUN伴京都2018	南丹市ルート運営・京丹波町ルート応援

	月日	地域		内 容
77	10 月 20 日 (土)	その他	RUN伴京都2018	亀岡市・京丹波町・南丹市合同振り返り会
78	10 月 25 日 (木)	その他	認知症リンクワーカーフォローアップ研修・連絡会	テーマ：意思決定支援
79	10 月 28 日 (日)	園部	認知症カフェ (オレンジカフェふれあい)	京都府認知症カフェアドバイザーと意見交換
80	10 月 30 日 (火)	日吉	相談支援 (家族)	サービス利用についての相談、情報提供
81	11 月 2 日 (金)	八木	認知症研修 (京都中部総合医療センター)	講師：認知症疾患医療センターPSW
82	11 月 5 日 (月)	日吉	相談支援 (本人・家族)	介護認定訪問調査同行
83	11 月 6 日 (火)	日吉	認知症にやさしい図書館	イベント展示を確認
84	11 月 6 日 (火)	全域	南丹市地域ケア推進会議	RUN伴活動報告展示
85	11 月 7 日 (水)	日吉	介護者家族会 (絆の会)	地域把握
86	11 月 8 日 (木)	日吉	相談支援 (本人・家族)	居宅介護支援事業所と訪問
87	11 月 7 日 (水)	日吉	認知症カフェ (ひよしのまちカフェ)	京都府認知症カフェアドバイザーと意見交換
88	11 月 7 日 (水)	日吉	ひよしのまちカフェ実行委員会	運営方法について意見交換・検討
89	11 月 10 日 (土)	日吉	相談支援 (家族)	かかりつけ医への相談に同行
90	11 月 12 日 (月)	日吉	相談支援 (本人・家族・ケアマネ)	介護認定訪問調査に同行
91	11 月 14 日 (水)	全域	包括内認知症担当者チーム	上半期振り返り
92	11 月 15 日 (木)	日吉	出前講座 (老人クラブ・いきいきサロン)	認知症予防の話 (紙芝居)・本人ガイド配布
93	11 月 16 日 (金)	日吉	ケアマネ連絡会	RUN伴活動報告展示・本人ガイド配布
94	11 月 19 日 (月)	日吉	相談支援 (本人・家族・ケアマネ)	サービス担当者会議に同席
95	11 月 25 日 (日)	園部	認知症カフェ (オレンジカフェふれあい)	京都府認知症カフェアドバイザーと意見交換
96	11 月 27 日 (火)	日吉	相談支援 (本人)	自宅訪問
97	11 月 27 日 (火)	日吉	相談支援 (家族)	居宅介護支援事業所調整
98	11 月 27 日 (火)	美山	相談支援 (事業所)	事業所内研修について
99	11 月 29 日 (木)	全域	認知症初期集中支援チーム	チーム員会議/サポート会議
100	12 月 3 日 (月)	全域	SOSネットワーク (つながろう南丹ネット)	包括内チームで打ち合わせ
101	12 月 4 日 (火)	全域	南丹市障がい者支援ネットワーク会議	全体会に参加
102	12 月 10 日 (月)	全域	広報なんたん (RUN伴)	南丹市高齢福祉課と打ち合わせ
103	12 月 13 日 (木)	全域	包括内認知症担当者チーム	認知症ケアパス第2版について打ち合わせ
104	12 月 17 日 (月)	美山	認知症対応力向上研修	訪問介護事業所介護職員向けに話をする
105	12 月 19 日 (水)	日吉	相談支援 (本人・家族)	受診同行
106	12 月 20 日 (木)	日吉	SOSネットワーク (つながろう南丹ネット)	担当CMと事前登録者宅訪問
107	1 月 7 日 (月)	全域	認知症ケアパス第2版	日本認知症本人WGと調整
108	1 月 7 日 (月)	日吉	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイトとして講師を務める
109	1 月 7 日 (月)	全域	包括内認知症担当者チーム	認知症ケアパス第2版について打ち合わせ
110	1 月 7 日 (月)	日吉	相談支援 (本人・家族)	社協エリアマネジャーと自宅訪問
111	1 月 8 日 (火)	日吉	相談支援 (本人・家族)	居宅介護支援事業所と自宅訪問
112	1 月 9 日 (水)	全域	なんたん在宅医療連携研究会	保健所と打ち合わせ
113	1 月 15 日 (火)	日吉	地域ケア個別会議	連携・支援内容検討
114	1 月 15 日 (火)	日吉	相談支援 (家族)	来所
115	1 月 16 日 (水)	日吉	相談支援 (本人・家族)	介護認定訪問調査に同行

	月日	地域		内 容
116	1 月 16 日 (水)	日吉	相談支援 (本人・家族)	包括相談員と自宅訪問
117	1 月 17 日 (木)	日吉	相談支援 (本人・家族)	自宅訪問・ケース会議・受診同行
118	1 月 18 日 (金)	日吉	相談支援 (本人・家族)	受診同行
119	1 月 21 日 (月)	日吉	なんたん在宅医療連携研究会	家族に説明
120	1 月 23 日 (水)	全域	RUN伴京都南丹市実行委員会	2018年の振り返り
121	1 月 23 日 (水)	日吉	相談支援 (家族)	来所
122	1 月 24 日 (木)	日吉	介護者家族会	勉強・交流会
123	1 月 29 日 (火)	園部	認知症カフェ (オレンジカフェふれあい)	主催者から相談を受ける
124	2 月 14 日 (木)	全域	若年性認知症支援者向け研修会	研修会参加
125	2 月 19 日 (火)	全域	認知症サポーター養成講座	京丹波町社協にDVDを貸し出し
126	2 月 20 日 (水)	全域	京都府認知症施策連絡会	SOSネットワークについて
127	2 月 21 日 (木)	全域	認知症初期集中支援チーム	チーム員会議/検討会議
128	2 月 22 日 (金)	日吉	認知症対応力向上研修	訪問介護事業所介護職員向けに話をする
129	2 月 26 日 (火)	全域	包括支援部会議	認知症DVD視聴 (交通機関利用について)
130	2 月 27 日 (水)	全域	なんたん在宅医療連携研究会	先進活動事業所と調整
131	3 月 6 日 (木)	全域	認知症ケアパス第2版	打合せ
132	3 月 6 日 (木)	全域	なんたん在宅医療連携研究会	打合せ・リハーサル
133	3 月 7 日 (木)	全域	認知症にやさしい図書館	展示グッズ回収
134	3 月 7 日 (木)	全域	南丹圏域認知症疾患医療センター	本人・家族交流会参加
135	3 月 9 日 (土)	全域	なんたん在宅医療連携研究会	事例発表
136	3 月 13 日 (水)	日吉	相談支援 (本人)	受診同行
137	3 月 14 日 (木)	日吉	相談支援 (本人) リンクワーカー的機能	活動 (ボールウォーキング) のお誘い
138	3 月 14 日 (木)	全域	認知症カフェ (ひよしのまちカフェ)	当事者支援・家族支援
139	3 月 18 日 (月)	全域	RUN伴京都2019	日程について調整
140	3 月 19 日 (火)	全域	RUN伴京都2019	包括内で意見聴取
141	3 月 25 日 (月)	日吉	高齢者虐待対応評価会議	会議出席
142	3 月 26 日 (火)	全域	相談支援 (本人・家族)	担当CMと同行訪問
143	3 月 26 日 (火)	全域	RUN伴京都2019	オリジナルグッズの相談
144	3 月 27 日 (水)	全域	SOSネットワーク (つながろう南丹ネット)	包括内チームで打ち合わせ
145	3 月 28 日 (木)	全域	認知症疾患医療連携研究会	会議出席
146	3 月 28 日 (木)	全域	認知症地域支援推進員	業務分担打合せ
147	3 月 28 日 (木)	全域	RUN伴京都2019	南丹市日程決定・報告
148	3 月 31 日 (日)	全域	RUN伴京都2019	京都府実行委員より府下の日程連絡受ける

居宅介護の部

総 括

居宅介護部としてそれぞれの事業所が地域(エリア)を意識して業務に取り組んだ1年であった。

居宅介護支援事業では他部門との連携・協働をすすめ、地域の中で様々な生活課題を抱えた住民からの相談を積極的に受け入れた。また、関係機関との連携・協働もすすめながら、利用者1人ひとりに寄り添った支援を提供できた。訪問介護事業ではそれぞれの事業所の課題であるヘルパー不足の解消に向け、様々な工夫や取り組みを実施した。通所介護事業では利用者の機能訓練に重点を置いた支援に取り組んだ。職員は各種研修に参加して、知識や技術の向上に励んだ。

今年度は、全国各地で自然災害が多発した。南丹市においても各地で大きな被害が確認され、各事業所は利用者の安否確認や安全確保の対応・支援に追われる日々が続いた。こうした状況を踏まえて、各事業所において、災害発生時の対応マニュアル見直しや事業継続計画(BCP)の策定が急がれる。小規模多機能ホームだんないでは、行政から福祉避難所の指定を受け、要配慮者の避難先の一つとして動きだすこととなった。これに限らず、社会福祉協議会が経営する各事業所は、広く災害支援・地域支援への取り組みや関係機関と連携が期待されている。こうした取り組みは今後の課題であり、協議を急ぐことが必要である。

職員育成では、居宅介護部全体研修を2回開催した。第1回は、虐待防止をテーマに学び、普段から丁寧な対応を徹底することが虐待防止への近道であることを理解した。第2回では、職員のアンガーマネジメント(※1)について学んだ。感情労働ともいわれる介護業務の中で、ストレスや感情の自己管理能力の向上は、質の高いサービスにもつながるとともに、職場の職員定着にも大きく関係するものと考えている。

私たちの目指す介護の本質は「利用者本位」であることを常に心にとめ、次年度は社会福祉協議会が介護事業を経営する意義や使命についてあらためて考えていく年としたい。

(※1)アンガーマネジメントとは

衝動的な怒りの感情や苛立ちをうまくコントロールするための心理教育プログラム。

1. 居宅介護支援事業

〈事業所〉	ほほえみ園部 居宅介護支援事業所	[介護保険]
	ほほえみ八木 居宅介護支援事業所	[介護保険]
	ほほえみかぐら 居宅介護支援事業所	[介護保険]

【今年度スローガン】 住み慣れた地域で「望む暮らし」の支援をめざして

【今年度達成目標】 全てのケアマネジャーが、法令1人あたり上限数までケースを担当できるよう、ケアマネジメントスキルの向上を図る

【目標達成状況】 ※ケアマネジャー1人あたり法令上限数：40件

事業所	ケアマネジャー 配置数(常勤換算)	1人あたり換算件数 (要介護+要支援×0.5)	目標達成率 (上限40件に対して)
ほほえみ園部 居宅介護支援事業所	2.1人	35.7件	89.25%
ほほえみ八木 居宅介護支援事業所	5.0人	31.7件	79.25%
ほほえみかぐら 居宅介護支援事業所	3.8人	32.5件	81.30%

① サービスの質的向上と利用者の信頼確保

居宅介護支援事業の指定権限が市に移譲されたことにより、市との連携が重要となった1年であった。市主催の勉強会や研修会に参加し適切なケアプラン等について、市と共に学んだ。『ほほえみかぐら』では市の実地指導を受け、その結果を組織内で共有し、健全な事業所運営に努めた。また、事例検討会に積極的に参加・企画して、ケアマネジャー個々のスキルアップにも取り組んだ1年であった。

各事業所では、事業自主点検を実施して、年々変化していく介護保険制度の学びと共通理解を図った。また主任ケアマネジャーが中心となり、日常業務へのアドバイスやサポートを行いながら、チームとして質の高いケアマネジメントに取り組んだ。今後も様々な手法を活用しながら、利用者の生活の質の向上につながる支援に努めていきたい。

(1) 外部研修参加状況

日時	研修内容	場所	参加人数
4月17日(火)	平成30年度京都府認定調査員初任者研修	京都市内	1人
6月5日(火)	平成30年度障がい者福祉サービス事業者等集団指導	綾部市内	1人
6月11日(水)	平成30年度介護保険サービス事業者集団指導	亀岡市内	3人
7月3日(火) 8月8日(水) 8月9日(木)	平成30年度京都府相談支援従事者現認研修(3日間)	京都市内	2人
7月19日(木)	佛教大学社会福祉実習連絡研修会	京都市内	1人
7月20日(金)	平成30年度OJTリーダー養成研修	京都市内	1人
7月27日(金) 8月28日(火) 10月26日(金)	平成30年度キャリアアップ研修 中堅職員(3日間)	京都市内	1人
8月20日(月) 8月21日(火)	平成30年度介護支援専門員実務更新研修 課題Ⅱ	京都市内	1人

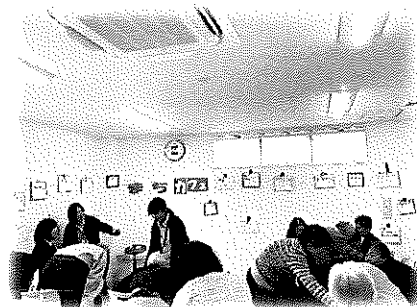
9月 4日 (火)	(4日間)		
9月 5日 (水)			
8月29日 (水)	平成30年度南丹市居宅介護支援事業所等研修会	南丹市園部町	2人
9月 6日 (木)	キャリアアップ研修 (管理者)	京都市内	1人
9月 7日 (金)			
10月 9日 (火)	平成30年度京都式ケアプラン点検	京都市内	2人
10月17日 (水)	平成30年度福祉リーダーの極意を学ぶセミナー	京都市内	1人
10月23日 (水)	平成30年度京都府介護支援専門員会ブロック研修	南丹市園部町	3人
11月10日 (土)	京都府意思決定支援研修会	京都市内	1人
11月16日 (金)	船井医師会セミナー	南丹市八木町	1人
12月 7日 (金)	BCP策定指針ワークショップ	亀岡市内	1人
12月 8日 (土)	スーパービジョンの活用 ～根拠に基づく実習生の受け入れ～	京都市内	1人
12月13日 (木)	介護支援専門員実務研修における実習受入協力事業所 指導者講習会	京都市内	1人
1月21日 (月)	平成30年度市町村社協介護保険事業担当部署会議	京都市内	2人
1月22日 (火)	平成30年度OJTリーダー養成研修	京都市内	1人
2月13日 (金)	平成30年度在宅療養児・者支援体制検討会	南丹市園部町	1人
2月15日 (木)	平成30年度福祉サービス苦情解決事業相談研修会	京都市内	1人
2月15日 (木)	第2回南丹市内居宅介護支援事業所研修会	南丹市役所	1人
2月21日 (金)	平成30年度南丹市居宅介護支援事業所研修会	南丹市園部町	3人
3月23日 (土)	第18回近畿ブロック研究大会	奈良県	3人
3月24日 (日)			

(2) 内部研修実施状況

日時	研修内容	場所	参加人数
9月 6日 (木)	第1回居宅介護部研修	園部公民館	2人
9月19日 (水)	南丹市ケアマネ連絡会	園部公民館	2人
11月16日 (金)	南丹市ケアマネ連絡会	社協・本所	2人
1月18日 (金)	南丹市ケアマネ連絡会	社協・本所	2人
3月11日 (月)	南丹市ケアマネ連絡会	社協・本所	2人
3月14日 (木)	第2回居宅介護部研修	園部公民館	3人

② 地域福祉部門・包括支援部門との連携強化と地域福祉貢献

今年度は、社協組織の強みを生かし、包括支援部や地域福祉部と有機的に連携・協働が図れた。包括支援部が取り組む地域ケア推進会議への参加や地域福祉部門が主催する様々な企画へ参加して、質の高いケアマネジメントについて考えることができた。今後は、利用者が住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けられるよう、各部門との連携はもちろん、地域住民や関係機関との連携・協働をすすめていきたい。



(1) 地域福祉部との連携

連携・協働	内容	頻度
エリア会議	課題ケース、情報共有、連携協働について	各事務所・月例会議
ふれあい委員研修会	ふれあい委員研修会のサポート	各事務所・年度当初
地域福祉計画推進委員会作業部会	第3期地域福祉計画の推進について	市 不定期
地域別懇談会	住民主体の懇談会の企画・サポート	各事務所のブロック単位
ふれあいネットワーク会議	ふれあい委員、民生児童委員と情報交換	八木事務所で開催
第7回きょうと福祉実践活動交流会	住民主体地域福祉活動の交流会	ガレリア亀岡で開催

ふれあいいきいきサロン訪問	地域福祉部と連携して住民活動のサポート	八木町(西田・青戸)
ひよしまちカフェ	関係機関協働による地域の居場所づくりの取り組み	日吉町

(2) 包括支援部との連携

連携・協働	内容	頻度
地域ケア個別会議 地域ケア推進会議	個別ケースについて地域課題の抽出・検討	随時
RUN伴実行委員会	RUN伴開催について	随時

③ 後継者育成・離職ゼロとケアマネ業務の魅力発信について

各事業所では主任ケアマネジャーが中心となり、ケアマネジャーの育成・指導に力を注いだ。チームミーティングや個別面談など状況に応じた対応ができた。今後もスーパーバイズの手法を活用しながら計画的な職員育成に努めていく必要がある。

今年度は、実習生受け入れマニュアルを作成し、ケアマネジャーや看護学生、社会福祉士の実習生を受け入れることができた。また、南丹看護専門学校へ講義に出向いたり、様々な場面でケアマネジャーの仕事の魅力や奥深さを伝えることができた。

(1) 実習生受け入れ状況

実習名	受け入れ人数
ケアマネジャー実務研修実習	5人
社会福祉士実習	2人
南丹看護専門学校実習生	11人

2. 訪問介護事業・居宅介護事業所

〈事業所〉	ほほえみ八木 訪問介護事業所	[介護保険]
	ほほえみ八木 居宅介護事業所	[自立支援]
	ほほえみかぐら 訪問介護事業所	[介護保険]
	ほほえみかぐら 居宅介護事業所	[自立支援]

【今年度スローガン】 まごころ・笑顔・チームワークでつなぐ暮らしのおてつだい

【今年度達成目標】 サービス提供数の増加（対前年度実績2%増）

【目標達成状況】 ※介護保険・自立支援の合計数

事業所	前年度 サービス提供総数	今年度 サービス提供目標数	今年度 サービス提供総数	目標達成率
ほほえみ八木 訪問介護事業所	14,033件	14,313件	12,314件	86%
ほほえみかぐら 訪問介護事業所	22,342件	22,788件	19,974件	87%

今年度はそれぞれの事業所が、訪問介護サービスの基本に立ち返り、事業所の理念や目標を再確認した。ほほえみかぐらでは京都府の実地指導を受けた。指導結果、指摘を真摯に受け止め、法令を遵守した事業運営に努めたい。収益面では年々介護保険の利用者が減少しており、非常に厳しい結果となっている。今後は詳細な経営分析を行い、経営改善に向け、事業所が一丸となって取り組んでいきたい。また、人材確保においても、厳しい状況が続いている。この部分においても、要因や原因を分析して対策を考えていきたい。

① 職員1人ひとりの資質の向上を目指す

地域リハビリテーションセンターや南丹保健所、南丹包括支援センターから講師を招き、様々な専門知識について学びを得ることができた。サービスの基本でもある接遇マナーについても各事業所で学びの場を設け、1人ひとりのスキルアップを図った。

(1) 会議・ミーティング

・訪問介護事業所連絡調整会議(全体月例会議)開催状況

開催月	内容	場所	参加人数
4月12日(木)	・平成30年度報酬改定の周知 ・平成29年度事業報告案	日吉相談室	6人
5月 8日(金)	・接遇マナーの振り返り ・チーム目標など	日吉相談室	8人
6月18日(月)	・感染症予防対策 ・システム(アセスメントシート)見直し	日吉相談室	6人
7月13日(金)	・地域へのヘルパー事業アピールの方法	日吉相談室	6人
8月20日(金)	・アンケート発送案検討 ・京都府実地指導報告	日吉相談室	6人
9月18日(火)	・個人情報保護とプライバシー保護について	日吉相談室	6人
10月12日(金)	・事業計画中間振り返り	日吉相談室	6人
11月13日(火)	・アンケート結果まとめ ・アセスメント確認	日吉相談室	7人
12月12日(水)	・重度訪問介護のニーズ・現状 ・京都新聞社ヘルパー助成申請	日吉相談室	5人
1月18日(金)	・マニュアルの見直し ・ターミナルケアについて ・登録ヘルパー賃金保障等	日吉相談室	5人
2月19日(火)	・来年度重点実施項目 ・同行援護サービスの算定について	日吉相談室	6人
3月12日(火)	・新年度訪問介護連絡長会議計画案 ・スマクラ様式見直し	日吉相談室	8人

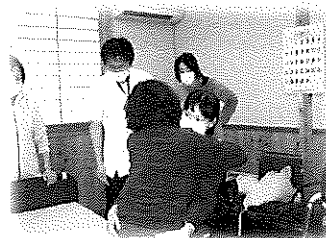
・ほほえみ八木訪問介護事業所ヘルパーミーティング開催状況

開催月	内容	人数
4月	介護報酬改定説明・事業計画の周知	25人
5月	接遇について	24人
6月	感染症について	25人
7月	防災について	25人
8月	認知症について	23人
9月	個人情報、プライバシーについて	22人
10月	普通救命講習会	24人
11月	介護技術	24人
12月	認知症	20人
1月	虐待について	25人
2月	調理実習・情報交換	23人
3月	平成30年度の振り返り	24人



・ほほえみかぐら訪問介護事業所ヘルパーミーティング開催状況

開催月	内容	人数
4月	・平成30年度重点実地項目の周知・接遇マナー	20人
5月	・介護実習『寝返り・起き上がり・座位』 ・認知症ケア『ユマニチュードのケア技法実習』・接遇マナー	15人
6月	・食中毒：感染症予防・接遇マナー	20人
7月	・防災研修（グループワーク）・接遇マナー	16人
8月	・事故・苦情・ひやりはっと検討会・接遇マナー	15人
9月	・普通救急救命講習受講	21人
10月	・個人情報とプライバシー	18人
11月	・衣服着脱の介護・伝達研修：難病について	16人
12月	・感染症予防：ノロウイルス感染予防実技 ・利用者の尊厳を守るおむつケア	18人
1月	・介護者の腰痛予防と介助の考え方（介護実習）	18人
2月	・認知症に関する勉強会（DVD鑑賞後の意見交換）	18人
3月	・高齢者の一日の栄養知識～調理実習	22人



・ほほえみかぐら訪問介護事業所(美山出張所)ヘルパーミーティング開催状況

開催月	内容	人数	開催月	内容	人数
4月	報酬改定説明、事業計画の周知	16人	10月	事故・ひやりはっと事例検討	17人
5月	接遇マナー	14人	11月	介護技術講習会・情報交換会	13人
6月	食中毒と感染症について	14人	12月	認知症について	20人
7月	普通救命講習Ⅰ	18人	1月	調理実習と高齢者の栄養について	18人
8月	防災、伝達研修『移乗動作』	13人	2月	虐待防止について	18人
9月	事故・ひやりはっと事例検討	18人	3月	自己評価について	17人

(2) 研修参加状況

日時	研修名	開催場所	参加人数
4月27日（金）	第1回ステップアップ研修	京都中部総合医療センター	11人
5月23日（水）	嚥下困難な人への食事提供	花ノ木医療福祉センター	4人
5月25日（金）	第2回ステップアップ研修	京都中部総合医療センター	14人
6月 4日（月）	スーパーバイザー養成研修（初級）	ハートピア京都	1人
6月 5日（火）	平成30年度障がい福祉サービス集団指導	中丹文化会館	2人
6月11日（月）	平成30年度介護保険サービス集団指導	ガレリア亀岡	2人
6月17日（日）	同行援護従事者養成研修一般課程	京都市内	2人
6月21日（金）	平成30年度京都府ホームヘルパー協議会総会	こどもみらい館	3人
6月25日（月）	第3回ステップアップ研修	京都中部総合医療センター	2人
7月 3日（火）	移乗動作の実技研修	美山診療所	3人
7月22日（日）	高齢期の体と心の変化	亀岡市	1人
8月(4日間)	相談支援従事者初任者研修	京都市内	1人
9月(2日間)	相談支援従事者初任者研修	京都市内	1人
9月13日（木）	自力アップ体操・体験	遊you日吉	1人
9月26日（水）	京都府障害者虐待防止、権利擁護研修	京都テルサ	1人
9月27日（木）	感染症対策研修会	京都中部総合医療センター	2人
10月 4日（金）	社会福祉セミナー 基礎編	ハートピア京都	1人
10月15日（月）	難病患者等ホームヘルパー養成研修	ハートピア京都	2人
10月18日（木）	対人援助の相談面接技術基礎セミナー	京都市内	1人
10月24日（水）	京都府ホームヘルパー連絡協議会研修会	京都市内	1人

10月27日（土）	緩和ケア研修口腔ケアの大切さを知ろう	京都中部総合医療センター	2人
11月 5日（月）	平成30年度難病患者ホームヘルパー養成研修	ハートピア京都	2人
11月21日（月）	次代を担う若手職員対象向上研修	京都市内	1人
11月22日（木）	京都府ホームヘルパー連絡協議会研修会	ハートピア京都	2人
11月25日（木）	高齢者・障害者にやさしい食事と調理	花ノ木医療センター	3人
12月12日（水）	褥瘡勉強会	美山診療所	7人
1月31日（木）	目で見て分かる在宅療養	亀岡市民ホール	2人
2月 1日（金）	在宅療養 嚥下調整食栄養介護食講習会	京都中部総合医療センター	2人
2月13日（水）	在宅療養児・者支援体制検討会	京都中部総合医療センター	1人
2月14日（木）	若年性認知症支援者研修会	京都中部総合医療センター	1人
2月17日（土）	介護食調理講習会	ガレリア亀岡調理実習室	1人
2月20日（水）	福祉人材育成研修	園部国際交流会館	1人
2月24日（日）	在宅患者の食事療養のための調理講習会	学校法人大和学園	1人
3月 9日（土）	なんたん在宅医療連携研究会	京都中部総合医療センター	2人
3月13日（水）	在宅生活における生活行為向上	京都中部総合医療センター	1人
3月14日（木）	京ホ連第4回研修会	京都テルサ	2人
3月16日（土）	在宅ケアと看取りから学ぶ健康学	国際交流会館	1人
3月14日（木）	京都府ホームヘルパー連絡協議会研修会	京都テルサ	1人

② 地域福祉事業への協働・貢献

くらし安心サポート事業を展開しているが八木・美山では利用者が少ない。ニーズの掘り起こしや登録型ヘルパーの確保など課題も多いと考える。一方で日吉エリアでは利用実績が上がっているため、様々な角度からその要因の分析を行い、事業戦略の見直しが急務である。地域福祉部と連携してのサロン活動などの支援についても話し合ったが、実際の取り組みには今年度はつながらなかった。引き続き、次年度において、協議・検討していきたい。

(1) 南丹市くらし安心サポート事業 実績

事業所	利用者数(人)												担い手 (人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
八木	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	1
かぐら	日吉	7	6	6	6	7	7	7	7	7	7	9	2
	美山	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1
合計	9	8	8	9	9	10	10	10	10	9	9	11	4

(2) 実習生受け入れ状況

実習名	人数	介護現場と医療の
南丹看護専門学校実習生	10人	連携や在宅介護の実際を学んでもらった。

(3) 他部門との連携

連携・協働	内容
ふれあいネットワーク会議	ふれあい委員、民生児童委員と情報交換
地域別懇談会	住民主体の懇談会の企画・サポート
地域ケア推進会議	個別ケースについて地域課題の抽出・検討
エリア会議	課題ケース、情報共有、連携協働について
障がい者支援ネットワーク会議	関係機関と課題ケース、情報共有

③ 広報活動で次世代に事業をつなぐ

人材確保が非常に困難な1年であった。ヘルパーの魅力ややりがいを地域に向けて効果的に発信していくことが求められる。次年度は地域福祉部や包括支援部とも連携しながら広報活動にさらに力を注いでいきたい。人材確保については市外の動向などにも注視しながら、あらゆるネットワークを活用し戦略を立てていきたい。また、地域福祉部と連携しながら、教育現場における福祉教育にも積極的に取り組んでいく必要がある。

④ 事業の安定経営

収支面では非常に厳しい1年となった。年度目標の達成も叶わず、経営の立て直しが急務である。全体的に利用者数が減少したことが大きな要因の1つとして考えらる。その要因と原因をしっかりと探り、分析していく必要がある。次年度は、経営改善計画の策定や改善に向けて効果的な取り組みをすすめていく必要がある。また、近年多発する自然災害への対応も引き続き検討を要する。BCP計画の策定も進めていきたい。

3. 通所介護事業

〈事業所〉 ほほえみ八木 通所介護事業所

[介護保険・自立支援]

【今年度スローガン】 住み慣れた地域で暮らし続ける意欲と希望が生まれ、心輝く時間を提供する

【今年度達成目標】 稼働率(1日あたり利用定員充足率) 平均90%以上

【目標達成状況】 ※1営業日あたり目標利用者数 = 30人 × 90% = 27.0人

事業所	1日あたり 利用定員	今年度平均利用者数 (1営業日あたり)	今年度 利用定員充足率	目標達成率
ほほえみ八木 通所介護事業所	30人	24.1人	80.6%	89.25%

① サービスの質の向上

今年度は利用者の自立支援と重度化防止を図るために様々な取り組みを実施した。「京都府リハビリテーション訪問・相談事業」に申し込み、事業所が取り組んでいる個別機能訓練について、専門家から評価を受ける機会を得た。総合的に高評価を頂き、職員の大きな励みになったとともに、サービスの質の向上につながることができた。1年間機能訓練に取り組んだ結果、次年度からはADL維持等加算を算定できることとなった。また職員が一丸となり、個別援助の充実に取り組んだ。利用者の思いに寄り添い、個別援助計画の充実を職員すすめてきた。

有事に備え、避難訓練・土砂災害対応訓練を実施した。今後はBCP計画の策定にも着手していく必要がある。外部への研修にも積極的に参加し、毎月の職員会議では必ず伝達研修を行い、職員のスキルアップを図ることができた。

(1) 研修参加状況

・外部研修

日時	研修名	参加人数
4月27日(金)	平成30年度ステップアップ研修介護力を磨こう(3日間)	1人
5月29日(火)	平成30年度福祉職の為のマナー研修・初級	1人
6月5日(火)	障害者福祉サービス事業者等集団指導	1人
6月7日(木)	平成30年度福祉職の為のマナー研修・中級	1人
6月11日(月)	介護保険サービス事業所集団指導	1人

7月13日（金）	平成30年度キャリアアップ研修 チームリーダー（2日間）	1人
8月 1日（水）	京都府機能訓練指導員等研修会	1人
8月23日（木）	平成30年度京都府相談支援従事者初任者研修（3日間）	1人
9月20日（木）	京都中部総合医療センター職員による介護技術講習会	16人
9月27日（木）	平成30年度感染症対策研修会（2日間）	1人
10月31日（水）	平成30年度年京都府サービス管理責任者等研修（3日間）	1人
11月15日（木）	平成30年度第20回神経・筋難病看護研修（3日間）	1人
11月22日（木）	平成30年度福祉職場におけるケースの書き方セミナー	1人
1月21日（月）	平成30年度市町村社協介護保険事業担当部署会議	1人
1月24日（木）	平成30年度福祉職組織力向上力セミナーⅢ	1人
1月26日（土）	全国キャラバン研修会ジェネラルナースの技術力を高めよう	1人
2月13日（水）	平成30年度在宅療養児・者支援体制検討会	1人
2月14日（木）	若年性認知症支援者向け研修会	1人
2月20日（水）	福祉人材育成研修福祉職場におけるリーダーの在り方	1人
2月21日（木）	平成30年度福祉サービス苦情解決事業相談研修会	1人
3月19日（火）	平成30年度京都府看護協会 在宅医療・医療サービス研修会	1人

・ 内部研修

日時	研修内容
4月20日（金）	理念・接遇研修
5月21日（月）	ステップアップ研修介護力を磨こう伝達研修
6月26日（火）	アロマオイルマッサージ研修
7月27日（金）	介護技術
9月20日（木）	技術講習会
10月15日（月）	救命講習会
10月26日（金）	感染症研修
11月28日（水）	リスクマネジメント研修
12月19日（水）	記録の書き方について伝達研修
1月24日（木）	虐待研修
2月25日（月）	背面開放座位とノーリフティングケアについて伝達研修
3月26日（火）	緊急時訓練

② 個別ケアの充実

機能訓練の見直しを行い、介護職員も関わりやすいよう「訓練内容分別表」を作成した。訓練内容を視覚化し、研修会を行い、取り組みを全職員で共有することができた。また、取り組みの効果や成果を評価表を用い数値化することで、正確に分析され、利用者1人ひとりに対し、より効果的なサービス提供に結び付けることができた。口腔ケアの充実や食事時の観察にも力を入れ、利用者に適した対応を行い、肺炎や感染症の予防に努めることができた。



③ 住民主体の地域福祉活動と共同したケアの強化

今年度も地域福祉部門と連携を図り、住民活動のサポートに取り組んだ。事業所職員が地域のサロンに出向き、直接住民と関わりを持つことで信頼関係がさらに高まり、新たな可能性を感じることが出来た。また、こうした取り組みを、地域と協働した個別ケアにつなげていく必要がある。地域別懇談会にも参加し、そこで学んだことを事業運営に生かしていきたい。

(1) 地域との連携

連携・協働	内容
ふれあいいきいきサロン (青戸地区・西田地区) 6回	地域福祉部と連携して活動のサポート 地域課題の共有
地域別懇談会 2回	住民主体の懇談会の企画・サポート

(2) 地域交流行事

開催月	内容
5月	お茶会
6月	ほほえみスタンプラリー
7月	ほほえみレストラン
8月	夏祭り
9月	敬老祝賀会
10月	ほほえみ大運動会
11月	ほほえみ文化祭
12月	クリスマス会
2月	節分祭
3月	ほほえみレストラン・大正琴演奏会



(3) 実習生受け入れ状況

実習名	人数
社会福祉士実習	1人

(4) 事故・ヒヤリハット・苦情件数

種別	件数
事故	77件
ひやりはっと	23件

④ 介護者の負担軽減と支援強化

介護者の多様なニーズに対応するため、ケアマネジャーと連携を図りながら、サービスの調整を行った。今年度は、事業所の行事を家族にも案内して、家族同士の交流の場づくりにも力を注いだ。利用者の様子を実際に見て頂く機会を設け、利用者と家族、事業所、地域がつながるきっかけになった。また、直接介護者からの相談や悩みを聞く機会ともなり、ストレス軽減にもつなげることができた。

⑤ 事業の安定経営

経営面では非常に厳しい結果となった。稼働率の低下、収入の低下、人件費の増加など様々な課題があるが1つひとつ、分析していくことが求められる。職員育成にも引き続き力を注いでいき、介護技術の向上とすばらしい接客マナーの習得を目指していきたい。次年度は各常勤職員が経営について学び、早期に経営改善計画等の策定に取り組むたい。また、職員の健康管理にも留意し、心身共に健康で働ける職場づくりに取り組んでいく。

4. 地域密着型認知症対応型通所介護事業

＜事業所＞ やぎ詩の郷

[介護保険]

【今年度スローガン】 住み慣れたあたたかな地域で暮らすために

【今年度達成目標】 稼働率(1日あたり利用定員充足率) 平均80%以上

【目標達成状況】 ※1営業日あたり目標利用者数 = 12人 × 80% = 9.6人

事業所	1日あたり 利用定員	今年度平均利用者数 (1営業日あたり)	今年度 利用定員充足率	目標達成率
やぎ詩の郷	12人	8.2人	68.9%	85.4%

① 個別援助の充実とサービスの質の向上

1人ひとりが「主人公」を合言葉に、利用者の残像機能と自己決定を基本とした支援を行った。利用者の希望や思いに丁寧に対応することで、生きる意欲につながったと実感している。そうした利用者の変化や情報を関係者間で共有し個別援助計画の充実につなげていった。

職員は、常に新しい介護情報や知識の取得が求められている。今年度は積極的に研修会に参加し個の力の向上にも取り組んだ。

今年度も満足度調査を実施し、事業所に対する評価や期待する事などを聞かせて頂いた。より一層の質の高いサービス提供につなげていきたいと思う。

(1) 研修参加状況

・ 外部研修

日時	研修名	参加人数
4月27日(金)	平成30年度ステップアップ研修介護力を磨こう(3日間)	1人
5月29日(火)	平成30年度福祉職の為のマナー研修・初級	1人
6月26日(火)	平成30年度認知症リンクワーカーフォローアップ研修(2日間)	1人
7月20日(金)	平成30年度OJTリーダー養成講座(3日間)	1人
1月30日(水)	大規模災害対策セミナー	1人
3月8日(金)	虐待研修 スピーチロック	1人

・ 内部研修

日時	研修名	参加人数
6月29日(木)	アンガーマネジメント	1人
7月17日(月)	法人内研修 ほほえみ八木通所介護事業所	1人
9月6日(木)	高齢者虐待の状況と連携について考える	2人
9月20日(木)	介助方法の基礎	2人
10月15日(月)	救急救命	1人
10月26日(金)	感染症予防について	7人
3月14日(木)	アンガーマネジメントについて(居宅介護部)	3人

(2) 事故・ヒヤリハット発生件数

月	件数	月	件数	月	件数
4月	1	8月	1	12月	1
5月	0	9月	0	1月	0
6月	0	10月	2	2月	0
7月	1	11月	2	3月	1

② 地域福祉の推進を図る事業所運営

“地域に開かれた事業所”を目指し、誰もが気軽に立ち寄って頂けるように地域に向けてPR活動に努めた。サロンや運営推進会議で、詩の郷の機能・役割を伝え、サロンやボランティアには月間の行事予定を配布し、多方面に詩の郷を広報した。今夏は京都府の“高齢者涼やかスポット設置事業”に取り組んだ。涼やかスポット終了後も、詩の郷独自事業として“ぬくぬくスポット”を開設し、多くの住民、関係者の来訪があった。9月に開催した地域交流会では、包括支援部の協力を受け、認知症サポーター養成講座を開催した。その他、地域住民やサロン、ボランティアと一緒に、おはぎ作りや流しそうめんなど沢山の季節イベントを行った。また、地域住民からお茶摘みや筍ほり、野菜の収穫の誘いも受け、地域に出向き体験させて頂く機会も多くあった。こうした地域との交流、来訪者増加に向けた取り組みは、事業所の理解者を増やし、地域との関係をさらに良好なものに繋げることができたと思っている。



(1) 地域との連携行事

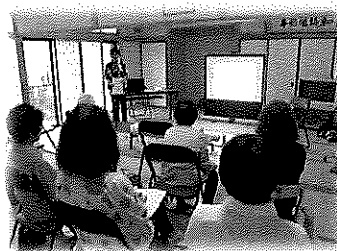
日時	会議・行事等	参加人数
4月30日（月）	竹の子堀り	利用者2人職員2人
5月 2日（水）	お茶摘み	利用者2人職員2人
6月 2日（土）	薩摩芋の苗植え	利用者4人職員3人
9月11日（火）	敬老会	利用者10人職員4人
9月12日（水）	敬老会	利用者 8人職員4人
9月26日（水）	地域交流会：認知症サポーター養成講座	地域住民10人職員1人
11月23日（金）	地域の餅つき	利用者4人職員1人

(3) 運営推進会議開催状況

日時	内容
8月27日	事業報告、地域貢献について
3月25日	事業報告、地域貢献について

(4) 実習生受け入れ状況

実習名	人数
社会福祉士実習	2人



(5) その他

内容	
ボランティア受け入れ	ボランティアグループさくらんぼ・なかよし・みんなのゲーム
涼やかスポット	7月2日（月）～9月29日（土）開催

③ 家族（介護者）支援の強化

認知症介護と向き合う家族が、孤立しない事を目的に介護者同士の交流の場として家族会を開催した。南丹市認知症初期支援チーム会議では、認知症対応型事業所として、地域の認知症支援に取り組むこともできた。今後も、介護者の在宅生活を守る相談窓口として機能を果たしていきたい。利用状況はショートステイ利用の増加もあり、延べ利用者数は減少傾向となっている。7月・9月においては大雨や台風等の自然災害により事業を中止する日があった。また2月には、事業所内でインフルエンザが蔓延して、3日間、利用者の受け入れ制限を行った。



5. 小規模多機能型居宅介護事業

〈事業所〉 小規模多機能ホーム だんない

〔介護保険〕

【今年度スローガン】 だれもが住み慣れたなじみの場所で暮らし続けられる地域づくりをめざして

【今年度達成目標】 利用登録定員充足率80%以上

【目標達成状況】 目標利用登録数 = 25人 × 80% = 20人

事業所	利用登録定員	今年度利用登録者数 (月間平均)	今年度 利用登録定員充足率	目標達成率
小規模多機能ホーム だんない	25人	18.8人	76%	94%

① 地域に密着したサービスの提供

今年度からだんない夏祭りは利用者家族からの要望もあり、時間帯を変えて開催した。多くの地域住民にだんないを知って頂きたいという思いから事業所を開放し、たくさんの住民や関係者にだんないを肌で感じていただく機会となった。また、陶芸教室や涼やかスポット事業も開催し、多くの住民がだんないを訪れた。秋には地域の秋祭りの休憩所として事業所を開放できたことや地域の文化祭に利用者の作品が出展したことも、だんないを多くの方に周知いただくきっかけとなった。地域からは様々な形で運営に協力もいただいた1年であった。今後も地域とさらに連携を深めながら、地域に根ざした事業所づくりを進めていきたい。



(1) 地域との連携

日時	会議・行事内容	開催場所
5月16日(水)	絵手紙教室(民生児童委員主催)	だんない
5月17日(木)	だんない運営推進者会議 ・委嘱状交付・事業計画・年間行事計画・夏祭りについて	だんない
6月17日(日)	三線コンサート	だんない
7月12日(木)	だんない運営推進者会議 夏祭り・サービス評価・福祉避難所設置・涼やかスポットについて	だんない
7月21日(土)	だんない夏祭り(起震車体験)涼やかスポット(7月~9月)	だんない
8月7日(火)	涼やかスポット	だんない
8月8日(水)	陶芸教室(風鈴づくり)	だんない
8月17日(金)	納涼祭(ハーモニカコンサート)	だんない
9月13日(木)	だんない運営推進者会議・サービス評価について	だんない
9月15日(土)	敬老祝賀会(日本舞踊)	だんない
10月14日(日)	内林神社秋祭り(神輿巡行)	だんない
11月3日(土)	内林地区文化祭	内林公民館
11月15日(木)	だんない運営推進会議・サービス評価について	だんない
12月18日(火)	クリスマス会(二胡演奏)	だんない
1月10日(木)	だんない運営推進会議・サービス評価まとめ報告	だんない
1月19日(土)	内林神社厄神祭	内林神社
2月1日(金)	つくし園交流会	つくし園
2月8日(金)	普通救命講習会	内林公民館
3月14日(木)	だんない運営推進会議・一年を振り返って	だんない

(2) 実習生受け入れ

日 時	内 容	人 数
5月25日（金）	南丹看護専門学校実習生	1人
9月19日（水）	社会福祉士実習生	1人

② サービスの適切な提供と柔軟な対応

利用者と家族の緊急時に柔軟な対応が出来た。自然災害時の緊急避難者受け入れを柔軟に行い家族・本人の不安解消に努めた。台風、大雨を予測しての独居認知症の方、川沿いに住まいの方の宿泊受け入れ追加をすすめ、利用者の安全確保に努めた。また、利用者の体調変化にも留意しながら、1人ひとりに応じた柔軟な支援が提供できた。独居の方の買い物支援（一緒に買い物）や四季折々の季節行事を行い、利用者の気持ちに寄り添いながら個別に関わることが出来た。入浴、トイレの介助は同性介助を徹底した。



(1) 会議開催状況と内容

・常勤職員会議

日 時	会議内容	参加人数
4月12日（木）	・平成29年度事業まとめ・夏祭りについて	5人
5月 7日（月）	・docapシート（目標管理・業務管理）について	4人
6月 5日（火）	・夏祭りについて	5人
7月 5日（木）	・夏祭りについて	5人
8月 6日（月）	・ラン伴、社会福祉士実習生受け入れについて	5人
9月12日（水）	・サービス評価・社会福祉施設オープンデイについて ・福祉避難所について・窓ガラス強化フィルム貼り付けについて	5人
10月12日（金）	・サービス評価について、職員の評価をまとめる。	4人
11月21日（水）	・サービス評価、改善計画、自己評価のまとめ・福祉避難所について	5人
12月11日（火）	・業務改善について・サービス評価について確認	4人
1月10日（木）	・避難訓練と救命講習会について・サービス評価について	6人
2月18日（月）	・事業目標、重点実施項目について	5人
3月19日（火）	・今年度の反省と来年度に向けての準備、計画	4人

・職員全体会議

開催日	会議内容	参加人数
4月26日（木）	・夏祭りについて・避難訓練について	10人
5月28日（月）	・夏祭りについて・涼やかスポットについて	13人
6月25日（木）	・夏祭りについて・ラン伴	14人
7月30日（月）	・伝達研修・夏祭りの反省	14人
8月30日（木）	・サービス評価について（自己評価）	9人
9月27日（木）	・サービス評価について	14人
10月29日（月）	・サービス評価について	12人
11月29日（木）	・サービス評価について	12人
12月27日（木）	・サービス評価について・業務改善の提案 ・消防訓練について・伝達研修	13人

1月28日（月）	・来年度・アンガーマネジメントについて	14人
2月28日（木）	・藤林一家の消防講座	12人
3月25日（月）	・年間個別研修計画について・来年度について	13人

③ 職員の資質向上

外部研修への参加や認知症基礎研修を受講した職員による伝達研修を行った。
介護福祉士の受験に向け、職場を挙げて勤務を調整し、今年度も1名の合格者を出すことが出来た。

(1) 研修参加状況

日時	研修名	開催場所	参加人数
5月11日（金）	小規模部会『安心サポート』について	あゆみ小規模施設	1人
5月（7日間）	認知症実践者研修	京都市内	2人
6月27日（火）	小規模部会：情報交換研修	三愛の里	1人
7月23日（木）	認知症基礎研修	京都市内	1人
7月30日（月）	認知症基礎研修伝達研修	だんない	12人
8月 1日（水）	特殊詐欺勉強会	本所農事研修室	2人
8月16日～20日	社会福祉主事研修	東京（自主研修）	1人
8月（4日間）	ケアマネ更新研修課程Ⅱ	京都市内	1人
8月24日（金）	小規模部会「ケアマネ業務について」	だんない	12人
9月11日（火）	小規模部会「看護業務について」	すずらん	1人
9月（4日間）	介護福祉士実務者研修	南丹市内（自主研修）	1人
9月（2日間）	感染症対策研修	南丹保健所	1人
10月17日（水）	小規模部会・レクリエーションについて	篠まごころホーム	1人
11月 9日（金）	認知症実践者研修	京都市内	1人
11月14日（水）	小規模部会・訪問について	清泉荘	1人
12月19日（水）	小規模部会・メンタルヘルスについて	はぎの里オアシス	1人
2月13日（水）	中間管理職向け研修	国際交流センター	1人
2月14日（木）	若年性認知症支援者研修	京都中部総合医療センター	2人
2月14日（木）	小規模多機能型サービス計画作成研修	京都市内	1人
2月15日（金）	介護予防ケアプランについて	南丹市役所	1人
2月19日（火）	小規模部会「ケアマネ業務について」	亀岡しんまち小規模多機能	1人
2月20日（水）	福祉職場におけるリーダーのについて	国際交流センター	1人
3月12日（火）	小規模部会「管理者次年度計画」	三愛の里	1人
3月14日（木）	居宅介護部研修・アンガーマネジメント	園部公民館	12人

④ 広報活動の活性化と安定した事業経営

新規登録者の確保が非常に困難になってきている状況がある。登録者の増加が経営の安定に直結することから、いかにして新規登録者（顧客）を確保するかを、事業所として考えていく必要がある。そのためには、事業所の現状を詳細に分析し、経営改善計画の立案が求められる。また、数値目標を明確にし、4半期あるいは半期ごとに経営状況を確認することも必要と考える。

現在、広範囲に事業を提供していることから、訪問サービスのニーズに対応することが難しい現状である。しかし、訪問のニーズが年々増加していることから、早急に職員体制等、見直しが必要である。

事業所の広報活動では毎月だんない通信を発行し、内林地域内でも回覧して行事等の参加を呼び掛けている。認知症あんしん相談窓口については今年度、相談はなかった。身近な相談窓口として、広く取り組みの広報をしていく必要がある。

自立支援の部

総 括

今年度は、報酬改定の年となり、障がいの重度化や高齢化への対応、医療的ケアの必要な児童への支援、就労支援サービスの質の向上への対応を主とし、障がい特性（重度化等）に応じたきめ細やかな個別支援を行った。また、各事業所で地域交流の場づくりを進め、地域住民への障がい理解や啓発にもつながった。利用者と地域住民の方がふれあう機会ができたことで、多くの成果が得られた。

就労継続支援B型事業では、就労支援事業の安定した収入が得られるよう地域に出向き、これまでの事業にとらわれない、新しい事業の開拓、開発にも力を注いだ。利用者の就労支援として一般就労に移行できたことも大きな実績であった。生活介護事業では作業だけではなく、レクリエーション活動を充実し、利用者の生活が豊かとなる温かな支援に努めた。

児童発達支援事業では、前年度よりクラスを増設したことで今年度も待機児童をなくし多くの児童を受け入れることができた。しかし、年々増える療育を必要とする児童への支援体制や家族支援については、今後の課題であり、行政をはじめ関係機関と協議していく必要を感じている。

相談支援分野では、児童の相談が急増し、家庭の課題が背景にあるケースが顕著になっている。障がい者についても対応困難なケース等は関係機関とチームで支援を継続し、より良い方向へ進めてきた。また、地域で社会参加が難しい方の居場所であり、生活支援や社会活動の場である地域活動支援センターでは、利用者の障がいの重度化や高齢化に直面したこともあり、この1年で利用者が減少した。現状を踏まえ、原因や課題分析を行い、今後につなげたい。

自立支援部では、定期的に管理者会議を行い、意見交換をする中で各事業所の課題や情報を共有し相互理解によって児童から大人への各段階に応じた支援の必要性を確認する重要な場となっている。また、現場職員にとって働きやすく、やりがいのある職場となるよう処遇改善にも積極的に取り組んだ。今後は、さらに職員の育成に力を注ぎ、高い専門性を備えた人間性豊かな人財となり、質の高い利用者支援につなげることを目標としたい。

1. 地域活動支援センター

地域で生活をされている障がいのある方の居場所であり、社会参加を応援する地域活動支援センターは、利用される方に生きがいを感じてもらえるプログラムの開発や来所しやすい工夫に努めた。来所が難しい方については訪問活動も定期的に行った。また、必要に応じて関係機関と連携、相談等の支援も行った。しかし、この一年で利用者の重度化、高齢化による入院、入所も相次ぎ利用者が減少した事業所もあった。生活困窮者の就労準備支援については、実情ほぼ対象者がいない状況の為、今後事業の見直しや関係機関と協議していきたいと思っている。今後も、広報の推進、啓発をすることで地域活動支援センターを周知していただき社会活動の支援を行っていきたい。

① そよかぜ八木

※利用登録者数 …… 26 人(前年度：26 人)

※1日あたり平均通所者数 …… 4.0 人(前年度：8.0 人)

今年度は、従来から利用されていた利用者的高齢化や病気等の事情で入院、入所されたことにより通所者数が減少した。関係機関との連携により新規登録者もあり人数的には変わりはないが、定着した利用につながっていない。ご利用者が安心して過ごせる場所の提供として、きめ細かい配慮と個別性を重視して過ごしていただくように努力した。

プログラムや活動については、利用者の希望を尊重し意欲的にできる内容を考え、地域の方やボランティアの方の協力のもとで参加しやすい行事や創作活動を実施した。訪問支援として本人だけではなく家族支援も行った。

② そよかぜ日吉

※利用登録者数 …… 24 人(前年度：22 人)

※1日あたり平均通所者数 …… 5.5 人(前年度：5.7 人)

そよかぜ日吉については、障がい者だけではなく地域の居場所として定着していたが、通所者が高齢となり介護サービスを利用することにもなり利用者数が減少した。しかし、障がいのある方や自宅に引きこもりがちの方がプログラムの参加を通して来所されるようになったケースもあった。利用者が来所しやすい雰囲気作りに努め、通信の配布、家庭訪問での声掛けによる新規利用者を増やす働きかけを行った。今後も継続的に新規利用者が来所できるように努力していきたい。地域交流を根ざしたオープンカフェも年間2回開催し地域との交流の良い機会となった。

③ そよかぜ美山

※利用登録者数 …… 30 人(前年度：27 人)

※1日あたり平均通所者数 …… 10.9 人(前年度：11.0 人)

利用者の高齢化が続いていたが、今年度は比較的若い方の登録もあった。行政や関係機関とのつながりで新規利用となったケースもあり、送迎ボランティアの利用により、イベントやプログラムの参加ができている方もあった。また、民生児童委員さんとの交流を年間4回行い地域交流をすることができた。近隣にある作業所の利用者については休み時間の静養や休息を目的にした居場所となっている。

創作活動では、継続している絵画教室で講師の指導による利用者合作の作品が一年の成果となった。

④ 活動の状況等

(1) 活動状況

プログラム	開催頻度		内 容
そよかぜ土曜日	定 期	月 1 回	昼食作り・レクレーション等
オープンカフェ	定期／不定期	月 1 回／年数回	お菓子や飲み物を食べながら交流
フリーサロン	不定期	月 12～15 回	談話等
なんでも相談	定 期	月 1 回	障害者相談員が相談に応じる
カラオケ	定 期	月 1 回	カラオケを楽しむ
DVD 鑑賞	定 期	月 1 回	映画や娯楽の鑑賞
お出かけ	定期／不定期	月 1 回／年数回	リフレッシュを図る。
脳トレ	定 期	月 1 回	計算・塗り絵
調理実習	定期／不定期	月 1 回／年数回	自立生活力を高める

※全体の総括のため、事業所により内容、回数等違いがあり。

(2) 会議の状況

- 地域活動支援センター職員会議 月 1 回
- 南丹市地域活動支援センター会議 月 1 回

(3) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
10月25日(木)	非常災害時の対応・連携	3人
12月 2日(日)	第 25 回地域学習会「自閉症との関り」 ～みとおし・えらぶ・おはなし、3つの支援の考え方と 支援グッズを使った心地よい暮らし～	1人

2. 相談支援事業

① つくし園（障害児相談支援事業）

今年度は学童期の児童の相談支援が急増し、個別ケースへの対応や家庭支援を必要とする為、行政を始め関係機関との連携が欠かせない状況があった。就学前の児童については、児童発達支援事業（つくし園）との連携で療育の相談や個別支援に努めることができた。学童については、サービス事業所と保護者との橋渡し役をしながら中立的な立場での相談支援を行ってきた。

今年度は、継続課題であった福祉と教育の架け橋となるような働きかけを個別支援からつなげるきっかけができた。今後も、関係者との密な連携により将来の子ども達が自立できるよう支援をしていきたい。

利用状況

	就学前利用児	学童利用児	サービスの種類
利用者数計	14 人	33 人	・ 児童発達支援（就学前）
男 子	13 人	26 人	・ 放課後等デイサービス（就学後）
女 子	1 人	7 人	・ 保育所等訪問支援（就学前・後）

② てのひら（特定相談支援事業）

今年度の新規利用者は、以前に比べて少なく、現状の障害福祉サービスの利用者については南丹市内でもほぼ全員の方に相談員が関わっている現況である。しかし、地域にはまだ必要としている人もあり当事業所の体制では受入が厳しい現状となり今後の課題となっている。個別支援については継続的に関係者とチームを組んで地域で対応できるように連携をしている。必要に応じてケース会議を開催し、特に、基幹相談支援センターの相談員のサポートで困難ケースの対応も行うことができた。

今後とも必要とする支援やニーズに対応できるように、専門職としてさらにスキルアップしていきたい。

利用状況

	身体障害	知的障害	精神障害	高次脳機能障害	難病	合計(※重複除く)
利用者数計	16 人	40 人	14 人	1 人	1 人	65 人
男 性	9 人	20 人	9 人	1 人	0 人	35 人
女 性	7 人	20 人	5 人	0 人	1 人	30 人

※重複障害：7 人 / 65 歳以上：6 名 / 京都市：8 人

※市の委託事業として障害児・者一般相談を実施し、サービス利用前の相談や生活面、社会参加への対応等を行っている。

③ 共通項目

両事業については、毎月情報共有の会議を行い、支援の状況やケースの協議を行ってきた。相談員が1人で抱え込むことがなく、共有することで客観的にケースの検討をすることができた。相談員だけではなく関係機関とも連携し、よりよい支援に努めた。

今後も相談員同士が切磋琢磨し、研修等で学びお互いに成長できるよう努めていきたい。

④ 会議・研修等

(1) 会議の状況

職員会議 月1回

南丹市相談支援事業所連携会議 2ヶ月1回参加

(2) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
7月11日(水)	平成30年度京都府障害者虐待防止・権利擁護研修	1人
11月19日(月)	平成30年度圏域相談支援センター会議 家族支援～家族をとらえるときの視点～	2人
1月 8日(火)	平成30年度相談支援従事者研修会 「脱ひきこもりセンターの機能、関係機関との連携」	3人
2月11日(月)	NPO法人発達障害を考える会ぶどうの木 発達障害支援フォーラム	3人
3月 5日(火)	平成30年度圏域相談支援センター会議 こころの病気や障害を持った方への接し方	2人
3月12日(火)	アウトリーチ支援で大切な視点とスキル（技能）	1人

3. 児童発達支援事業・保育所等訪問支援事業 <つくし園>

【今年度スローガン】小集団の中で、一人ひとりにあった療育を行うとともに、その子の笑顔を引きし、
“やる気（意欲）”と“自信”をつけ、自分らしく生活する力を育てる

① 児童発達支援（療育）

前年度から、午前・午後と2クラス増設し2部制に改正したことで、今年度も待機児童を出すこともなく、保護者や子どもたちの思いに迅速に対応することができた。

しかしながら、利用希望者が年々増加している状況の為、今後の動向を踏まえ対応策を考える必要がある。今以上にクラスを増設することになると、療育を行う場所の限界、指導員不足などの課題もある。

また、開設時間の変更に伴い保護者の就労支援も踏まえて、療育支援輸送サービスの内容も拡大した。サービスを利用される家庭も増加していることから、今後、南丹市4町全域を決められた時間内に送迎するには、車両不足・運転職員不足・添乗員不足が課題となってくる。現状では、保護者の協力により家族送迎の実施をいただいているケースも増えてきている。毎年恒例の、年中児、年長児の行事として公共交通機関を利用し、公共施設で過ごす外出活動を取り入れ社会のルールを学ぶ支援を行った。

年に2回の『だんない』との交流も定着しつつあり、子どもたちも、『だんない』の利用者と季節に応じたイベントを楽しんだり、ボーリングゲームをする等、高齢の方々との関わりにより情緒が育ち良い交流となっている。今後も継続して交流していきたい。



② 保護者支援・家族支援

親子療育後の談話や、個別面談、5者面談など保護者と会話できる様々な機会において、つくし園での様子をきめ細やかに伝えるよう心がけてきた。個別支援計画を作成するに際して、子どもが関わっている機関と連携し、より細かな支援計画が作成できるように心掛けた。

また、保護者が主体となって組織する「家族の会」の支援も保護者同士の交流において大切な役割を果たしている。毎年11月上旬に行われる『家族の会交流会』には親子全員で100名を超える参加があり、特に父親の参加が多かったことはこれまで交流会を継続してきた成果だと感じている。

学童期の支援については『支援ファイル』『移行支援シート』の活用が定着しつつあり、子どもの特性の把握やつくし園での支援等の連携の強化に役立てることができた。

学校生活の支援だけでなく学童保育・放課後等デイサービス等、子どもたちが生活する様々な場面で関わっていただく方との連携が行えるようになってきたことは、子どもたちの過ごしやすさや生きやすさにつながっていくと実感している。



③ 保育所等訪問支援事業

保育所等訪問支援事業の内容が理解されてきたこともあり、保育所・幼稚園、小学校など、つくし園からの訪問を受け入れていただくことが多くなってきた。集団の場所での様子を見学するだけでなく、子どもへの関わり方など、ゆっくり話す機会も増えてきた。これまでの療育において支援してきたことが他の場所でも継続できるよう、連携の必要性を感じている。

④ 通所の状況・活動の状況等

(1) 通所状況

年度	登録児数	利用実人数	延べ利用数	1日平均
前年度	62人	60人	189人	9.9人
今年度	66人	63人	210人	10.6人

(2) 送迎利用状況

年度	療育支援輸送事業(人)					つくし園送迎(人)				
	園部	八木	日吉	美山	合計	園部	八木	日吉	美山	合計
前年度	16	10	4	2	32	5	3	2	2	12
今年度	8	10	6	1	25	4	3	1	1	9

(3) 主な活動状況

開催日	内 容	場 所
4月 5日	はじまりの会	子育て発達支援センター 多目的ルーム (大)
5月28, 29日 6月1, 4, 7, 12日 [6日間]	年中児・年長児外出活動 船岡駅発 → 園部駅 → 亀岡駅 → (コミュニティバス) → ガレリアかめおか	ガレリアかめおか
7月30日	丹波支援学校より療育見学及び連携	子育て発達支援センター つくし園 療育室1
7月 9日・10月16日、 11月7日、11月24日、	家族の会懇談会及び交流会	旧川辺小学校 ランチルーム 体育館
2月 1日	だんない交流会 (豆まき)	子育て発達支援センター 多目的ルーム (大)

(4) 会議の状況

開催日	内 容	場 所
4月 4日(水)	職員会議 (平成29年度開始に向けて)	つくし園 職員室
5月22日(火)	職員会議 (年中・年長児外出活動打ち合わせ)	つくし園 職員室
5月24日(木)	南丹市子育て発達支援センター 運営会議	市役所4号庁舎
7月19日(木)	職員会議 (後期受け入れ枠確認)	つくし園 職員室
8月 6日(月)	後期療育連携会議 (子育て支援課・社会福祉課・つくし園連携)	子育て発達支援センター
8月22日(水)	職員会議 (後期受け入れ態勢の確認)	つくし園 職員室
11月21日(水)	後期療育連携会議 (子育て支援課・社会福祉課・つくし園連携)	子育て発達支援センター
1月16日(水)	職員会議	つくし園 職員室
12月 7日(金)	丹波支援学校連携 (総括)	丹波支援学校
2月18日(月)	南丹市子育て発達支援センター 運営会議	市役所4号庁舎

(5) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
7月 3日、8月8,9日	京都府相談従事者現任研修	2人
8月1,7日 9月28日	チームリーダー研修	1人
9月6,7日	キャリアアップ研修	1人
11月15日	発達障害専門職研修（基礎理論研修）	3人
2月13日	ストレスマネジメント研修	1人

4. 就労継続支援B型・生活介護 多機能型事業 くあじさい園

【今年度スローガン】一人ひとりの思いに寄り添い、利用者と地域の明るい未来を担える施設へ
～ 利用者第一を基本に、敬愛の心をもって職員一丸となる ～

① 就労継続支援B型事業

昨年度から京都ジョブパークとの連携で取り組んできた利用者の就労支援について、一般就労という最高の形で結実したことは大きな実績と自信になった。次年度も引き続き質の高い支援を継続し、一般教養などの研修を進め、1人でも多くの利用者が一般就労につながるよう努力していきたい。

新規自主事業の開発については、利用者の絵画をモチーフとしたトイレトペーパー「出番です」の販売を開始した。

さをり織については、南丹市米寿記念品、成人式記念品を受注し、例年通りの成果であった。

② 生活介護事業

生活介護事業ではこれまで同様、作業を通して集中する力、自身の役割が自信につながるよう支援を提供してきた。一方で、あじさい園に通所することが困難になる利用者や精神面での負担を抱える利用者も増加した。こうしたことは障がい者支援事業所では当然予測されることだが、改めて個別支援の難しさとあじさい園としての社会的使命と責任を自覚する必要があると感じた。

③ 両事業共通事項

共通の行事では、日帰り旅行や宿泊旅行のほか、成人式や地域交流を目的とした「あじさい園まつり」を開催した。各職員は準備等に追われ忙しい毎日であったが、利用者にとっては非常に大きな経験となり、充実した1年であった。

支援の方では、生活状況や環境の変化、障がい特性に伴い、支援が困難になるケースもあった。様々なケースに対応するため専門スキルの向上を図り、医療や関係機関との連携を強化に努めていく必要がある。



④ 通所の状況・活動の状況等

(1) 通所状況

年 度	登録人数（月平均）	利用述べ人数	通所率
前年度	30.02 人	6,533 人	90.35%
今年度	29.50 人	6,176 人	87.22%

(2) 主な活動状況

開催日	内 容	場 所
5月20日（日）	京都府スポーツレクリエーションフェスティバル	丹波自然公園
6月27日（水）	4～6月お誕生会	アルプラザ
7月 1日（日）	幼児学園 バザー	八木中央幼児学園
9月26日（水）	7～9月お誕生会	亀山（焼肉店）
9月21日（金）	日帰り旅行	天橋立
11月15～16日	宿泊旅行	淡路島
12月26日（火）	10～12月お誕生会	ダイコクバーガー
1月23日（水）	成人式・もちつき大会	あじさい園
3月 3日（日）	あじさい園まつり	あじさい園
3月20日（水）	1～3月お誕生会	アルプラザ

(3) 会議の状況

開催日	内 容	参加
4月19日（木）	家族会	全常勤職員
5月30日（火）	城山（作）理事会	1人
10月20日（金）	城山（作）理事会	1人
3月22日（金）	城山（作）理事会	1人
6月20日（水）	中央幼児学園会議	2人
6月12日（火）	障害者支援施設運営委員会	1人
9月26日（水）	園旅行検討会議	8人
12月12日（水）	福祉サービス援助事業に関わる研修会議	8人
12月18日（火）	障害者支援施設運営委員会	2人
1月 9日（水）	成人式・もちつき検討会議	6人
1月17日（水）	インフルエンザ対応会議	6人
1月31日（水）	あじさい園まつり検討会議	8人
月 1回～随時	職員会議	全職員

(4) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
8月31日（金）	京都府相談支援従事者初任者研修	1人
9月 6日（金）	キャリアアップ研修	1人
9月12日（水）	音楽療法定期研修 ※職員内部研修	全職員
10月17日（水）	福祉リーダーの極意を学ぶ	1人

5. 就労継続支援B型・生活介護 多機能型事業 くひより舎

【今年度スローガン】 きめ細やかにニーズに応え、地域に根ざした施設へ

① 就労継続支援B型事業

地域に根ざした施設を目指し、地域の行事に積極的に参加し、ひよりカフェを含む露店販売事業が定着するよう取り組んだ。そのことにより多くの地域住民にひより舎を知っていただき、住民からもたくさん声かけていただいた。こうした取り組みが、収入の安定や利用者のやりがい誇りとなり、楽しみにもつながる支援となった。

各企業から受注している仕事も安定し、利用者工賃支給額も前年度とほぼ変わらず支給することができた。ボーナス支給総額は前年度と比較すると授産収入が増額した為、利用者へ多く分配することができた。

しかし、今年度に予定していたひより舎の柱となる自主事業は、立ち上げることができず、次年度の課題となった。

② 生活介護事業

事業運営が安定していたことで、生活介護の対象の利用者がゆったり過ごせるプログラムを構築できた。DVD鑑賞やスポーツのつどいへの定期的な参加等、利用者の生活の質の向上につなげることができた。

今年度は、きめ細やかにニーズに応えられるよう寄り添い心が通い合う温かい支援を目標に事業を進めた。多機能型になったことにより、より支援が必要な方、生活全体での課題がある方、障がいの重度化や高齢化、健康面など様々な視点から、他機関やご家族とも連携を進め支援の輪を広げることができた。



③ 両事業共通事項

運営面では年度初め21名の登録からスタートし、年度途中の退所者、また、新規利用者もあり、年度末には20名となった。年間を通して通所率は安定しており、生活介護を一昨年からはじめたことが改善の要因と考える。

今年度も、工賃収入が増額できるように、利用者が働き甲斐のある事業所を目指して運営を実施した。また、年間を通じて作業以外の楽しみが持てる事業も進めてきた。特に「とっておきの芸術祭」出展に向けた取り組みは利用者にとって大きなやりがいとなった。利用者主体で考え、テーマを『生きる』とし、将来の夢を形にしたジオラマづくりに取り組んだ。会場のみやこめっせへ利用者と共に展示作品を鑑賞したことも大きな喜びとなった。今後も、ひより舎らしい少人数の特色ある温かい取り組みを実施していきたい。他には、健康管理を意識し、毎月のスポーツ交流事業への参加、歯科検診も年間行事に入れ取り組んだ。利用者の高齢化が課題となる中、今後も利用者が、健康で安心して利用できる施設づくりを目指したい。

④ 通所の状況・活動の状況等

(1) 利用者通所状況

年度	登録人数（月平均）	利用総人数	通所率
前年度	20.08 人	3,440 人	69.1%
今年度	20.75 人	3,546 人	68.4%

(2) 主な活動状況

開催日	内 容	場 所
4月 6日(金)	お楽しみ事業「お花見昼食会」	社協本所前
5月20日(日)	京都府スポーツレクリエーションフェスティバル	丹波自然公園
5月28日(月)	民生委員交流会	ひより舎
6月26日(火)	お楽しみ事業「お買い物」	園部町
7月21日(土)	お楽しみ事業「だんない夏祭り参加」	だんない
7月23日(月)	避難訓練	ひより舎
8月 3日(金)	お楽しみ事業「映画鑑賞」	遊youひよし
8月13日(月)	お楽しみ事業「お盆前の買い物」	京丹波町
11月 1日(木)	歯科指導	ひより舎
11月 5日(月)	お楽しみ事業「秋の運動公園さんぽと菊花展鑑賞」	丹波自然公園
11月24日(土)	つくし園親子交流会で販売	つくし園
11月30日(金)	日帰り旅行「とっておきの芸術祭鑑賞」	みやこめっせ
1月26日(金)	あじさい園餅つき大会参加	あじさい園
1月28日(月)	ひより舎新年会	京丹波町
2月 3日(金)	お楽しみ事業「節分豆まき」	ひより舎
2月21日(木)	お楽しみ事業「DVD鑑賞」	ひより舎
3月 3日(金)	あじさい園まつり参加	あじさい園
3月28日(金)	お楽しみ事業「DVD鑑賞」	ひより舎
月 1 回	ひよりカフェ	ひより舎
年 7 回	障害者スポーツのつどい	丹波自然公園
年 6 回	森の学び舎参加	旧五ヶ荘小学校
8月～10月数回	とっておきの芸術祭出展作品「ジオラマ【生きる】」作成	ひより舎

(3) 会議の状況

開催日	内 容	参加
5月22日(火)	就労支援ネットワーク会議	1人
5月29日(火)	農福連携会議	1人
6月12日(火)	障害者支援施設運営委員会	1人
9月14日(金)	家族会	1人
12月18日(火)	障害者支援施設運営委員会	1人
3月19日(火)	家族会	1人
2か月に 1 回	日吉障がい者支援ネットワーク会議	1人
月1回	自立支援部管理者会議	1人
月2回	ひより舎職員会議	4人
年数回	係長会議	1人
年数回	日吉エリア会議	1人

(4) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
4月 3日(火) 4月 4日(水)	社協職員新任研修	1人
5月21日(月) 8月 1日(水) 9月 6日(木)	市町村社協新任研修	1人
8月23日(木) 8月24日(金) 8月30日(木)	京都府相談支援従事者初任者研修	1人
9月26日(水)	障害者虐待防止研修	1人
11月15日(木)	健康講座	1人

6. 自立支援部門全体の取り組み

(1) 自立支援部幹部職員研修

開催日	内 容	参加
7月27日(金)	平成30年度障害福祉サービス経営セミナー	2人(部長・課長)
9月21日(金)	きょうされん全国大会in京都	1人(部長)
1月18日(金)	福祉サービス事業所等BCP(事業継続・復旧計画)	1人(部長)
3月22日(金)	南丹市障害児者総合支援ネットワーク ～ほっとネット～障害者虐待防止研修	1人(部長)

(2) 自立支援部全体研修…10月26日(金): 防火防災出前講座・災害時の避難方法について

(3) 自立支援部管理者会議 …… 月1回(メンバー: 部長・課長・係長)